

404 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 11 月 14 日(月) 午後 0 時 37 分

タイトル: 日本人は、キリスト教に帰るべきである

ユダヤに対抗して八百万の神を日本の主体として崇拝するのは完全に間違っている。

これは、日本の精神世界の構造を理解していないからだ。

日本は裏と表から成り立つ。お茶でもなんでも日本の文化は陰陽で成立している。

実際の生活において、われわれは表だけではやっていけない。

裏と表を使い分けながら暮らしている。

すべてを表にもってきたら人間関係やら社会生活が成立しない。

本音と建て前の区別はどの民族にもどの文化にもある。

人間は、表舞台に立つときに見せる顔もあれば、裏の顔もある。

社会生活で見せる理性的な顔もあれば、様々な欲望を持つ泥臭い顔もある。

日本の八百万の神というのは、欺くためである。

邪悪な者たちから一人の神を隠し、正しい人々にだけわかるように示すための影武者である。

仏教もそうである。

神は、日本の本当の姿を隠すために、八百万の神と仏教という雑草をはやされた。

古事記の一番最初に、造化三神という三位一体の神が登場し、そして隠れる。

二度と登場しない。

その後は、その造化三神が作った神々によるお話である。

だから、古事記において登場するほとんどの神々とは、実は単なる被造霊なのである。

聖書でいえば、天使や悪霊のようなものである。

だから、厳密に言えば、神道においても、創造者なる絶対神は造化三神だけである。

われわれにとって、この世界のシステムすべてを創造した神だけが神である。

それ以外は被造霊である。

創造神だけが超越者であり、それ以外は相対者である。

だから、日本を多神教などと考える必要はない。

民族古典においてもきちんと絶対超越神が示されている。

日本の神道の真髄は、三位一神教である。

それは、神道を作った秦氏がキリスト教徒だったからである。

日本人は、キリスト教に帰るべきである。

405 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月14日(月) 午後1時15分

タイトル: われわれが唯一奉じるべき宗教は、三位一神教である

多神教ではダメだと思うのは、日本の高度な文明を維持できないと思うからだ。

日本の文明は、ヨーロッパのキリスト教文明の恩恵を多大に受けており、絶対に無視できない。

近代科学を無視して、日本古来のものだけでやっていくなどということができないのと同

様に、近代科学を成立させた理念を無視して日本の文明を理解することなど不可能である。

ヨーロッパは、キリスト教に支配されていた時代において、科学を発達させることができた。しかし、キリスト教から離れつつある現代において、それは、次第に野獣化しつつある。

アメリカもヨーロッパも、魅力を失いつつある。なぜか。キリスト教を失ったからだ。

80年代にマドンナやプリンスが登場した頃から、欧米の音楽に何か嫌なムードを感じた。

まず同性愛のにおいを感じた。

そして、マドンナという存在そのものに何かバビロンの大淫婦のようなイメージを感じた。

考えてほしい。

ヨーロッパという名前は、エウロパから来ている。

エウロパは、起源をたどると、バビロンの女王である。

エウロパが獣に乗る姿、これが、ヨーロッパの土着の姿である。

つまり、ヨーロッパはキリスト教がなければバビロンなのである。

ヨーロッパでは、進化論や共産主義、ヒューマニズムの登場によって、啓蒙主義がキリスト教を圧倒するようになり、ルシファーの光が、キリストの光よりも強くなった。

それは、ビートルズ以降のアメリカにおいても同様である。

アメリカはもはやクリスチャンの影響を感じられない国になった。

このヨーロッパとアメリカの両者において、次第にキリスト教の影響力が弱まると同時に、バビロンが顔を表し始めた。

反キリストの勢力の象徴は、「獣に乗った大淫婦」である。

かつて悟りを与えられたがその後墮落した女が、その悪知恵を用いて粗暴な獣をコントロールする。

つまり、イスラエルと異邦人の連合体である。

ユダヤ宗教家や指導者たちとピラトが結託してイエスを十字架につけたように、イスラエルと異邦人の連合体が神の国を攻撃している。

欧州連合の象徴は「獣に乗ったエウロパ」である。

「ウォール・ストリートを占拠せよ」の象徴も「獣に乗った女」である。

だから、われわれは、悪魔がその本性を如実に表し始めた時代に生きている。

欧米は、キリスト教が入る時代の前のあの古典の時代に戻った。

悪霊が強く働くあの野蛮な時代に戻ってしまった。

もしわれわれ日本人の運動も、「多神教に戻れ」のようなものになるならば、まったく意味がない。

正しく批判できていないからだ。

欧米文明のすべてが悪かったわけではない。

欧米は、キリスト教によって多大な恩恵を受けた。

科学が発達した。

その恩恵を日本も受けた。

日本も欧米も、そのキリスト教の恩恵を無視して、古典の時代、未キリスト教の時代に戻るべきだというならば、自殺しかない。

「タライと一緒に赤ん坊も捨てる」ようなものだ。

キリスト教によって、科学には基礎が与えられる。

つまり、「一人の神が創造した一貫した法則によって統治されている宇宙」という前提である。

この一貫性や恒常性を失うならば、普遍的法則を見出すことを目的とする科学は成立しない。

多神教の宇宙では、究極者が多数あるので、その究極者の統治する領域で支配している物理法則とその他の究極者の統治する領域で支配している物理法則が同じであることを前提とできない。

それだけではなく、それらの多元的な宇宙において統一的な法則を見つける科学の作業には価値が与えられない。

多神教においては、バラバラな宇宙が究極の存在のシステムである。

「この多元的宇宙を貫く一つの原理を見つけた」などという、袋叩きに遭う。

「多元的宇宙は多元的宇宙のままでいい」といって。

一致とか統一とか合同、協力、結束などというものに価値はなくなる。

だから、多神教ではだめなのだ。

多神教の政治システムは無政府主義である。

統一政府にいかなる正当性も与えることができない。

しかし、社会は統一されていなければ混沌化し、統治は不可能なので、無理に統一することになる。

すると、そこでは統一法や統一政府は「存在の原理に反する」違法な存在である。

その社会においては、絶えず分裂への圧力がかかる。

世界観は、

1. 存在論
2. 認識論
3. 倫理

から成立するので、存在論で多神教を選択すると、当然倫理にも影響がある。

つまり、どの宗教を信じるかは実際生活を不可避免的に決定してしまうのである。

人間が理性的存在であり、物事を体系的に把握する生き物である以上、宗教は宗教、生活は生活などということは、ありえない。

存在論において失敗する社会は、統治においても失敗する。

多神教の対極にある一位一神教（ユニテリアンやイスラム教など）も欠陥宗教である。

多様性に価値がなくなるからである。

統一、一致、合一だけが究極の価値なので、多様性には常にプレッシャーがかかる。

北朝鮮のように多様であることが許されない政治体制になる。

われわれが唯一奉じるべき宗教は、三位一神教である。

三位の神が契約によって統一されているキリスト教の神だけが「一と多」の問題を解決できる。

三位一神教において、多様性と統一性の両者ともが究極の価値を持つ。

どちらが優先されるということはない。

われわれは、混沌化した現代において、聖書の神に帰るしかない。

それ以外を目指す運動は最終的に失敗する。

賢い道を選択しよう。

406 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月14日(月) 午後7時16分

タイトル: 聖書だけ見つめて、周りを見ない

また岩地に蒔かれるとは、みことばを聞くと、すぐに喜んで受け入れる人のことです。しかし、自分のうちに根がないため、しばらくの間そうするだけで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。(マタイ 13・20-21)

神への誠実さとは、どこまでも神についていくことである。

自分の祈ったとおりに事柄が進まないときでも、「神様の決めたとおりになりますように」とついていく。

不誠実な人は、自分の願望と合わない結果が出るとすぐにむくれる。

「なんだ、こんなに祈ったのに！やっぱり神などアテにならない！」

こういう人は、自分の隣人に対しても同じことをしているはずだ。

ちょっと気に食わないことがあると、むくれて不平不満を言う。

そして、その人を裏切るようなことをするのである。

だから、常にそういうタイプの人には、感情に振り回され、激情にかられて突っ走る。

絶望と有頂天の間を行ったり来たりする。

誠実な人は、神の約束にとことんついていくのである。

すぐにあきらめたりしない。

思ったとおりの結果がいつまでたっても出なくても、どこまでも信じる。

イエスの弟子たちは、イエスが十字架にかかったとたんに、四散した。

復活後イエスは彼らに「神の約束にこうあったではないか」と叱責された。

「あなたがたはなぜ神の言葉を信じ切らないのか」と。

信仰とは、自分の感情とか考えとかの基礎を完全に御言葉におくことである。

この世の人は自分や、他の人間、神々、組織などに依存している。

だから、それらが破壊されると右往左往するのである。

しかし、われわれにとって、依存の対象は御言葉である。

だから、「御言葉にはこうある」という一点にこだわる。

周りの世界がいかにそれに反していようが、御言葉にただ依存する。

嵐が去るまでの間、じっとしがみつく。

不信仰な人は、御言葉に依存しないので、すぐに不安になり、自暴自棄になったり、聖書やクリスチャンや神を呪ったりする。

だから、行動のパターンが、動物的であり、エゴなのである。目の前においしいごちそうが見れると、すぐに飛びつく。

犯罪者などは、この究極である。

目の前に自分の欲望を満足させるものが現れると飛びつく。

後先のことを考えない。気づいたら刑務所にいたなんてことになる。

原則を重視する人になろう。

そのような人になるために必要なのは忍耐である。

「自分がやっていることは聖書的に正しいことなのだ」という思いを持ちつつ、周りの環境がどんなに否定的に推移しても無視して自分の立ち位置を変えないことである。

聖書だけ見つめて、周りを見ない。

そういう歩みをしよう。

407 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月15日(火) 午前0時36分

タイトル: サタンは偽物しか提供できない

フリーメイソンが使う数字は聖書の神の数字の1つ違いである。

666の「6」は、聖書における完全数7から1つ引いた数。

米国の最初の州の数であり、フリーメイソンであるNASAがこだわる13は、神の民を表す12の1つ違い。フリーメイソンは神の民ではないということを示している。

つまり、米国は神の民としてではなく、ルシファーの民として成立したことを示している。

1970年4月11日、米中部時間13時13分にアポロ13号が打ち上げられた。そして、故障が発生したのが、1970年4月13日13時13分。

月面着陸を目指したアポロ13号が、地球からの距離33万kmで支援船の第2酸素タンクで小爆発が起きた。

まあまあ、フリーメイソンの数字がよく出てくること。

13、33、11。

11という数字は、フリーメイソンの数字。

十戒よりも一つ多い。

神の法への反逆を象徴する。

東日本大震災は、3月11日に発生。

同時多発テロは9月11日に発生。

33もフリーメイソン。

東京タワーは、フリーメイソンの施設と思われる。

日本グランド・ロッジは、東京・港区の東京タワーのすぐ隣にビルを構えている。

高さは333m。666の半分。

東京スカイツリーもフリーメイソンだろう。高さ634mは、 $6+3+4=13$ 。

バベルの塔が彼らの目標であるから、タワーの類にフリーメイソンがかかわっているのは当然と思われる。

その他にも、歴史的な日にフリーメイソンの数字が適用されているように思える。

マッカーサーがセルヒオ・オスマニャとともにフィリピンのレイテ島のレイテ湾に上陸したのが、10月23日。 $10+23=33$ 。

マッカーサーが専用機「バター号」で神奈川県厚木海軍飛行場に到着したのが8月30日。 $8+3+0=11$ 。

ご覧のとおり、全部、聖書の数字とちょっと異なるものに設定されている。

これは、私にはサタンの典型的な方法に見える。

つまり、サタンは、聖書の神のものまねしかできない。

聖書の神を基準として、それと少し違う現れ方をする。

自分のオリジナルのものがない。

偽物しか提供できない。

どこまで行っても、サタンがやることは模倣なのだ。

フリーメイソンの儀式は、聖餐式やバプテスマの模倣。

バベルの塔は、神の幕屋、ピラミッドの模倣。

偽物は本物に勝てない。

いつも本物が勝利する。

408 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 11 月 15 日(火) 午後 0 時 29 分

タイトル: 増税するなら公共投資をし雇用を創出せよ

生活保護をもらっている 56 歳の男性が TV で紹介されていた。

私の周りにも、何人か同じような人がいる。

ひと月 13 万円の支給だという。

彼らは、仕事をすることを希望している。病気など何らかの理由で仕事ができない状態ではないのだ。

生活保護制度の矛盾がある。

仕事をしたい人に、「仕事の報酬としてではないお金」を支払う。

それならば、国が仕事を与えて、その報酬として 13 万を支給すればいい。

なぜ勤労意欲がある人々に労働させない？

まったくの労働がないのに支給すれば国の財政を圧迫するのは当然のことではないか。

もしくは、企業に対して、彼らを雇用し、仕事をさせるように指導し、それに対して企業に13万を支払えばいい。

これだけ雇用がなく、生活保護だけが出ていくのであれば、国がリニアモーターカーの設置を前倒しで実行し、そこで雇用を創出するしかないだろう。

今、ケインズがどうのこうの言っている場合ではない。非常事態なのだから。

福祉国家制度というのはこのように多くの矛盾を生み出す。

税金を高くし、可処分所得を減らすことによって、国民の消費は冷えていき、それによって企業活動も鈍る。

それを補う形で財政出動をし、公共事業を起こして雇用を確保しなければならないのに、「無駄な公共事業はしません」といって、緊縮財政のもとで公共事業を減らしていけば、ますます失業者が増えるだけだ。

税金を高くするならば、財政出動せよ。公共投資せよ。

税金を安くすれば市場は活発化し、雇用は増えるだろう。

福祉国家の理念にこだわるあまりに税金を高くし、ますます増税しながら、かたや緊縮財政、無駄排除、仕分けなどを行えば、雇用が冷え込むのは当然ではないか。

本当に頭がどうかしたのか、と言いたい。

小泉改革と同じ、中途半端だからどちらもだめになる。

1.

増税→公共投資→雇用

2.

減税→市場活性化→雇用

3.

増税→緊縮財政→失業

1か2を選択するしかない。

今、1のモデルがダメになりつつあることが明らかになっている。

となれば、2しかない。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月15日(火) 午後3時20分

タイトル: ダイエーは赤字だからつぶされたのではなかった

<http://www.youtube.com/watch?v=MDI-tT5gMJM&feature=share>

ダイエーは優良企業だったのに、小泉竹中「改革」による「お取り潰し」にあったのだ。

実質的に強奪であり、乗っ取りであり、私有財産への侵害である。

410 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月15日(火) 午後4時05分

タイトル: フランクシェーファーはどうして背教したのか?

<http://www.informationclearinghouse.info/article29698.htm>

フランシス・シェーファーの息子フランク・シェーファーが、宗教右派による「鞭を使った家庭教育」に異議を唱えている。

なんだか死者が出たとか。

聖書では、「鞭を控える者はその子を憎むものである」とある。

むちを控える者はその子を憎む者である。子を愛する者はつとめてこれを懲らしめる。(箴言 13・24)

私の父親の時代は、鉄拳制裁が軍隊だけではなく、学校でもあった。

だからあの頃の人々は、殴られることや体罰に慣れている。

しかし、われわれの時代にはもはやそういう教育はなくなっていた。

ロックやビートルズの影響で長髪が流行していた。

当時はわからなかったが、聖書的に見れば、長髪の男性は「被保護者」であることを示している。

髪は頭を保護するものであり、それゆえ、聖書では保護の象徴である。

女性の髪が長いのは、女性が男性に保護されるのが自然の姿であるからである。

男性の髪が中年になって薄くなるのは、保護する立場になるからである。

中年の男性は社会の第一線で活躍し、女性や子供を守るべき存在である。

だから、頭髪が薄くなることを恥じるような今の文化は非聖書的なのだ。

ラッシュドゥーニーは、「成熟することへの反逆」という本を書いた。

現代文明とは、軟弱化すること、依存すること、独立心を失うことを賛美するような文明である。

私は、子供の時代に体罰を受けないことが恐ろしい結果を生むと考える。

神は、親が子供に体罰を与えるように、子供の精神と肉体を創造された。

だから、体罰を受けない子供は、精神的にも肉体的にもおかしい。

悪を行ったときに厳しく罰せられない子供は必ず将来おかしくなる。

今のこの売国奴だらけの日本をどう思われるだろうか。

上から下にいたるまで、利益のためだけに生きている。

原理原則などどうでもいい。

国民の福利や健康などに無関心な役人や政治家。

ただひたすらに利権をむさぼる人々。

子供のころに善悪のけじめを教えられなかったからではないか。

厳しく体罰を受けなかったからではないか。

フランク・シェーファーは、そのような失敗した教育の見本ではないだろうか。

あのような高名な伝道者の息子が今や、自分の父親が聞いて恥じるような言説を繰り返している。

父親は、ラッシュドゥーニーやヴァン・ティルから学んだが、ポスト・ミレも、セオノミーも受け入れなかった。

今の福音派の典型である中途半端なカルヴァン主義で落ち着いた。

『それでは如何に生きるべきか』という本を書いたが、答えを出さなかった。

福音派に留まる限り、不徹底な立場しか取れない。

首尾一貫した立場をとるならば、再建主義に至るしかないのだ。

シェーファーはそれを避けた。

そのセオノミーやポスト・ミレをとらなかったことによる、隙間にサタンが入り込んだのだろう。

そして、息子を背教者に変えた。

この論文において、フランクは、聖書に真っ向から対抗している。

彼の意見は、御言葉にではなく、常識や世論に基づいている。

世俗社会では有名になったが、神にとっては役に立たない人間である。いや、むしろその反再建主義の言説により、神の国を妨害している。

聖書のどこに体罰を禁止しているだろうか。

答えられないだろう。

なぜならば、フランクにとって聖書なんてどうでもいいからだ。

411 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月15日(火) 午後8時23分

タイトル: 永遠の相続者になるべし

「子孫に美田を遺さず」という言葉がある。

子孫には最初から財産を与えず、一から苦勞させたほうが本人のためだ、というような意味である。

これは聖書的ではない。

聖書においてわれわれが生きている目的は、地を従えることである。

これは、一代では不可能である。

何世代にもわたる努力の積み重ねが必要である。

だから、相続は極めて重要なのだ。

相続を通じて、何世代にもわたって富が蓄積されなければ神の国は成長しない。それゆえ、クリスチャンによる世界支配も遅れる。

神は世界をクリスチャンの手にすでに渡されたのだ。

われわれはそれを手に入れることが可能なのだ。

法的には。

法的所有権がすでにクリスチャンに移行しているのだ。

それを実際的に所有するには戦いが必要だ。

知恵と力を尽くして、領土を拡大しなければならない。

サタンはわれわれに抵抗する。

その戦いの中で、苦勞して御国を拡大することが神の御心なのである。

だから、一代一代、振り出しに戻るような方法は、きわめて稚拙であり、神の使命を満したとは言い難い。

われわれは、どのくらい自分に割り当てられた領域において、神の国を拡大したかを問われる。

自分が拡大するだけでなく、それをいかに次世代に相続させたかも問われるのである。

だから、教育はきわめて重要なテーマなのだ。

教育とは「自分が拡大して獲得した領土を子孫に渡して再生産させること」を目的とする。

何世代かに、クリスチャンが金銭的にも政治的にも勢力を拡大していなければならない。

ディスペンセーションナリズムが流行し、「もうすぐ終わりがくる。キリストが再臨される。その前に世界は反キリストに牛耳られ、クリスチャンの営為はすべて灰燼に帰すだろう」

というような教えでは、相続は無視される。

だから、ビリー・グラハム大会で何億円使っても、毎世代毎世代一から伝道を始めるから無駄金になるのだ。

今のクリスチャンは、聖書的な歴史観を学んでいないから、刹那的である。世代を通じてのクリスチャンの影響力の拡大なんて全然考えていない。

逆にイルミナティは世代を通じての支配の拡大を信じている。

ロスチャイルドは、「わたしは子孫をこの働きのためにささげつくした」といった。

悪魔の王国を拡大するために世代を通じて努力すると宣言した。

世代を通じて努力する人々に、刹那的に生きて、目の前にある欲望に飛びつくような人々が勝てるわけがないではないか。

『シオン議定書』では、ユダヤ人が異邦人の刹那性を馬鹿にする箇所がある。

聖書の主題を大きく見ていけば、救いとは、「相続のため」である。

イエス・キリストを信じるのは、永遠の相続にあずかるためである。

人類には2種類ある。

1. 相続できないグループ。
2. 相続できるグループ。

1. はアダム族である。

アダムはエデンの園において神の試験に失敗したため、相続できないグループになった。

アダムから生まれるすべての人は、そのままであれば、相続不能になる。

つまり、この世において稼いだお金も土地も財産も家族もみんな相続できず、来世において無一文になり、しかも、生前犯した罪の責任を取って未来永劫火の池で苦しむ運命であ

る。

2. はキリスト族である。

キリストは、アダムが失敗した試験を受けて合格した。

合格したことにより 2 つの資格を得た。

- (1) 永遠の相続を受ける資格。
- (2) 罪を不問にされる資格。

キリストと契約を結んでその一族に加わる人々はみな、この 2 つの資格を手に入れることができる。

これがクリスチャンになるということだ。

信仰に入った人々は、

- (1) 永遠の相続を受ける。つまり、自分が生前に行った仕事、家族、財産、土地、技能、…いっさいのものを、永遠に所有することができる。

われわれが手に入れたものは永遠に失うことはない。

しかし、どんなに億万長者であっても、キリストを信じていなければ、無一文になる。永遠の世界においてスッカラピンになる。

サタンは、自分の心になつた人間に莫大な財産を与えるだろう。サタンに従うことによってこの地上で権力や名声、財産を手に入れることができるかもしれない。

しかし、それは、サタンと一緒に地獄の中に落ちるときにすべてを失う。

サタンに従う生き方がいかに馬鹿らしいかこれでお分かりだろうか。

- (2) 罪を不問にされる資格。

われわれが生前犯した罪は、キリストによる身代わりの死によってすでに処理されている。

キリストの契約の中に入るときに、すべてが不問にされる。

キリストが十字架ですべての刑罰を負って死なれ、神に対して負債を支払われたので、神はキリストを復活させ、再び命をお与えになった。

復活は、「負債の全額支払い」の証明である。

だから、キリストを信じるわれわれも、自らの罪の支払いをすべて済ませたとみなされるのである。

アダム族に留まることは、永遠の浮浪者になることを意味する。

キリスト族に入ることによって、われわれは、人生で手に入れたすべてのものを永遠に所有する権利を与えられる、つまり、永遠の金持ちになれる。

だから、かしこい人はクリスチャンになるのだ。

412 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月15日(火) 午後8時36分

タイトル: TPP に対する野田の態度が変わった

http://qualitysaitama-blog.at.webry.info/201111/article_33.html

このブログはするどいところを突いている。

祈りが聞かれたのかもしれない。

413 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月15日(火) 午後11時40分

タイトル: 民主党の素人政権は、国益を損なう

ツイッターより：

=====

@ronchantw：

TPP 交渉参加表明において、日本外務省が「事実無根」と抗議した件は、実は日本のウソだった。11/13 の日テレ・バンキシャの枝野大臣密着取材ビデオの中の米国向け資料の映像に「日本は全ての項目を TPP 交渉の対象にする用意がある」と。
<http://www2.himitsukichi.info/up/news/1321262296/>

=====

これはオバマやキッシンジャーはカンカンでしょう。

騙し打ちのような。

民主党の素人政権は、国益を損なう。

414 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 11 月 16 日(水) 午後 9 時 19 分

タイトル: 日本の乗っ取りが皇室においても進行しているかもしれない

ロックフェラーがリーマンでしくじったときに、来日して天皇陛下に金の無心をしたという情報がある。

断られたそうだが、可能性として、今の天皇陛下を退位させて、雅子様という三極委員会の幹部を父親に持ち、創価学会と関係のある皇太子妃を動かして次期天皇となる皇太子に、天皇家の金塊を出させるという筋書きはないのだろうか。

デヴィ夫人が皇太子に対して抗議をしているそうだが、あの夫婦はどうみても、敵側によって送り込まれた奥さんによってスポイルされている。

皇太子は、鳥居をくぐりたくないらしいし。雅子様は、美智子皇后陛下の誕生日のパーティに欠席したと聞いた。

どうしたって、次期天皇になれる器ではない。

デヴィ夫人が主張するように、秋篠宮に譲るべき。

今の天皇陛下のご病気だって、策略の可能性はある。

日本の乗っ取りが皇室においても進行しているかもしれない。

祈らねばならない。

415 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 11 月 16 日(水) 午後 10 時 06 分

タイトル: とんでもない亡国条約

ツイッターより。

=====

@magosaki_ukeru

TPP (ISD) :TPP では ISD が余り論じられない。海外投資家が国家を訴える制度。その時の裁判基準は「政府の政策が海外投資家にどれ位被害を与えたか」であり、「その政策が公共の利益のために必要なものかどうか」の考慮はほぼ管轄外。

=====

海外投資家、つまり、主にユダヤ人の利益を、国民の利益よりも優先せよとの条項。

とんでもない亡国条約だ。

416 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 11 月 17 日(木) 午前 8 時 18 分

タイトル: ますますバビロン化が進む現代世界

「獣に乗る大淫婦」

これは、私が今聖霊に教えられているテーマである。

黙示録に出てくる反キリストの勢力の象徴である。

大淫婦とは、反逆のイスラエル。

獣とは、悟りのない異邦人。

今のイスラエルは、シオニストである。シオニストは、共産主義者であり、その起源はロスチャイルドである。

ロスチャイルドは、マルクスだけではなく、マルクスを共産主義に導いたヘスをも生んだ。

ロスチャイルドは、タルムードユダヤ教、サバタイ・ツェヴィイを祖とするサバタイ・フランキスト派ユダヤ教を奉じる。

サバタイ・フランキスト派とは、実質サタン教である。

<http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/25xPj8R9adGoE15134.htm>

であるから、今日のイスラエルも、反逆のイスラエル、つまり、大淫婦。

今日の欧米は、キリスト教を捨てて野獣に返った。

だから、今、われわれは、「獣に乗る大淫婦」の復活を目撃している。

これは、かつて紀元70年頃に登場し、黙示録を成就した。

現代に現れた「獣に乗る大淫婦」は、もしかして黙示録の「千年の終わりに解放されたサタン」によるものかもしれない。

「しかし千年の終わりに、サタンはその牢から解き放され、地の四方にある諸国の民、すなわち、ゴグとマゴグを惑わすために出て行き、戦いのために彼らを召集する。彼らの数は海べの砂のようである」(黙示録20・7-8)

マドンナという歌手は、どうやら獣に乗る大淫婦をモチーフにしているようだ。

「彼女の『リインベンション・ワールド・ツアー』はもともと『バビロン大淫婦ワールド・

ツアー』と名付けられていた。その意図は、マドンナを黙示録に登場する悪者であるバビロンの大淫婦として描くことにあった。」

http://en.wikipedia.org/wiki/Re-Invention_World_Tour

マドンナの後に出てきたレディー・ガガも同じ霊を感じる。

彼女は、積極的にイルミナティの象徴を利用する。

マドンナやレディー・ガガが両脇に男性を置いて3人でパフォーマンスするのは、おそらく「獣に乗る大淫婦」の象徴だろう。

<http://nabiy4america.files.wordpress.com/2010/12/ishtar.jpg>

(写真：両脇にフクロウをはべらせ、獣に乗るイシュタル)

<http://nabiy4america.files.wordpress.com/2010/12/madonnagroping2.jpg>

ギリシア神話に出てくるエウロパは、獣の上に乗る。

起源をたどると、このエウロパは、アシュタロテであり、アシュタロテはイシュタル。イシュタルは、イナンナ。イナンナは、セミラミスである。

セミラミスとは、バビロンの女神である。

<http://www.youtube.com/watch?v=Nyy3v98zBzo>

実は、アメリカの「自由の女神」は、イシュタルである。

=====

the Statue of Liberty は、バビロンの女神イシュタル、大淫婦の母、自由の女神である。この「芸術作品」を作ったのは、ニムロデ以前の時代に起源をもつメイソンの教理をたたえることを望んだフリーメイソンのメンバー (Auguste Bartholdi) である。

<http://yahushua.net/babylon/liberty/statue.htm>

=====

つまり、米国が尊重する自由とは、バビロンの自由なのである。

これで、米国の霊的な本質は明らかだ。

米国を建国したのは、フリーメイソン。フリーメイソンの自由とは「神からの自由」であり、それはバビロンの自由でもあった。つまり、アブラハムをそこから追い出した自由：放蕩と淫乱。

米国とは、大淫婦の国。

だから、マドンナやレディー・ガガは、出るべくして出たアイドルである。

彼女らこそ、アメリカの霊的象徴である。

ヨーロッパという地名は、エウロパに由来する。

ということは、ヨーロッパもイシュタル→自由の女神→マドンナ→レディー・ガガの土地ということになる。

霊的には、米国と欧州は、大淫婦でつながっている。

ロスチャイルドは自らをニムロデの子孫とする。

ニムロデは、バベルの塔の建設者である。

「ニムロデは、神に挑戦する目的で、剣を持ち、天を威嚇する像を塔の頂上に建てた」
(Wikipedia—バベルの塔)

ロスチャイルドは、現代におけるバベルの塔建設者である。

バビロンによって、ロスチャイルドとマドンナ、レディー・ガガはつながってくる。

霊的に、世界はますますバビロン化している。

人々を解放するためのデモである「ウォール・ストリートを占拠せよ」すらも、「獣に乗る大淫婦」がモチーフである。

それは、本当の解放ではなく、バビロンの解放、つまり、無律法、淫乱、放蕩である。

セオノミーに立つしか解決はない。

バビロンの中でどれだけ騒いでも無駄である。

アブラハムのように、バビロンから出て、別のシステムを作るときがすでに来ているのではないだろうか。

417 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 11 月 18 日(金) 午後 4 時 15 分

タイトル: 鞭を控えるなという神法を無視する児童相談所による児童拉致を糾弾しよう

国が親の子への体罰を理由に子供の強制隔離。

体罰は神が両親に与えた義務であり、それを暴力と解釈し、子供を取り上げる児童相談所は、神の法に挑戦する反逆罪で神罰が下るべきである。

虐待問題の強調は、ポルノ蔓延と並んで、グローバリストによる「家族解体」そして「国家解体」の策謀だと思います。

以下、児童相談所に子供を拉致され奪い返す過程で冤罪によりご主人が逮捕された my 日本の「ますみ」さんの日記です。

引用します。

=====

主人が冤罪で逮捕された (1)

【 1. 事件のあらまし 】

主人が起訴された事件の公判が現在行なわれています。

- 刑事裁判の日程についてはこちら ⇨ 主人の刑事裁判！

- 私達が児童相談所と関わらなければならなくなった、
信じがたい事件の詳細はこちら ⇨ 児相問題日記のまとめ

今年中にあと3回の公判が予定されています。
現在、公判が開かれており、
事件はまだまだ現在進行形ということもあるので、
主人が逮捕・起訴された事件の詳細を、
ここに残しておきたいと思います。

今から2年近くも前の平成22年3月2日のことです。
主人と私が静岡市児童相談所へ行った際、
主人が静岡市児童相談所の所持している
ICレコーダーを投げつけて壊したとして、
準現行犯逮捕され、
起訴されました。(損害額は3千円)
当時の様子は毎日新聞の静岡版にて、
次のように報道されました。

器物損壊：児相で職員の録音機損壊 容疑の男を逮捕 /静岡
静岡中央署は2日、静岡市児童相談所(葵区)で
職員のICレコーダーを壊したとして、
同市葵区、松島弘容疑者(45)を器物損壊容疑で逮捕した。
同署によると、松島容疑者は、
施設に保護されている長男を返すよう求めに同相談所に来たという。
「勝手に落ちた」と容疑を否認しているという。

逮捕容疑は、同日午前9時半ごろ、
職員がICレコーダーをカウンターに置き、
松島容疑者とのやり取りを録音しようとしたところ、
床に投げつけて壊したとしている。

松島容疑者は昨年7月、
両親の虐待を理由に同相談所が長男を保護し、
面会や連絡が取れないのは
親権の行使妨害にあたるとして
国と県、静岡市を相手取り、
約1000万円を求める損害賠償を東京地裁に起こした。

【大西量】

毎日新聞 2010年3月3日 地方版

my 日本の方なら分って下さると思いますが、
上の記事は嘘ばかり書いてあります。
この記事を元に、主人が逮捕起訴までされた裏にある真実を、
詳しくお話します。
どうかお付き合い下さい。

主人が冤罪で逮捕された (2)

主人が冤罪で逮捕された (1) からの続き

【 2. 私達が見相に行った理由 】

事件当日に私達が静岡市児童相談所に行ったのは、
朝日新聞に書いてあるように
「長男を返すよう求めに」行ったわけではありません。
私達は静岡市児相が違法公務を乱発させるので、
その説明を受けに行きました。

私達は虐待もしていないのに、
子供を保護と称して拉致されており、
4年以上も子供と完全隔離されていますが、
うちの場合のように、
親の同意を得ないで、
児相が勝手に子供を施設に入所（入所措置）させる為には、
家裁の審判（許可）が必要になります。
この入所措置決定の為の審判の効力は、
2年しかないので、
児相が2年以上子供を親から引き離そうとすると、
児相は新たに更新の審判を家裁に起こして、
子供の施設入所を続ける許可を、
再度取らなければなりません。

ようするに児相は、
家裁から施設入所許可が下りたら「入所措置」を行ない、
2年後にも更に親子分離を続けたい場合は、
家裁から「入所措置の更新」の許可が下りたら、
「入所措置の更新手続き」を行ないます。

因みに家裁は児相の言い分しか聞かないので、
親側の言い分が聞かれることは滅多にありません。
入所措置の「更新」の審判にいたっては、
日本では親が勝った判決は、
今までなんと0件です。
家裁の審判なんて、ただの儀式でしかなく、
児相への監督機能など、全く働いていないのが現状です。

ところで、私達の息子に関する入所措置決定にあたり、
静岡市児童相談所は重大な2つの違法行為を行ないました。

まず、1点目。
児相の公務に限らず、
日本で行なわれる全分野での「更新手続き」は、
例えばある期限が2/29付けで切れると、
新たな更新日は翌日の3/1付けではなく、
期限切れと同じ2/29付けから新たに更新されるという
手続きを取ります。
なぜなら、
更新の日付が翌日の3/1にしてしまうと、
2/29が一切の効力のない、
「空白の1日」になってしまうからです。

話を児相に戻します。
まず児相は虐待されたとする子供を保護すると、
「一時保護」措置をとります。
児相が「一時保護措置」の期間の間で問題解決できず、
もっと長期間継続して子供を保護したいとき、
「一時保護措置」から「保護措置」に切り替えます。
うちの息子もやはり最初は「一時保護措置」だったのですが、

当然「保護措置」に切り替えられました。
保護措置に切り替える際は、一度、一時保護措置を解除して、その後、保護措置を決定するという手続きを踏みます。
うちの息子は、
平成20年2月29日付けで一時保護措置が解除され、翌日の3月1日から保護措置に切り替えられましたが、ここが違法なのです。
本来なら保護措置は一時保護措置解除と同日の、2/29付けでないと駄目です。
なぜなら、この静岡市児相のやりかたと、2/29には、息子は一時保護措置も、保護措置も受けていない、一切の措置を受けてないことになってしまう。
要するに児相は、一切の法的根拠なしに、2/29に息子を私達から引き離したことになり、これは適正手続義務違反（違憲）にあたります。

次に、2点目。

一般的に入所措置決定なのですが、前述のとおり、親が入所措置に同意しない場合、家裁の許可が下りなければ、子供を入所措置に切り替えることはできません。
うちの場合、ちょっと記憶が定かではないのですが、平成20年2月の上旬くらいには、入所措置に対する家裁の許可が下りていました。
しかし児相はすぐに一時保護措置から、入所措置決定への移行を行わず、1ヶ月近くもダラダラと一時保護を延長していました。
この意味が分りますか？
このように家裁の許可が下りても、即、保護措置に切り替えずに、ダラダラと一時保護を引き伸ばすことが認めらると、次のようなことが起こり始めます。
保護措置に切り替えれば2年という期限がついてしまい、2年経ったらまた家裁に入所措置更新の許可をとるのが面倒だから、

なるべく保護措置に切り替えずに、
家裁の許可がいない一時保護を引き延ばしてしまった方が、
児相にとって、都合がよくなります。
児相にとっては、
「なんなら一生、保護措置になんて切り替えずに一時保護措置のままにしまえ！」
ということになります。
確かに家裁の児相への監督機能なんて、
全くないんですけど、
一応、親から2年以上引き離す場合は、
家裁の許可を取らねばならないという法律（児福法）があるのに、
静岡市児相のようなやり方を行なうと、
児福法に定められた手続きをとらなくても、
半永久的に親子を強制的に隔離することができることになってしまう。
本当に恐ろしいことなのです。

通常、一般的な行政手続きは（もちろん児相も例外ではない）、
裁判所等の監督機関の許可が下りたら、
即、なんらかの措置の決定など、実行に移します。

ですから私達は、この2点の違法公務について、
説明を求めに静岡市児童相談所に行ったのです。
しかし毎日新聞は、
児相の違法公務を一切書かずに、
まるで私達が、
「虐待したくせに、逆ギレして児相に子供を奪い返しに行った」
というように書いています。

主人が冤罪で逮捕された (3)

主人が冤罪で逮捕された (2) からの続き

【 3. 違法な現行犯逮捕 】

さて、いよいよ本題に入ります。

ところで私達は、
最初から児相を提訴するつもりでしたので、
児相との会話は全て録音しています。
それに対抗して、
児相もいつからか、
私達には何も言わずに、
こっそりと私達一般市民の会話を録音するようになっていました。
まあ、これは別に私達は疚しいことはないので、
全然かまわないし、
私達との会話も、
むしろどんどん公表して貰っていいのです。
会話を公表されて恥をかくのは、
私達ではなく、児相の方ですから。
ただ、公務員が一般市民の会話を、
市民からの同意もなく録音することの、
法的根拠が全く無いのです。
元公務員だった主人は、
当然そのことを知っていますから、
法的根拠もない録音行為を堂々で行なってる児相に、
主人は抗議しようと思いました。
事件当日も、
児相は私達の同意を得ずに、
ＩＣレコーダーで隠れて録音していました。
そのＩＣレコーダーを偶然見つけた主人は、
そのＩＣレコーダーを右手に持って、
児相職員に「市民の同意も得ないで市民の会話を録音すること」に
抗議をしようと思いました。
ところが、主人が児相のＩＣレコーダーを持った途端、
右手からＩＣレコーダーが落ちてしまったのです。
元々主人は、
右手に分娩麻痺があり、右手があまり良く動きません。
あまり良く動かない右手でＩＣレコーダーを持ったため、
思わずＩＣレコーダーを落としてしまったようです。
ＩＣレコーダーは床に落ちました。
この故意ではなく過失の行為を持ってして、

主人は「器物損壊」の現行犯逮捕をされましたが、この現行犯逮捕は、実はおかしいことが満載なんです。

以下、どこがおかしいのかを書きますが、これは私の主観ではなく、司法警察職員として海上保安庁に 25 年勤務した主人の、現場での法に裏付けられた確かな話を元には書いています。

主人は麻薬捜査や殺人事件・密航事件などの、捜査・逮捕・取り調べ・起訴・公判での証言などの全ての行程を、第一線で行なってきたプロですから、その辺のぼんくら刑事の話より、余程確かな話です。

主人が冤罪で逮捕された (4)

主人が冤罪で逮捕された (3) からの続き

① ICレコーダーを本当に主人が壊したのか、客観的証拠がない。

まず、主人が ICレコーダーを手から落としたのは事実です。

ただし、本当に主人が ICレコーダーを壊したかどうかの証拠が、一切ありません。

通常、器物損壊で現行犯逮捕される場合は、

犯人に対して「確かに壊れている」ということを、

警官など現行犯逮捕する人間が、その場で確認させます。

ところが、主人も私も、

壊れたとされる ICレコーダーを、

その場で一切見せて貰えなかったんです。

主人が初めて壊れた ICレコーダーを見たのは、

勾留中であり、事件から確か 1 週間以上経ったあとだったと思います。

② 犯行現場が保存されないまま、現行犯逮捕。

主人は「準現行犯逮捕」されました。

普通は裁判所の令状によって行なわれる「通常逮捕」が一般的ですが、逮捕する人が、実際に犯行を見ていたり、

或いは犯行を見ていなくても、
犯罪が行なわれたことが明らかにわかる犯行現場が、
そのまま保存されて犯行の事実が分るようになっていれば、
現行犯逮捕できます。(コレを準現行犯逮捕という)
しかし主人の場合、
主人を現行犯逮捕した警官は、
主人が I C レコーダーを落としたあとに来ているので、
犯行など目撃なんてしてません。
だから本来なら、現行犯逮捕はできません。
では、準現行犯逮捕をするために、
現場保存がしてあったかというと、
実は現場保存すらされてなかったんです。
なんと警官がかけつける前に、
近田という兇相職員が、
落ちた I C レコーダーを自分の机まで持って行ってしまったのです。
近田の机はパーテーションの裏であり、
私達の間からは見えないところにありました。
はっきり言って、近田は、
主人を器物損壊犯にしたてあげるために、
I C レコーダーを壊すこともできる状況だったんです。

結局、警察は現行犯も準現行犯も、
逮捕の要件を一切満たさない主人を、
兇相職員の「I C レコーダーを叩きつけて壊した」という虚偽証言だけを鵜呑みにし、
違法に現行犯逮捕したことになります。
因みに刑事は、
私達からの意見は一切聞きませんでした。
刑事は兇相職員とはなにやら長々と話していましたが、
主人に対しては、「I C レコーダー落としたのね？」と、
ただ一言それだけを聞き、
さっさと現行犯逮捕してしまいました。

③ I C レコーダーの不自然な壊れ方。

主人が壊れた I C レコーダーを見たのは、
勾留中でしたが、その壊れ方が酷いんです。

実際はただ落とすだけの壊れ方ではなかったそうです。

主人が言うには

「何か細いものでICレコーダーを突いたのではないか？」

ということらしいです。

実際、警察は、メーカーにどのくらいの力が加われば、

このような壊れ方をするのかを聴き取り、

調書にしてあるのですが、そこにははっきり、

「ただ落とすだけでは、このような傷はつかない」と

書かれています。

ということは、

実際主人が、ICレコーダーを叩きつけていないのは、

私も見ていますから、

これは明らかに、主人がやった傷ではありません。

じゃあ、誰がICレコーダーを壊したのか？

私達は兇相相手に日本初の証拠保全を成功させていますし、

国賠裁判出もかなり兇相を追いつめていますので、

兇相職員が主人を陥れる動機は十分にあります。

ということは・・・

④ 主人は、民事責任は果たそうとした。

実は私も知らなかったんですが、

器物損壊って、悪意を持ってわざと物を壊さないと、

刑法犯にはならないんです。

間違って過失で壊してしまった場合は、

弁償する責任は負うけど、

逮捕なんてことにはなりません。

ここで主人の話に戻ります。

以上、おかしな現行犯逮捕をされた主人ですが、

本当かどうかわからないけど、

とにかく兇相が「ICレコーダーが壊れた」と言っているし、

そのせいで実際問題、逮捕・勾留までされちゃってるし、

主人が間違ってICレコーダーを落としたのは事実だから、

とにかく民事責任は負って、全額弁済を申し入れました。

それにも関わらず、兇相は主人の全額弁済を拒否しました。

理由は「主人が反省していないから」だそうです。
間違っって落としてしまった以上、弁償するというのが、
最大の反省だと思うんですけど、
児相が言う「反省」とは、
やってもいないことを認めることみたいです。
でも、児相が主人の全額弁済を拒否した理由はもう一つあります。
主人は全額弁済を「児相の壊れたICレコーダーを買い取る」という形で、
申入れたんです。
そうすれば、ICレコーダーの損壊部分をこちらで自由に検証できます。
ですから、民事責任も果たせるし、
事件の真相追及にも役立つし、
うちとしては一挙両得だったんですよ。
しかし、そんなことをされたら、
多分、児相が困っちゃうんでしょうね。
それで児相は、「買い取られるのが嫌だから」という理由もつけて、
全額弁済を断ってきています。

因みに器物損壊は「親告罪」です。
要するに、被害者が告訴しないと事件にならないんです。
通常、器物損壊事件があったとしても、
加害者が全額弁済を申入れれば、
被害者は告訴を取り下げます。
でも、児相は全額弁済を拒否、告訴も取り下げません。
なんでなんですかね～（呆）

因みにですね、
警察がメーカーに問い合わせたところ、
児相のICレコーダーを直すには、3,000円かかると書いてありました。
ですから主人の罪(?)は「損害額3,000円の器物損壊」ということになります。
例え有罪になったとしても、罰金が1万円くらいだそうですよ～
アホくさ！！
まあ、実は具体的な被害金額については、
私も今はちょっと忘れちゃってるんですけど、
どっちにしろ30万円とか300万円とか、3,000万円とか、
そういう話じゃないです。
千円、二千元、三千元…という次元のお話ですよ。

因みに、
このICレコーダーを全額弁済すると、
確か1万円くらいかな。
児相も全額弁済を受け入れた方が、
全然お得なのにねえ。
まあ児相（特に児相長の久保坂篤）は、
自分達の面子を潰し続けている私達に、
復讐する方が重要なのでしょう。
ヤツらは私達の血税である公費を使って、
冤罪事件をでっちあげて、
刑事裁判を起こしているというわけです。

世も末です。

http://sns.mynippon.jp/?m=pc&a=page_fh_diary&target_c_diary_id=306117

=====

418 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月18日(金) 午後7時46分

タイトル: イエス・キリストの契約に逃げ込むべきだ

板垣英憲氏のニュースレターによると、今、米国の金持ち、とくに金融関係の上層部が日本への移住を考えているという。

それは、日本人が東日本大震災という未曾有の被害に遭遇していながら、冷静さを失わず、かつ、節度も保ち、じっとガマンして整然として後日、復興に向かって立ち上がろうとしている姿をマスメディアなどを通じて、目の当たりにして感動しているからだそうだ。

私は、これは表向きの理由で、彼らの真の野望は、日本経済の乗っ取りにあるのだらうと思う。

メガバンクの乗っ取りを考えているという。

この米国の金持ちとは、ユダヤ人のことだらう。だから、イルミナティ・フリーメイソンだらう。

私が以前から主張しているように、イルミナティのサタンは、神殿を占領し、ついに至聖所にまで入るだろう。

世界は、庭→聖所→至聖所の構造になっており、ユーラシア・アフリカは庭→南米・北米が聖所→日本・ニュージーランドは至聖所という構造になっていると考える。

日本とニュージーランドに対してもものすごい地震攻撃をしかけているのは、乗っ取るためである。

揺さぶって揺さぶって、動揺させ弱くして、それから乗り込む魂胆だろう。

だから、原発事故はダミーであろう。

本当にメルトスルーしたのであれば、被害はこんなことじゃあ済まないはずだ。

原発事故を過剰に演出して、放射能の被害を過大に強調する。

宣伝マンを調べてみたまえ。たとえば、クリス・バズビー。「みどりの政治」出身だ。「みどりの・・・」という名前がついた運動はロックフェラーが金を出している。

つまり、クリス・バズビーは、グローバリストの傀儡である。

本当に福島事故がチェルノブイリ級ならば、どうしてユダヤ人の金持ちが日本への移住を考えるのか。

当初から、原発事故を偽装して、日本人を追い出してそこを乗っ取ろうという計画なのだ。

さあ、サバタイ・フランキスト派の悪魔教徒たちは、ついに神の至聖所にまで入ろうとしている。

紀元 70 年にローマ軍が神殿の至聖所に入ったように、彼らも世界の至聖所に入るだろう。

『荒らす憎むべきもの』が、自分の立つてはならない所に立っているのを見たならば（読者はよく読み取るように。）ユダヤにいる人々は山へ逃げなさい。」（マタイ 13・14）

ローマ軍が至聖所に入り、軍旗を立てた。

これを見たクリスチャンは、山へ逃げた。

エウセビオスによると、御使いの導きによって、エルサレムを脱出し、安全な場所に避難した。

クリスチャンは、エルサレムの滅亡に巻き込まれなかった。

同じように、イルミナティが、日本に入ったときに、われわれクリスチャンは山へ逃げるべきだ。

山とは何か。

山とはイエス・キリストである。

聖書において犠牲の山ホレブでアブラハムはイサクを犠牲としてささげようとした。

だから、山とはイエス・キリストを象徴している。

世界経済の崩壊、バベルの塔の崩壊、これから訪れる大激変において守られるためにイエス・キリストの契約に逃げ込むべきだ。

419 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月18日(金) 午後9時29分

タイトル: 着実に金を買っておくべきだ by Richard Russell

<http://lewrockwell.com/orig12/russell-r18.1.html>

Richard Russellによると、1～3年後に金価格の急上昇が来るという。

「金価格は頂点に達したのか、とみな尋ねる。

...

米国はインフレには至っていないが、いったんインフレになると不安にかられた消費者が

金の購入に走るだろう。

...

金を買う時期を待つてはならない。今着実に金を買っておくべきだ。急上昇の時期が必ずやってくる。おそらく1～3年後だろう。」

420 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月19日(土) 午前1時03分

タイトル: 民主党の内乱罪の適用を検察庁に要請しよう

<http://ameblo.jp/tachiagare-nihonjin/entry-11067067423.html>

☆【お願い】民主党の内乱罪の適用を検察庁に要請しよう!★ November 03, 2011

テーマ: 反日 (民主党/議員/閣政策)

←忘れる前にWでポチッと応援お願いします<(_)>

ひめブロさんからの転載記事です。

■ 検察が民主党内の数人に目星をつけており、
※ 国民の支持があれば動ける状態だそうです。

■ 検察やご自身の選挙区の国会議員、各政党へ連絡してください!

※ 最高検察庁と東京高等検察庁をお願いします

検察に電話してみましたら、具体的に誰かは教えてもらえませんでした。

■ 何人か捜査に目星をつけているそうです。

■ ■ 検察は動こうと思えば動けるが国民の支持がまだ足りないと思っているそうです。

★起訴までいかなくても検察の捜査が入っただけで民主党はガタガタになり内部分裂すら起きてしまうかもしれません。

.....

内乱罪および予備及び陰謀・同幫助罪の容疑内容は以下のとおりである。

- 1) 在日韓国人政治犯釈放の要望書について、「原教晁氏拉致事件の実行犯シンガンス」の釈放嘆願書に署名している事実。
- 2) 日本人拉致事件容疑者の長男（28）が所属する政治団体「市民の党」から派生した政治団体に計6250万円を政治献金していた事実。
- 3) 反国の統治機構を破壊し、又はその領土において国権を排除して権力を行使し、その他憲法の定める統治の基本秩序を壊乱することを目的として反日教育を行っている朝鮮人学校に対して授業

料無償化の名目で国民の税金を使い、ほう助しようとする事実。

- 4) 尖閣諸島で違法操業をとりしめる巡視船に体当たりした中国人船長を逮捕しながら、日本の法律に従わず釈放した事実。
- 5) 他国で、反日運動に参加し国の統治機構を破壊し、又はその領土において国権を排除して権力を行使し、その他憲法の定める統治の基本秩序を壊乱することを目的として演説を行った民主党国会議員がいる事実。

★日本人を拉致した国家および拉致実行した者を支援しているという事実だけでも、以下の要件に当てはまると考えられる。

- (1) 「国の統治機構を破壊し、又はその領土において国権を排除して権力を行使し、その他憲法の定める統治の基本秩序を壊乱することを目的として暴動をした者」
- (2) 「謀議に参加し、又は群衆を指揮した者」
- (3) 付和随行し、その他単に暴動に参加した者
- (4) 上記 (1)から(3)の内乱を予備又は陰謀をした者、幫助した者

参 考

★内乱に関する罪（内乱）

第七十七条 国の統治機構を破壊し、又はその領土において国権を排除して権力を行使し、

その他憲法の定める統治の基本秩序を壊乱することを目的として暴動をした者は、内乱の罪とし、次の区別に従って処断する。

- 一 首謀者は、死刑又は無期禁錮に処する。
- 二 謀議に参加し、又は群衆を指揮した者は無期又は三年以上の禁錮に処し、その他諸般の職務に従事した者は一年以上十年以下の禁錮に処する。
- 三 付和随行し、その他単に暴動に参加した者は、三年以下の禁錮に処する。

■2 前項の罪の未遂は、罰する。ただし、同項第三号に規定する者については、この限りでない。

★（予備及び陰謀）

第七十八条 内乱の予備又は陰謀をした者は、一年以上十年以下の禁錮に処する。

★（内乱等幫助）

第七十九条 兵器、資金若しくは食糧を供給し、又はその他の行為により、前二条の罪を幫助

した者は、七年以下の禁錮に処する。

★（自首による刑の免除）

第八十条 前二条の罪を犯した者であっても、暴動に至る前に自首したときは、その刑を免除する。

■最高検と東京地検に応援メールを
東京地検 メールフォーム

<https://www.kensatsu.go.jp/kensatsumail/feedback.php?id=006>

検察庁公式ホームページ

<http://www.kensatsu.go.jp/>

★メール★

名前記入だけで送れます

■ 最高検察庁

<https://www.kensatsu.go.jp/kensatsumail/feedback.php?id=001>

■ 東京高等検察庁

<https://www.kensatsu.go.jp/kensatsumail/feedback.php?id=061>

■ 東京地検

<https://www.kensatsu.go.jp/kensatsumail/feedback.php?id=006>

関係省庁・各党へ意見・抗議

※ご自身の選挙区の議員に連絡して反対するように強く圧力をかけてください！（一番効果的）

自民党 へのご意見

E-mail <https://ssl.jimin.jp/m/contact>

自由民主党ふれあい（自民党にもものもうす）

FAX 03-5511-8855

たちあがれ日本 ご意見・ご要望

E-mail <https://www.tachiagare.jp/contact.php>

電話 03-3582-8111(代表)

FAX 03-3582-8112

国民新党 国民の声を聞く

E-mail http://kokumin.or.jp/index.php/pages/contact_us

電話 03-3239-4545 / 03-5275-2671

FAX 03-5275-2675

民主党 ご意見・ご感想はこちらへ

E-mail <https://form.dpj.or.jp/contact/>

民主党本部「国民の声」係

電話 03-3595-9988（代表）

FAX 03-3595-9961

各府省への政策に関する意見・要望

<https://www.e-gov.go.jp/policy/servlet/Propose>

内閣府へのご意見・ご感想

<http://www.cao.go.jp/goiken.html>

■検察庁に内乱罪の適用を要請してください

民主党が国家転覆を謀ってる経緯をわかりやすく伝え

民主党関係者全員を内乱罪で逮捕するよう要望してください

又選挙前で慣例であっても上記の理由でガンガン捜査に入って欲しいと要望してください

[ハガキはこちら]

最高検察庁

〒100-0013

東京都千代田区霞が関 1-1-1

東京高等検察庁

〒100-8904

東京都千代田区霞が関 1-1-1

東京地方検察庁

〒100-8903

東京都千代田区霞が関 1-1-1

☆一人でも多くの方にこの記事を見てもらいたい！

☆日本国民はもっと政治のこと真剣に考えるべきだ！ って思う方は
←凸凸へ(∇°*) W ポチッと応援お願いします♪

人気ブログランキング (携帯用)

にほんブログ村 (携帯用)

日本嫌いなアジア人に日本国は、合法的に乗っ取られる！

特重3国との戦争は、最終段階へ！ その名も合法的な人口侵略！

『日本乗っ取り戦争！』

本気で民主党を潰さないと、ウイグル、チベットと同じみちをたどることに…

日本人による！ 日本人のための！ 日本を愛する真の保守議員による！

救国内閣の誕生が必要です！

※偽保守議員、日本人なりすまし議員もいます！ 「選挙前.com」 で検索

【重要記事】

【人権侵害救済法案 要注意】 人知れず混乱、大荒れの国会の裏で採択される可能性…

【超緊急拡散・最新動向】 「人権侵害救済法案」 民・公で次期国会で成立の動き／動

かぬ自民！

【緊急拡散・抗議依頼】19日 野田総理&韓国大統領と700億ドルの経済援助で合意！（加筆あり）

【スクープ】TPPの参加は民主党政権の保身が狙い 政府TPPに関する内部文書（要旨）で明らかに

【最終段階に入った日本乗っ取り計画】民主党政権シナリオ通り！

【知られざる事実】マスコミが真実を報道しない訳

【マスコミが報道しない真実】日本の異変真実を知る／わたし達にできること

【動画】反日韓国の正体 【拡散希望】保守党から安易に民主党へ一票投じてしまった方たちへ

【動画 絶対阻止！何れは日本もこうなる】チベットにおける中国軍の蛮行！

【中共産党の正体】独裁国家-非人道的行為を許すすな

【動画】人体を蝕む中国での環境破壊 日本人から在日朝鮮人への差別とは
アンケート一覧のページ

421 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月19日(土) 午前3時45分

タイトル: われわれが学んだ歴史はユダヤ人によって描かれてきた

これまでの歴史は、白人が描いてきたというよりも、ユダヤ人が描いてきたものだと思います。なぜならば、ハリウッドはヤコブ・シフというイルミナティ・ユダヤ人が作ったものからです。

また、歴史学界を支配してきたのは、共産主義者というこれまたイルミナティ・ユダヤ人です。

で、このイルミナティ・ユダヤ人は、サバタイ・フランキスト派のユダヤ教徒です。

サバタイ・フランキスト派は、イエスがメシア（救世主）であることを否定し、ユダヤ人自身をメシアとします。だから、フリーメイソン・イルミナティにおいてメシアはユダヤ人なのです。

キリスト教の宣教をかなりの部分担ってきたのは、実は、18世紀以降はロスチャイルドというサバタイ・フランキスト派の統領でした。

だから、そのキリスト教というものは実は本当のキリスト教ではなく、イルミナティのキリスト教だった。ロスチャイルドによる世界制覇に利用されてきた。

20世紀になって、われわれを含むほぼすべての人が、このユダヤ人の思想によって洗脳されたのです。

ようやくインターネットの登場によってこの嘘がばれてきた。

キリスト教の悪事というものをよく調べるならば、それはキリスト教ではなく、教皇教か、イルミナティ教かであるとわかるはずです。

本当に聖書の教えるキリスト教では、植民地の人々を奴隷としてこき使ってもいいなどと書いてありません。

むしろ、人を祝福するために自分を犠牲にして生きることを教えているのですから、十字軍やらコルテス・ピサロをキリスト教の枠組みに入れてしまうのは、オウムを仏教の中に入れるのと同じく外的外れでしょう。

422 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年11月19日(土) 午前4時24分

タイトル: ポルノは兵器である

われわれは誤解してはならないのは、ポルノというものは、単なる「嗜好」の問題ではない。

ポルノは兵器である。

戦争の道具である。

ポルノによって社会の基本構造である家庭が破壊される。

これは、体罰を行う両親から子供を取り上げる児童相談所と同じ策略である。

グローバリストは、ポルノと虐待問題を通じて家庭を破壊し、国家を弱体化させているのである。

国家が弱体化すれば、世界統一が容易になる。

性道徳の堅持と厳しいしつけによって、家庭が強固な絆によって結ばれ、秩序が維持されては、国家を解体することは難しく、それゆえ、世界政府の実現も遅れる。

ロックフェラーがなぜキンゼイ・レポートに投資し、間接的にヘフナーによるプレイボーイ誌の刊行を後押ししたかはこれで明らかだ。

グローバリストは、われわれを攻撃している。

われわれは、ポルノと、国家による家庭のしつけに対する介入を通じて、グローバリストから攻撃されてきたのである。

今ビジネス・ホテルやインターネットカフェなどで、誰でもポルノが見られるようになっているのは、ロックフェラーの戦略である。

ポルノのユビクイティ（遍在）化を進めてきた。

ロックフェラーらユダヤ勢力は、日本を破壊するために、在日を利用してきたのはすでに明らかな事実である。

AV 業界を調べればいかに在日勢力がからんでいるか明らかになるだろう。

423 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 11 月 20 日(日) 午前 1 時 43 分

タイトル: 十字軍や宣教と植民地支配

十字軍は、「聖地奪還」という名目で行われた略奪と侵略であって、そのようなことは聖書のどこにも命令されていません。

聖書においては、「天地万物はすでにキリストによって聖められたので、すべてが聖地であり、特定の場所が聖地ではない」と教えています。

それから、「馬を増やしてはならない」とか「剣を取る者は剣によって滅びる」と教えられています。つまり、武力によって何かを奪い取ることを禁止されています。

十戒では「ほしがってはならない」という命令があり、他人のものをほしがる貪欲が罪と定義されています。そして、個人の持ち物、国家の財産、領土、そういうものをほしがったり、奪ったりすることが厳禁されています。

ですから、十字軍なるものを組織し、実行した人々は、聖書に違反したことをしたのです。聖書では、「あなたがたは、正しくない者は神の国を相続できないことを、知らないのですか。貪欲な者、略奪する者はみな、神の国を相続することができません。」とあります。

ですから、十字軍はクリスチャンではないということになります。

「欧米諸国のアジア・アフリカ・中南米での布教と植民地開拓の同時進行」については、まずローマ・カトリックは、聖書の教えから外れてしまい、教皇教になりました。教皇の財産や領土、権力、覇権を拡大するために、イエズス会などが海外に出て行きましたので、その本質は帝国主義なのです。

聖書において布教とは、「あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。」との命令に基づきます。

つまり、バプテスマを受け、神の命令を守るように教えることです。どこにも搾取せよ、とか略奪せよ、などとありません。

また、旧約聖書では布教とは、「すべての国民を祝福すること」です。

祝福とは幸せになることを祈願することですから、当然、相手を利用することをするはず

がありません。

このように、白人たちは、宣教を行ったのではなく、たんに覇権を拡大しただけなのです。キリスト教の宣教師を利用して。

現代におきかえてみてもわかります。

たとえば、JICA という国際協力事業団があります。他国を助けるために ODA の有効活用をしています。

この JICA がインドネシアのジャングルの奥深くに入ってそこに学校を作るとします。

そこに集落ができて、現地の人々が集まり、市場ができるとします。そこに日本の企業がやってきて、現地でナタデココの栽培を持ちかけます。安い労働力で製品を買い付けることができるようになって、どんどん企業の進出が決まります。

すると、JICA の当初の目的とは別の利害関係が生まれてきます。

日本人は奴隷労働なんかさせないと思いますが、悪い企業があつて、現地の人を奴隷として使用することができるとします。武力によって脅迫しながら。

そうすると、立派な略奪、植民地、搾取ということになり、JICA はそのお先棒をかついと歴史に名を残すかもしれません。

「なんだ、ODA なんて名ばかりで、現地で奴隷の商売をしていたのか」と。

キリスト教そのものに、「覇権を拡大し、武力ですべての国民を服従させよ」という命令があるとしたら問題ですが、そんな箇所はどこにもありません。

神が人間を創造された目的は、「地を従えよ」です。

それは、全世界をエデンの園にせよ、と同じ意味です。

エデンの園のような楽園に世界を変えること。人々を解放し、繁栄させること。

白人のキリスト教国は、宣教を利用して、搾取を行ってきたのです。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 11 月 20 日(日) 午後 6 時 41 分

タイトル:

皇室と関係の深いある牧師先生によると、宮内庁はクリスチャン派と創価学会派の2つがあると聞きました。

おそらく創価学会派がクリスチャンを追い出して、宮内庁を牛耳る計画なのだと思います。

雅子様を迎える際にも、強くその筋の人々が働いたのでしょう。おそらく。

今のクリスチャンが反天皇なのは、福音派がフリーメイソンのキリスト教だから。

マッカーサーがフリーメイソンで、GHQがフリーメイソン。

フリーメイソンが戦後日本を作り、キリスト教を支配した。

だから、天皇を毛嫌いする。

いってみれば、創価学会と中国、フリーメイソン、そして、福音派キリスト教はすべて反天皇です。

民族を撤廃して世界統一政府を作る。

こういう筋書きの中にいますから。

われわれの敵は、おおもとで支配するサバタイ・フランキスト派のユダヤ教徒です。

創価学会とか中国とかフリーメイソンのアメリカ人、福音派のクリスチャンなどは、すべて単なる「道具」です。

サタンの組織の基本型は、「獣に乗る大淫婦」。

つまり、異邦人という獣に乗って獣を操るユダヤ人。

このユダヤ人の計画とは、自らがメシアになること。

つまり、世界の王として君臨すること。

このユダヤ人の上には、サタンがいる。

サタンの野望とは、第2のバベルの塔建設。

サバタイ・フランキスト派のユダヤ人を利用して世界政府を作らせて、そこから独裁的な権力をふるうこと。

そして、キリスト教を撲滅し、神の国をこの地上から抹殺すること。

そして、最後には地球を絶滅し、被造物を破壊すること。

これこそが、サタンの目的であり、そのために、ロックフェラーやロスチャイルドが選ばれ、世界で陰謀をめぐらしている。

しかし、こういう計画がうまく行くわけがない。

なぜならば、イエス・キリストは、2000年前に十字架にかかり、死に勝利され、復活されたから。

人類最大の敵である死に勝利された以上、他のすべての敵にすでに勝利された。

神はイエス・キリストにおいて全世界を聖められ、全被造物はすでにイエス・キリストの主権のもとにおかれている。

「私はすでに世に勝った」とイエスは言われたが、この「勝った」という言葉は、「征服する」という言葉が使われているので、正確に訳すると、「私はすでに世を征服した」という意味。しかも、完了形が使われている。完了形は、「過去の出来事が今も続いていることを強調する」ので、「私は余を征服した。そして、今も征服している」という意味になる。

イエス・キリストは、2000年前に世界の王になり、今も王であられる。

これが、聖書の主張です。

だから、陰謀は絶対に成就しない。

イエス・キリストの主権はすでに確立されているので、悪魔は滅亡する運命にあります。

私たちは、その悪魔の国の滅亡のために働き、祈り、神の国を拡大するために命を与えられた。

だから、それに没頭すべきです。

486 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 17 日(土) 午後 5 時 37 分

タイトル:

「そんなイルミナティ、イルミナティって言うけど、本当にそんなものがわれわれの生活を支配しているのですか？」

という質問をする人がいるかもしれない。

証拠は、「あなたは啓蒙主義についてどう教わりましたか。」と聞けばすぐに出る。

啓蒙主義からフランス革命に至る流れ、そして、ロシア革命をどう評価するか。

今の学校教育を受けていれば、「肯定的に評価します」と返ってくるだろう。

なぜならば、学校がそう教えているから。

啓蒙主義とは、英語で **enlightment** である。

「光を与える」ことである。

「じゃあ、何の光を？」

ルシファーの光だ。

ルシファーとはラテン語で「光を持つ者」という意味だ。

<http://www.youtube.com/watch?v=qwnYTOP2aro>

サタンは「光を持つ者」として現れる。

「サタンは御使いに偽装する」と聖書にあるとおりだ。

「イルミナティ」という言葉は、「illumine」という語根から派生した。この illumine は「光を与える」とか「光に照らされた人 (one who is enlightened)」という意味である。

それゆえ啓蒙主義とイルミナティは密接に関係しており、啓蒙主義の運動であるフランス革命とロシア革命はイルミナティと関係している。

http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/The_Illuminati_Agenda.htm

われわれは学校において、「フランス革命によって古い体制は破壊され、新しい体制が生まれた。王侯貴族の圧政から人々は解放され自由になった」と教えられた。

ロシア革命についても、「ロマノフ王朝の圧政と搾取から労働者は解放され、自分の政府を持つことに成功した」と教えられた。

学校の教師は、ほとんど啓蒙思想の持ち主であり、それゆえ、イルミナティなのである。

われわれの常識は、イルミナティによって形成されてきた。

だから、カダフィが殺されたときも、フセインが殺されたときも、われわれは好意的に評価したのである。

太平洋戦争についてアメリカ人はなんと教えられているか。

「圧政により人々を苦しめていた天皇から日本人を救ってあげた」である。

マッカーサーは、啓蒙専制君主として登場した。

イルミナティが行う変革とは、下のような図式で一貫している。

=====

しいたげる皇帝・王侯・貴族 vs しいたげられた人々

アメリカが「しいたげられた人々」の側に立って「しいたげる皇帝・王侯・貴族」を退治した。

=====

イルミナティの本当の狙いは、国民国家の解体である。

この目的を達成する上で邪魔なのが、皇帝・王侯・貴族である。

だいたいにおいて、皇帝・王侯・貴族は国民から親しまれているものだ。

天皇陛下にしろ、ロマノフ家にしろ、人々の憧れの的だった。

人々は、民族の象徴としての王家を敬愛していた。

しかし、このような尊敬を集める王家の存在は、国家解体にとっては大きな邪魔である。

だから、イルミナティが支配するようになると、ロマノフ家は皆殺し、天皇家も縮小された。

われわれの常識は、王制よりも共和制のほうがいいである。

イルミナティに洗脳されたからだ。

共和制に移行すると、人々は民族の統合の象徴を王以外に求める。

それは、旗や憲法などの象徴である。

しかし、血の部分が少なく、理念的になるので、結束は国民国家よりも弱い。

アメリカは国をまとめるために宣誓させ、教育を通じてものすごい努力をしている。

だから、震災において日本人が互いに助け合う姿を見て、羨望を抱くのである。

戦後、イルミナティは、日本人に愛国心を持たせないように努力してきた。

日教組を通じて、自虐史観を植え付けてきた。

しかし、日本については失敗したようだ。

たしかに人口は減ったし、国防意識は低下したが、しかし、日本人は日本人としての意識を強く持っている。

ロシア人も同じだ。

イルミナティは、民族を解体し、国民国家を解体し、すべてを世界政府に依存させたいのである。

最終的にすべての人々がルシファーに頼り、ルシファーを礼拝するように導きたいのである。

日本国憲法とは、このために作られた憲法であり、日本人を世界市民に変えるための方法なのである。

教育から憲法からすべてがイルミナティの世界政府に向けて動いているというのが現状である。

クリスチャンを結びつける絆であるキリストの契約については、その破壊活動はリバイバル運動を通じて起きた。リバイバル運動を通じて、教会を中心としたクリスチャンの有機的な社会が崩壊した。

人々は熱狂の中で昔の教会の絆を失った。

人々を結びつけるために残ったのは、フリーメイソンなどの友愛会である。

アメリカにおいても、日本においても、教会や家、国家などの人々を互いに結びつける絆はイルミナティの体制のもとではことごとく破壊されるのである。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月17日(土) 午後11時46分

タイトル: 律法は神のカーナビである

律法とは、原発の燃料棒に似ている。

燃料棒が格納容器がなく、むき出しで人間に接すると人間を殺すように、律法も契約の箱と「贖いの蓋」がなければ、人間を殺す。

旧約では、契約の箱を覗いて見た人々は死んだ。

律法は、あまりにも高い水準であり、それに耐えうる人は一人もいない。

たとえば、「むさぼってはならない」という命令がある。人のものをほしがる心を一瞬でも持つだけで、永遠の死である。

TV でブータンの仏教寺院の様子が映し出されていた。

円筒を回すと功德を積むことができるとして、人々が円筒に触ってくるくる回していた。

仏教をはじめキリスト教以外の宗教は、基本的に「行為義認」の宗教である。

つまり、功德を積むことによって救われるとする。

聖書は、「功德を積んでも救われない」とする。

なぜか。

あまりにも要求レベルが違い過ぎるから。

神の要求するレベルは、「一瞬でも罪の心を持つだけで失格」である。

生まれながらの人間にとって律法は、ただ殺すだけの危険物でしかない。

生まれながらの人間は、人生の中で無数の罪を犯して、積もり積もってついに死に至る。

彼にとって死とは刑罰である。

あまりにも燃料棒からの放射線によって被曝し、ついに許容範囲を超えたようなものである。

神は、人間が死なないために、キリストを受肉させ、人間の姿を取って人生を歩ませられた。

キリストは、完全な人だった。

律法の要求をすべて満たされた。

そして、われわれが受けるべき死を身代わりに受けてくださった。

これは、燃料棒の周りに格納容器を作る行為に似ている。

クリスチャンにとって律法はむき出しで現れない。

格納容器に納められた形で現れる。

そして、それは、電力を作りだして、われわれの生活を助けてくれる。

律法にとっての格納容器は契約の箱である。

われわれクリスチャンには契約の箱に入って無害化された律法が手渡された。

律法はもはやわれわれに害を与えない。

むしろ、律法は、われわれに利益を与えてくれる。

契約の民イスラエルは、契約の箱を担いで、それを中心に宿営を作り、移動した。

それと同じように、契約の民であるクリスチャンも、契約の箱を担いで、それを中心に生活する。

ディスペンセーションナリズムは、「そんな危ない物はクリスチャンと何の関係もない」と忌避する。

律法が無毒化されたことを信じないからである。

律法は、われわれにとって生活の指針であり、地図帳である。現代的に言えば、カーナビである。

律法という神のカーナビがあるから、われわれは目的地に簡単につくことができる。

つまり、繁栄と祝福に至ることができる。

このカーナビのガイドを無視するならば、谷底に落ちて怪我をする。

まとめると、

1. ノンクリスチャン（生まれながらの人間）にとって、律法は有害なもの、殺傷力のあるものである。
2. クリスチャン（生まれかわった人間）にとって、律法は無害なもの、無毒化されたものである。
3. クリスチャンにとって、律法は神のカーナビである。祝福と繁栄に至る道を示してくれる。

488 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月18日(日) 午前8時24分

タイトル: 貴重なカダフィの演説

http://www.youtube.com/watch?v=aN_fTvEU2WI&feature=player_embedded

このカダフィの演説を聞いてほしい。

ホメイニのイランと戦うときに、米国はフセインと仲がよかった。チェイニーもラムズフェルドも友人だった。

しかし、裏切った。

イラクに何があったのか。大量破壊兵器か。イラクはビン・ラディンをかくまったのか。いや。

いったいイラクが何をしたというのだ。

日本が明治維新から太平洋戦争にかけてやられたことを、今アラブがやられているわけだ。

へんな言いがかりをつけられて、やりたくもない戦争をする。

この流れは、ユダヤ人が世界の金融を握っている限り続くだろう。

世界征服を実現するまで、次々と因縁をつけてアメリカは侵略を繰り返すだろう。次はイランか。

アラブのだれかが独自の文化を尊重し、世界政府への組み入れを拒むならば、その人はカダフィと同じ運命をたどるだろう。

489 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 18 日(日) 午後 3 時 59 分

タイトル: 悪霊文明が世界を席卷してしまった

結局、抵抗しないと奴隷にされるのです。

しかし、明治維新、ロシア革命、米国 FRB 設立、太平洋戦争、イラク戦争を見ても、イルミナティの実行力は超自然的です。

これは、おそらく黙示録の「竜はもう一度解き放たれなければならない」の成就ではないかと思います。

ルネサンスは「文芸復興」という名前がついていますが、あれは、古代ギリシア・ローマの復活です。

古代ギリシア・ローマといえ、偶像礼拝です。サタンが猛威を振るっていた時代。

まだキリストによる征服が行われていなかった時代。

それに帰るといことは、神の国からサタンの国にヨーロッパが返ったということです。

今日われわれが目にしていくイルミナティの大進撃は、ルネサンスの古代悪霊文明の復活から始まっているのでしょう。

だからといって、私が中世キリスト教を認めているというわけではありません。

中世キリスト教は、トマス・アキナスによってすでにギリシア化されてしまった。

ですから、ルネサンスとは、ギリシア化されたキリスト教文明に対するギリシアによる反撃だった。

それから、それまでに悪霊文明の復活への野望はまったくなかったかというところではないと思います。

ギリシア・ローマ、さらには、古代ゲルマンの悪霊文明の残滓は歴史を通じてあった。

ルネサンスから、サタンの再解放は本格的に始まったのではないかと思います。

ウェストコットとホートが開始したニューエイジ運動も、この悪霊文明の復活です。

彼らによって聖書がニューエイジ化し、キリスト教界全体がニューエイジ化した。

つまり、キリスト教界全体が、復活した悪霊文明に飲み込まれたのでしょう。

先日、長年知り合いのクリスチャンの話を聞いてびっくりしました。

この人は、神の三位一体を「あるときは父、あるときは子、あるときは聖霊という形で神が現れた。その三つを総称してイエスという」といった。

え～！

これはもはやキリスト教ではない。

ニューエイジです。

ワンネスは、ニューエイジ。

ニューエイジは、けっして「ニュー」ではない。

キリスト教が支配する前の古いヨーロッパである。

悪霊文明が世界を席卷してしまった。

490 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 19 日(月) 午前 1 時 56 分

タイトル: 野田は天性の独裁者だ

野田は、天性の独裁者だ。

自らの意思を強引に貫いてたじろがない-超危険人物。

<http://www.youtube.com/watch?v=MxUQKJwkIeY>

さらに、明確に国家に逆らう意思を示した。

慰安婦-像を増やすぞとの韓国大統領の恐喝に対して、慰安婦像 7 体の寄贈を-役人に指示。

=====

野田総理、韓国へ慰安婦像 7 体を寄贈

2011 年 12 月 18 日午前、京都市の京都迎賓館で野田佳彦首相と李明博（イ・ミョンバク）大統領の首脳会談が行われた。李大統領がいわゆる従軍慰安婦問題に言及したのに対し、野田首相は「法的には決着済み」との考えを示した。

それに対し大統領は、誠実な対応を取らなかった場合、第二第三の象が建つ」と警告した。

それを受けた野田首相は、会談後、関係各所に指示をだし、慰安婦像 7 体を制作し、韓

国大統領官邸へ送ることを指示。

意図の见えない総理の行動に、関係者およびマスコミ関係者からもからも怒りの声が出した。

<http://news-asahi.com/vip/20111218/1.htm>

=====

491 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 19 日(月) 午前 2 時 31 分

タイトル: 狂人が HAARP を手に入れてから世界は変わった

<http://www.youtube.com/watch?v=Ez3oM0I3ID4&feature=related>

このビデオをよくご覧ください。

HAARP はとてつもない兵器です。

ここに登場する HAARP 研究者は、明らかに何かを隠している。

HAARP は軍が資金を提供しているのに、「なぜか知らない」と。

世界政府を目指す狂人たちが、ものすごい兵器を手にしてしまった。

オバマが核兵器の廃絶を訴えているのも当然でしょう。

HAARP があれば核兵器はいらないから。

492 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 19 日(月) 午前 4 時 02 分

タイトル: 日本を襲った 5 度のグノーシスの侵略

夜分ですが、思いついたので筆をとります。

(1)

16世紀、イエズス会がカトリックに誕生した。

この歴史的意味は、グノーシスの侵略の開始だろう。

イグナチウス・デ・ロヨラは、グノーシスの秘密結社アランブラドス出身。

初代教会の敵であったグノーシス思想が、カトリックに入った。

グノーシス思想のメインテーマは、「知識が人を救う」である。

これは、啓蒙主義と通じる。

「知識の光 (enlightment) によって照らすことにより、人は高みに登ることができる」

つまり、イエス・キリストの贖罪は不要なのである。

イグナチウス・デ・ロヨラの著作を読めば明らか。

イエス・キリストよりも、自らの修養の大切さをとく。

これは、メソジストの祖、ウェスレーにも通じる。

ウェスレーの伝記を読んでも「生活を整えること」「鍛錬」「修養」がメインである。本当にこの人は回心しているのか、と疑問が起きた。

われわれは、本当のキリスト教と似て非なるものとの区別しなければならないが、この「修養主義」にはとくに警戒が必要だ。知らぬ間にグノーシスに連れていかれて、イエス・キリストを失うからだ。

キリスト教の中心は、修養でも、自己鍛錬でもなく、贖罪である。

イエス・キリストによって生まれ変わること。

だから悔い改めこそが重要だ。

グノーシス思想がキリスト教の外貌をもってやってくる異端は、内面の浄化や霊的鍛錬を強調する。

デボーションとか、瞑想とか・・・。

以前所属していた教会においてデボーションを強調するある訓練を担当していた韓国の牧師は、後に強姦罪で逮捕された。

酒タバコの禁止も、一種の修養主義だ。

聖書に強調されていないことをことさらに強調する。

われわれは、本当のキリスト教はわれわれを迷信から解放してくれるものであって、過剰な禁欲を説くものではないことを確認しなければならない。

(2)

イエズス会の宣教師ザビエルが日本にやってきた。

つまり、グノーシスが日本に入った。

日本には仏教という形でグノーシスがすでに入っていた。

神道はもともと贖罪信仰であった。

神道の基本テーマは、罪穢れの祓いである。その祓いのための、天照大神のお隠れ（つまり、死）と再顕現（つまり、復活）である。まさに福音そのものである。

このようなキリスト教の土壌の国に、仏教という自力本願思想が入った。

であるから、日本は仏教伝来とともにグノーシスの影響があったのだ。これは、第 1 のグノーシスの侵略であった。

ただし、16 世紀に入ったグノーシス思想は、それまでもグノーシスとは凶暴さに違いがある。

ザビエルが持ち込んだグノーシスは、世界支配を求めていた。

ヨーロッパにおける宗教改革によって被った旧教の失地回復をアジアやアメリカに求めた。

ザビエルを通じて、日本は第 2 のグノーシスの侵略を経験した。

徳川幕府は、この侵略を跳ね返した。

(3)

第 3 のグノーシスの侵略は、ロスチャイルドによってもたらされた。

ロスチャイルドの傀儡ペリーが日本に開国をせまり、日本は啓蒙主義者（つまり、イルミナティ）のロスチャイルドの攻撃に屈した。

明治維新とは、グノーシスに対する日本人の抵抗であった。

(4)

第 4 のグノーシスの侵略は、フリーメイソンであったマッカーサーと GHQ による。

フリーメイソンはイルミナティに支配されているから、これもイルミナティの侵略である。

イルミナティは、啓蒙主義であり、「知識の光こそ救い」という教義である。

つまり、グノーシス。

日本は、4 度のグノーシスによる攻撃にさらされてきたということだ。

歴史を通じてみると、われわれの使命は、グノーシスの侵略以前に帰ることでなければならぬことが分る。

「イエス・キリストこそが救いである」との贖罪信仰に帰ることだ。

今われわれは 5 度目の攻撃にさらされている。

ニューエイジ・ヒューマニズムの教えは知識による救いである。

知識による救いには、自ら神の御前に頭を下げる必要はない。

つまり、契約の主を変える必要はない。

本当の救いは、契約の主をアダムからキリストに変えることだ。

小羊の血が塗られた門をくぐることなしには救われない。

贖罪のない教えは、悪魔の教えである。

493 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 19 日(月) 午後 3 時 05 分

タイトル: 主の年

<http://lewrockwell.com/rep2/jesse-ventura-police-state.html>

英語で視聴できる方はこのビデオを見ていただきたい。

ジェシ・ヴェンチュラという前プロレスラーでその後州知事になった人物が、現在陰謀論のために活動している。

アメリカが完全に警察国家になった。

ものすごい勢いで市民の権利がはく奪されようとしている。

各地に、膨大な数の棺桶が用意されている。

棺桶というより、遺体処理ボックスだ。

まさに「竜が蘇った」としか考えられない事態である。

ネオコンで、911 委員会委員長だったフィリップ・ゼリコウは、WTC ビルの倒壊から市民権のはく奪が起きるとはっきり宣言した。

http://www.youtube.com/watch?v=dL_G4VNFQug

911→愛国者法→全体主義国家

このような道筋はすでに昔から決定されていたのだ。

紀元にあたる AD は、Anno Domini の略。

これは、「主の年」という意味だ。

つまり、イエス・キリストの年。

紀元 2011 年とは、イエス・キリストが主権者になってから 2011 年目ということ。

このように、西洋はポスト・ミレの立場をとってきた。

われわれはイエス・キリストこそがこの世界の主であり、王であることを覚えて祈るべきだ。

もし現在の状況が、竜の復活であるならば、黙示録によれば、竜はイエスに勝てない。

イエス・キリストが来られて完全に退治してくださることを信じよう。

494 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 19 日(月) 午後 10 時 02 分

タイトル: 311 が人工地震だったって証拠を出せ? w

(1)

311 が人工地震だったって証拠を出せっていう人間がいる。

学界とか裁判とかで証拠は重要になるけど、時々刻々移りゆく国際政治や謀略の論議において証拠を出して証明しないと意味がないなんて愚の骨頂。

国家の最高機密を扱う場合の多いこの分野の問題において、証拠が出るのは 10 年、20 年、場合によっては 100 年先。

謀略論議では、蓋然性が問題になる。

人工地震が兵器として開発されているのは事実。米国防長官と日本政府（浜田政務官）が認めているね。

こっちはそれが 311 で使用された可能性があるって言うだけ。可能性は誰も否定できないでしょう。

それに対して「そんなのわかっている。証拠が問題だ。証拠を出せ、証拠を」とさらにくらいついてくる人がいるのだが、再度言うが、「証拠は出す必要がない」。なぜならば、証拠が出ないと話が進まない分野ではないから。

証拠にこだわって話が進まないほうが有害。

なぜならば、非現実的な証拠の有無にこだわっている間に、侵略が開始される場合もあるから。

防衛担当者や、政治評論家は、蓋然性で話を進めるだけの想像力を持つ必要がある。

大体人工地震を「トンデモ」呼ばわりする人間は、こういった非現実的なこだわりに拘泥する傾向があるので、話すのも無駄。

(2)

慰安婦とミサイルと、南北どちらも恫喝でくるか。

血は争えない。

それで、政府は、どう出る？また謝罪？お金？

際限ないぞ。

外務省は、勝負ごとに強い人間を雇うべき。

それから「専守防衛」なんて絶対に夢物語。

攻撃こそ最大の防御なり。

敵が攻撃するのを待っていたら絶対に負ける。

むしろ攻撃するくらいの気迫があつてはじめて戦いや交渉は勝てる。

占領憲法ははやく捨てて、民族自決、民族独立の憲法に返る必要があります。

495 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月19日(月) 午後11時30分

タイトル: 自分にとって快適な環境で暮らさないと損です

へたに義務教育なんてあるから、登校拒否が脚光を浴びて不登校児が極悪人みたいな扱いになる。

つくづく気の毒と思う。

義務教育ってのは、特定の学校の特定のクラスに所属しなければならないっていう義務ではない。

とにかくどんな形でも教育を受けなさいということ。

だから、「居心地が悪い集団」ならば出て、自分で勉強すればいいだけの話。

今はインターネットもあるし。遠隔授業も開発すべき。

そうして単位だけ取って卒業できるシステムを作るべきだ。

「いや、そんな子は、社会でうまくやっっていけないに違いない」とみるか。

社会でうまくやっっていけないことのどこが悪いのでしょうか。

社会がどうしようもなく下劣であれば、そこでやっっていけないのはむしろ正常だ。

動物は、自分が暮らしやすい環境を探してそこに移動する。

だんだん気候が温暖化しているからサンゴが北上しているらしい。

寒冷な水で暮らす魚は、居心地が悪いので北に移動する。

動物がこうやって最適の環境を求めて移動する自由があるのに、なぜ人間はダメなの？

憲法は、われわれに移動の自由を認めているでしょう。

違いますか？職業選択の自由も。

なぜ子供だけにその自由を認めない？

おかしいでしょう。

環境が居心地が悪ければ、移動してもいいんだ。

勉強しやすい友達がいる環境を作ってあげればいい。

「いや、社会で居心地が悪くても逃げられないから」??

僕は、居心地が悪ければさっさと移動しました。

それで今ちゃんにご飯が食べられます。

誰にも迷惑かけていません。

それが何が問題なの？

自分で働いて、他人に迷惑をかけないで生きて、小数の気のあった友人と楽しい時を過ごすことができれば、職業が何であってもどうでもいい話です。

われわれは、神にあって自由なのですよ。

あらゆる人間が決めた束縛から解放される権利がある。

そしてその権利を行使しても、神が面倒を見てくださるから、やっつけていけるんです。

これこそ本当の自由ですよ。

人生は短い。

自分にとって快適な環境で暮らさないと損です。

497 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 20 日(火) 午後 1 時 07 分

タイトル: 北朝鮮は日本人共産主義者の王朝なのでは? (内容は前と同じですが表現を変えました)

政治評論家板垣英憲氏は、今日のニュースレターにおいて次のように言われた。(要約)

===== >

北朝鮮内部に通じた事情通によると、先日急死したと発表のあった金正日総書記は影武者(女性)で、本人は2004年4月22日中国訪問の帰途、平安北道の龍川駅で爆殺されていた。

死者200人、負傷者1500人以上、家屋崩壊8000軒余りのこの大きなテロを実行したのは、中国共産党特殊部隊だった。

金総書記の死を隠すために、政権は影武者を据えたが、脳梗塞で急死。そこで2人目の影武者を立てた。

7年8か月も金総書記の死を隠し続けてきたのは、金正恩がまだ21歳と若く、新体制の指導者として立つまでに時間が必要だったからだ。

<=====

さらに、板垣氏は、興味深い裏事情を説明された。

===== >

金正恩は、キム・ヘギョンの兄である。つまり、横田めぐみさんの息子だ。

横田めぐみさんは、偶然に歩いていたところを拉致されたのではなく、計画的であった。それは、母早紀江さんが、旧皇族の家系（華族）であり、北朝鮮が金王朝を日本の皇室につながる血筋として権威づけようとしたからではないか。

故金正日総書記は、金日成の妻・金正淑が当時の副首相の 1 人だった金策と密通して生んだ息子 3 人の 3 男である。金策は、日本人であり本名を畑中理という。

畑中理は、かつて大日本帝国陸軍中野学校出身の朝鮮総督府特務機関員で、同時に、ロシア革命を支援した二重スパイであった。

本物の金正日総書記と 2 人の兄は日本人であり、金正淑は不倫を知った金日成主席に毒殺された。

北朝鮮の新体制は、金正日の兄 2 人と横田めぐみさんが実権を握って金正恩大将を守り、軍部がこれを支える「集団指導体制」をとる。

<=====

これは、ありえるストーリーである。

というのも、北朝鮮はスターリンの傀儡政権として出発したからだ。

スターリンは、北朝鮮建国の際に、それまでの宗主国であった日本の職員を利用した可能性は高い。

畑中理が、日本とソ連の二重スパイとして活動していたとすると、北朝鮮の実権を握っていたのは、金日成ではなく、この畑中理であった可能性がある。

「自分の妻と不倫して生んだ子供をどうして後継者とするだろうか」という謎は、「なぜならば、畑中理はスターリンの傀儡だったから」という回答で解ける。

実は、北朝鮮とは、日本人共産主義者の王朝なのではないだろうか。

その日本人閥をつなげるために、金正日の奥さんとして日本人を迎える必要があり、そのために横田めぐみさんが狙われたのではないか。

他の日本人でもよさそうだが、とくに横田めぐみさんがターゲットになったのは、皇室の血筋を引いているからだ。

日本人閥が自らの体制を強固にするために皇室が利用されたのかもしれない。

現在、金正恩は、畑中理の 2 人の息子と正恩の母横田めぐみさんの日本人グループによって支えられている。

金正日の影武者を使った 7 年間の政権延命工作は、実は、この「北朝鮮日本人王朝の存続」のためだったのかもしれない。

498 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 20 日(火) 午後 6 時 17 分

タイトル: 絶対にサタンの傀儡になってはならない

- カンボジアのポルポト (1928 年 5 月 19 日生まれ 69 歳没)
- イラクのサッダームフセイン (1937 年 4 月 28 日生まれ 69 歳没)
- リビアのカダフィ (1942 年 6 月 7 日生まれ 69 歳没)
- 北朝鮮の金正日 (1941 年 2 月 16 日生まれ 69 歳没)

みんな 69 歳で亡くなっていることがネットで話題になっている。

<http://www.yukawanet.com/archives/4050040.html>

金正日が列車テロで 7 年前に亡くなっている可能性が高いが、そうじゃないとして考えると、

これらの人々の共通点は、イルミナティに利用されたということ。

イルミナティは、数字に意味を持たせる。

http://www.youtube.com/watch?v=FwLodjI_z_0

ここに出てくる「世界侵略：ロサンゼルス決戦」って映画、隕石や宇宙人による全世界 12 都市への同時攻撃が起き、世界中の都市が破壊され、人類最後の戦いがロサンゼルスに

なるという内容らしいが、そのトレーラーが意味深だ。

-

最後に、「03. 11. 11」と出る(2:23)。

これは、映画公開の日だ。

単なる「この日に公開されるから見てください」というメッセージに見える。

しかし、この映画における宇宙人侵略の日付を見ると単にそう解釈していいのか迷う。

2011年4月11日午前4時46分(グリニッジ標準時)なのだ。

ここで私がひっかるのは、46という数字。

46は、日本の2つの大震災が発生した分である。

阪神大震災が、

1995年1月17日午前5時46分

東日本大震災が、

2011年3月11日午後2時46分

そして、2011年4月11日は、東日本大震災の1か月後である。あの日は異様に地震が多発した。

東日本大震災と同様に、11が2つ入っている。

前にもご紹介したように、イルミナティ・フリーメイソンは、11という数字にこだわる。

それは、十戒の10より1つ多い数字で、神の法への反逆を意味するからだ。

この映画で、イルミナティは、「阪神大震災も東日本大震災もわれわれがやった」と誇示したいのではないか。

独裁者が69歳で亡くなった話題に戻ると、

聖書において 70 は完全数である。

エジプトに行ったヤコブの家族はみなで七十人。

エジプトがヤコブの死のために泣き悲しんだ日数七十日。

ヤコブから生まれた者の総数七十人。

神と契約を結んだイスラエルの長老の数七十人。

捕囚によってイスラエルの土地が安息を得た年数七十年。

捕囚という刑罰が完了した年数七十年。

普通の人々の寿命は七十年（詩編 90・10）

呪いが完了するまでにかかる年数七十年（ゼカリヤ 1・12）。

イエスに派遣された伝道者七十人。

つまり、聖書では、何かが満期を迎えて終了したことを示す場合や、十分な人数を示す場合に 70 という数字が用いられる。

だから、69 は「満了しなかった」ということを象徴する。

69 歳で死ぬことは、「天寿を全うできなかった」という意味であり、ある意味において呪いである。

だからといって、70 歳未満で死ぬ人々が全員呪われていたというわけではない。

それなら約 50～55 歳で死んだパウロは呪われていたということになってしまう。

可能性としては、イルミナティが自分たちが利用した人間を最後に裏切って寿命をまっとうさせずに殺したことを暗示しているのかもしれない。

「おまえはよくここまで騙されてきたね。」と笑いながら、道具として利用した人間を無慈悲

悲に殺すのがサタンである。

サタンを王とするイルミナティがそういう意味をこめて 69 歳で彼らの命を取った可能性はある。

サタンに従うすべての人間は最後に裏切られる。絶対にサタンの傀儡になってはならない。

499 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 21 日(水) 午後 2 時 41 分

タイトル: 日本が音楽でも世界を席卷しはじめた

由紀さおりが今、世界で人気沸騰しているという。

アメリカでは、「iTunes Store のジャズチャート」で 1 位。

アメリカ、「ビルボードのジャズ・アルバムチャート」で 5 位。

カナダの、「iTunes Store のワールドミュージックチャート」で 1 位。

ギリシャでは「IFPI アルバムチャート」で 6 位。

海外のチャートで相次いで上位にランキング。

英・ロンドンの「ロイヤルアルバートホール」でピンク・マルティーニとのコンサートは 7000 席がソールドアウト。

BBC ラジオで放送された。

ニューヨーク・タウンホールでの公演が今月開催され、スタンディングオベーションの喝采を受けたばかり。

またさらに今月ワシントン D.C. で「December Holiday Tour」の 6 公演にも参加するらしい。

(ソース: my 日本向風剛■ポス部少佐■さんの日記より)

予想したとおり、日本は音楽でも世界を席卷しはじめた。

アメリカでの冷え込みにより、音楽ソフトの売り上げでも今年世界 1 位になる見込みとのこと。

2004年 世界音楽ソフト売上シェア

第一位	アメリカ	36.4%
第二位	日本	15.4%
第三位	イギリス	10.4%
第四位	ドイツ	6.4%

2009年 世界音楽ソフト売り上げシェア

第一位	アメリカ	24.5%
第二位	日本	22.8%
第三位	ドイツ	10.5%
第四位	イギリス	9.3%

さらに、きゃりーぱみゅぱみゅというモデル兼歌手が人気だ。

アルバムが世界23カ国に同時配信され、ベルギーとフィンランドで itune music store のエレクトロランキングで1位を記録。

来年1月発売の新曲「つけまつける」は邦楽アーティスト史上最多のなんと73カ国で同時配信が決定するなど、目を疑うような驚くべき出来事が起こっています。

米ロサンゼルスでの初ライブも敢行、1000人収容の会場には、現地のファンらのべ6000人が来場。一時入場規制がかかったなど大盛況。

数日前きゃりーのビデオを見たが、非常におもしろいと思った。

<http://www.youtube.com/watch?v=yzC4hFK5P3g&ob=av2e>

中毒性があるとの評判だ。

プロデューサーは、Perfumeの中田ヤスタカ。

日本は、やはり黄金の国ジパングだった。

様々な芸術、音楽でもこれから世界の中心になるだろう。

500 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 21 日(水) 午後 3 時 01 分

タイトル: 国境を撤廃するあらゆる策謀に反対しなければなりません

<http://www.youtube.com/watch?v=eXKSQ8lxwDU&feature=g-vrec&context=G2cc895aRVAAAAAAAAA>

TPP で外国人を無制限に受け入れると、このように誰の国かわからない国になるでしょう。

国境を取り去ると、人口の多いものが勝つ。

日本は中国人の国になります。

民主党は、EU において移民導入を行ったフリーメイソンの政党ですから、民主党のもとで進められる TPP によって、日本も同じように、外国人の国になります。

逆に、中国人に同化を求められるようになります。

ユニテリアンであるフリーメイソンの理念は汎神論であり、全世界の国境撤廃による人種のるつぼです。

神の創造は、「分け」ることでした。

昼と夜を分け、海と陸を分け、男と女を分けました。

すべての創造的作業は、分離を前提としています。

サタンは、それをすべて破壊し、混沌を作ろうとします。

われわれは、クリスチャンとして、国家という単位を重視すべきです。

国境を撤廃するあらゆる策謀に反対しなければなりません。

501 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月21日(水) 午後5時16分

タイトル: きゃりーぱみゅぱみゅとイシュタル

- > きゃりーぱみゅぱみゅの新曲「つけまつける」のビデオがユーチューブに
- > アップされており、<http://www.youtube.com/watch?v=NLy4cvRx7Vc>
- > それを見ると、非常に悪魔的な要素が随所に映されてます。
- > 邦楽が世界で認められるのは素晴らしいことですが、
- > レディーガガ日本版?の様な感じです。
- > 「こんなのが受けるのか。？」と。
- > それに比して由紀さおりさんの活躍はとても素晴らしいものです。
- >

たしかに、これは、イシュタルですね。

気づきませでした。

マドンナやレディーガガと同じ、美女と野獣の構造。

きゃりーのわきに2匹のライオン。

「獣に乗る女」。

フクロウの目 (3:44)。

タロットカード (4:01-2)

ふんだんに登場する目。

Ponponpon では、骸骨が登場する。

骸骨は、死の象徴。

世界同時発信は、イルミナティのおぜん立てがあったからできたと見ることもできるかも

しれません。

イルミナティは、世界にサタン礼拝を広め、そのためにサブリミナルを行っている。

中田ヤスタカもしくはタヴィストック研究所との関係を調べる必要があるかもしれません。

502 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月21日(水) 午後10時33分

タイトル: きゃりーぱみゅぱみゅとイシュタル2

- >「多重人格はこうして作られる」徳間書店発行。という本があります。
- >著者は、シスコ・ウィーラーとフリッツ・スプリングマイヤーです。
- >この本の中で紹介されている、マインドコントロールをうけた被害者達の描いた
- >コラージュが
- >きゃりーぱみゅぱみゅのミュージックビデオそっくりです。
- >カラーリング、衣装、背景のグラフィックなど。
- >本の最初のページにこう書いてあります。
- >「本書の絵は、プログラムされていたモナーク・マインド・コントロールの奴隷
- >によって描かれたものです。」

- >このミュージックビデオを見る人たちも少なからず悪い影響が出る恐れがあると
- >思います。
- >ビデオとコラージュが似ている事は、偶然ではないでしょう。
- >ビデオ制作者は、確信犯です。

たしかに、PVの制作者が、「これをやると欧米で受けることはわかっていたので、動画再生回数が100万をすぐに超えたのは当然と思った」と言っていました。

おそらく、タヴィストック研究所ではないでしょうか。洗脳の専門家が作り出したものでしょう。

世界同時発信できたのは、イルミナティの後押しがあったからでしょう。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月21日(水) 午後11時19分

タイトル: 橋下やそのまんま東に投票することは侵略に手を貸すこと

<http://www.youtube.com/watch?v=lOUsYnjCg-o>

橋下は、同和です。

同和の勢力は、中韓の傀儡。

中国は、日本の東西分断を狙っている。

だから、大阪都なんてできたら、中国の思うまま。独立領土作られてしまいますよ。

今、震災で苦しむ日本が地方分権なんかしたら、外国の餌食。

だから、橋下、そのまんま東、こいつらに投票することは、国を分割して、侵略に手を貸すことです。

504 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月22日(木) 午前2時30分

タイトル: 悪霊には波長を合わせるな

>友人や仲間と思っていた人が突然豹変して攻め立ててきました。

あ、それは、悪霊が入ったんでしょう。

豹変は、よくある現象です。

どういうことかと言いますと、サタンは、こちらを崩すときに、風穴を作ります。

たとえば、相手に対する信頼感などです。

相手を信頼させて、心の窓を作らせます。

その後、開いた窓から「火矢」を放ち入れます。

すると、心の中がぼうぼうと燃えることになります。

心配とか恐怖などは大体において虚像です。

サタンは、私たちの人生を無益なものに費やして無駄にさせることを狙っています。

無駄なことをやって一生を終えさせたいのです。

だから、心配や恐怖などで縛られて一生を無駄にするように働きかけます。

もしくは、誘惑です。つまらない人間関係やら金銭トラブルなどで一生を棒に振るようにします。

サタンにとって困るのは、有益なことをして人類に貢献するとか、世の中を明るくするようなことをされることです。

この世界を地獄に変えたいのですから、サタンは、なんとかして有益な働きをしそうな人、能力のありそうな人の内面をめちゃくちゃにしようとします。

感受性の強い人ほど、この罠にかかって、一生を棒に振ります。

幽霊とか人の評価とか世間体とかを鼻で笑えるような図太い人は、サタンにとってやりにくい相手です。

大切なのは、周波数を合わせないことです。

私たちは心のラジオを持っています。

サタンは電波を発信しています。

それを合わせてしまうと、有害な情報をどんどん流して私たちの心の中にそれを入れようとしています。

だから、相手に合わせないのです。

心のチャンネルをくるくる回して、向こうの電波をキャッチしないこと。

なぜチンピラというのはからんでくるかという、こちらがキャッチするからです。

幽霊とか、人を脅かす霊は低級霊ですが、彼らは、驚かれるのを喜んでいます。

ですから、驚く人のところに頻繁に現れます。

無視するような人には現れません。

弱くなって、「どうしよう！」と焦っているような人のところにお化けとか霊は現れます。

そういう場合は、一喝して「うるせ〜んだよ。てめ〜！」というといいです。

それでもだめなら、キリストの権威を用いて縛ります。

「イエス・キリストの御名によって縛る」というとおとなしくなります。

相手を人間と考えては畏にはまりません。

人間ではなく、霊なのです。

人間は、家のようなものとして造られていますから、その住人が変わる場合があります。

多重人格は、たくさんの霊が入っている状態で、自分でコントロールできなくなると統合失調症になります。

脅かすような連中にはチンピラの霊が入っているのです。最初は、紳士であって、途中で変わるの、私たちが心のある程度許して隙間を作ったからです。

効果があると分かると、そこから頻繁にいろんな情報を入れてきます。

チンピラには紳士として対応してはならない。

こちらもチンピラになる必要があります。

普通の人間として接しては付け込まれます。

自分の家庭の事情とかも、弱みになります。

弱みは隙間であり、悪霊はそこを突いてきます。

> 自分の家庭や職場の事情を知っていてそこを突いてきます。家族の誰かに危害が及ぶぞとか。

それは、相手の気に入るような対応をされてきたのではないのでしょうか。

場合はまったく違いますが、たとえば、Sの人間の前でMの態度をすると、相手を興奮させてしまいます。

夜道で痴漢にあった場合に、「きゃ～やめてください」というような対応をすると、ますます興奮させてしまいます。

「てめ～、このやろ、触るんじゃね～」というような男のような言い方をした知人が、相手を撃退できたと言っていました。

つまり、波長を合わせなかったのです。

私は、ネットではチンピラにはできるだけ相手にしないようにしています。

いざとなったらやるぞ、という気迫があれば、相手は恐れてやってきません。

505 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月22日(木) 午後1時21分

タイトル: 律法は永続的繁栄のためにある

モーセに率いられたイスラエルは、まず紅海をくぐった。

赤い海である。

血の海。

これは、贖罪を象徴する。

贖罪を受けることは、イエス・キリストの契約に入ることを意味する。

その後、十戒を受けた。

つまり、順番は、贖罪→律法である。

だから、モーセが受けた十戒とは、契約の中にいる人間、すでに贖いを受けた人間に与えられたものであった。

ここは、アダムと根本的に異なる。

アダムは、贖罪を受けなかった。

なぜならば、必要なかったから。

アダムは罪を犯したことがなかったので、贖罪は必要なかった。

贖罪を受けないままに彼は律法を受けた。

「善悪の知識の木から取って食べるな」という律法を。

この2つの律法の違いは、

- (1) アダムが受けた律法は、贖罪の背景がなかった。
- (2) イスラエルが受けた律法は、贖罪の背景のもとにあった。

自動車免許の試験として考えると、

- (1) は、本当の試験。試験場で行う試験。合格しないと免許はもらえない。

(2) は、ペーパードライバーが技術を忘れないために受ける技能試験。任意の試験。合格しなくても免許は所持できる。

アダムは、永遠の命か永遠の死かの 2 つに一つの真剣勝負として律法を受けた。

イスラエルは、たとえ失敗しても永遠の死に至る心配のない律法を受けた。なぜならば、契約の主であるイエスが身代わりに合格してくれたから。(このときまだイエスは誕生されていないが、動物犠牲はイエスを象徴していた。)

じゃあ、なぜ (2) の律法が与えられたのか。

永遠の死に至らないのであれば、律法はもはや不要ではないか、という人がいるかもしれない。

(2) は、契約の民としての生活の規則としての律法である。

地図やカーナビのようなものだ。

それを守ることによって、繁栄と安全が保証される律法。

神のご計画は、この地球を契約の民に支配させることである。

契約の民に支配させることによって、神の主権が全世界で確立する。

これが創造の目的である。

神は、最初から全部造られたのではなく、土台を造られたのである。

土台の上に人間を住ませ、「人間に」神の主権を確立させたかったのである。

「人間の信仰と労働を通じての世界支配」こそが神の創造の目的である。

その支配のためには、規則がある。

規則を守ることなしに支配は不可能である。

戦争と殺戮によって、人々を不幸にしながらかの国は成長しない。

かの国は、世界をエデンの園（契約的祝福の場）のように変えることなのであるから、その拡大の方法は、あくまでも平和的・調和的・自主的でなければならない。

人間の命を踏み台にして広がるようなものではない。

かはそのような覇権拡大を行う勢力を排除される。

古来、世界帝国はこの間違いを犯した。

「武力によって世界を勝ち取る」というのは邪道だ。

中国は、経済力がついてきて次第に「武力によって日本を取ってしまおう」という考えに変わっているというが、これは、帝国が犯してきた基本的な間違いである。

武力に頼る帝国は滅びる。

「己の肉の腕に頼る者は呪われよ」と聖書にある。

知恵のない者は、自分の知恵に頼る。

かは、われわれに「聖書に記された知恵を求めよ。そうすれば、あなたは繁栄し、勢力を拡大できる」と言われる。

律法は、このために与えられたのである。

われわれが永続的に繁栄するために。

「心を尽くして主に抛り頼め。自分の悟りにたよるな。」（箴言 3・5）

506 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月22日(木) 午後2時48分

タイトル: いずれわれわれは全世界を手に入れることができる

マイケル・ジャクソンは、晩年にイルミナティと戦っていた。

そして、殺された。

オバマ大統領もブレジンスキーという陰謀家の弟子として抜擢され育てられた。

彼の演説の録音を逆回転すると「サタンよ、ありがとう」と聞こえる。

http://www.youtube.com/watch?v=MSaHH4_1IbA

ビル・ゲイツは、OS で世界を支配し、そして、Word や Excel という基本ソフトでも世界を制覇した。

しかし、彼は、「ウイルスによって人口削減する」と発表するなど、明らかにイルミナティのアジェンダに従っている。

このように世界を指導・支配するような立場に立つ人々は、イルミナティのバックアップがあると見てよい。

イルミナティのネットワークを通じて、後押ししてもらうことによって、普通よりもはるかに容易に世界の市場や政治舞台で活躍できるようになる。

だから、こういう人々は、サタンに魂を売ってその代償に名声と富を与えられたと考えられる。

下積みからこつこつ積み上げたのではなく、オバマやヒトラーのようにポッと突然出てくるような人間は注意したほうがいい。

そういう意味でホリエモンなんかはどうなのだろうか。

イエスは、荒野において誘惑を受けられた。

サタンがやってきて、「私を拜むならば、全世界をあなたに差し上げましょう」と提案した。

イエスは、「主だけを拜めと聖書にある」と退けられた。

イエスは、律法を完全に守り、サタンのあらゆる誘惑を退けられ、われわれに道を開いてくださった。

人間には、2つの道がある。

一つは、サタンの誘惑にのって、サタンを拝むことによって世界を手に入れようとするか。

もう一つは、キリストにしたがって、キリストを拝むことによって世界を手に入れようとするか。

どちらも世界支配への道である。

サタンを主とするか、それとも、キリストを主とするか。

かたやサタンの王国を世界に拡大するために利用され、かたやキリストの王国を世界に拡大するために用いられる。

いずれにせよ、世界支配のために利用される運命である。

ビル・ゲイツは、前者を選択した。

文字通り、コンピュータソフトの世界で支配者となった。

しかし、サタンに従ったので、サタンにいいように利用されるだろう。

やりたくないことをどんどんやらされるだろう。

やりたくないと言いはじめると、「約束はどうした？」と迫られるだろう。

あくまでも拒否すると殺されるだろう。

マイケル・ジャクソンは、初期のころ、指でOKの形（666を意味する）を作っていた。レディー・ガガと同じだ。

有名になり、金持ちになったが、サタンの支配に嫌気がさしたのか、イルミナティに逆ら

うようになった。

そして殺された。

ジョン・レノンも同じである。

イマジンの歌詞は、フリーメイソンの思想である。

「中立の賛美歌」である。

「宗教なんてないと想像してごらん」。

フリーメイソンは、「無宗教」という名の宗教を作りだそうとしている。実際は、それはサタン教なのだが。

ある時から、自分が利用されていたことに気づいて積極的に陰謀を暴露する活動を始めた。

すぐに殺された。

ヒトラーは、若いころにサタンと契約を結んだ。

次はヒトラーの書いた詩である。

荒れた夜に、私は時々
静かな園にあるウォタンの櫛の木のもとに行く。
暗黒の力と契約を結ぶためだ。
月光のもとでルーンが現われる
日中に太陽の光を浴びた人々は、
魔術の呪文の前で縮こまる。

(Mullern-Schonhausen, The Solution of the Riddle, Adolf Hitler)

破局し、自殺した。もしくは、南米に逃げたという話もある。

この世には、名声や金銭を得るために、サタンに魂を売る馬鹿者がたくさんいる。

なぜ「馬鹿者」なのかというと、必ず失敗するからだ。

キリストに全生涯をささげなさい。

そうすれば、必ず成功する。

いずれわれわれは全世界を手に入れることができる。

それが神の創造のおおもとの目的なのだから。

507 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 22 日(木) 午後 4 時 17 分

タイトル: 原発事故は東北占領のためだろう

「operation 51 日本は以前よりアメリカの 51 番目の州と言われているがその日本-に対する支配計画を operation 51 という。それが開始されたのは 2011 年 3 月 11 日である。

今後 T P P に正式に参加後震災後の更地になった東北の土地にアメリカが水産加工業の米資本の巨大工場をつくり入り込んで実質占領-する。

東北だけを狙っていない。東京はカジノとタックスヘイブンをつく-るつもりでいる。よって東京に大地震を起こして一度更地にしてそ-うする予定。

これらは operation 51 の内容である。」

<http://blogs.yahoo.co.jp/wantonblog/7152154.html>

実際、ウォーレン・バフェットが来日し、福島に投資した。

「株式投資を志したことがあるかたなら誰でも知っているであろう、あの投資の神様ウォーレン・バフェット氏が初来日、しかも福島を訪れました。

バフェット氏は、投資先のタンガロイ（福島県いわき市）の新工場の本格稼動にあわせ来日したそうです。

ブルームバーグによると、バフェット氏は、「世界の目は日本に、特に福島に注がれている」と述べたそうです。また、ロイターによると、「われわれは常に投資機会を模索している。

日本での機会を模索している」とも述べ、東日本大震後も「日本の産業界への見方は変わっていない」との認識を示したそうです。」

<http://randomwalker.blog19.fc2.com/blog-entry-1878.html>

やはり、原発事故は、東北占領のためだろう。

だから、原発による放射線被害は、チェルノブイリ並みであるはずがない。

被害を過大に装ったに違いない。

クリス・バズビーが北日本は避難せよと述べたのは、占領のためだ。

東京を地震で更地にする予定があるとしたら無理だろう。

地震では崩壊しない。

本当は、もっと広範囲に日本を沈没させる予定だった。

http://www.youtube.com/watch?v=D_lmYCAAUgw

どうやら彼らの計画はうまく行っていないようだ。

508 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月22日(木) 午後4時22分

タイトル: 原発事故は東北占領のためだろう (ゴミを取りました)

「operation 51 日本は以前よりアメリカの 51 番目の州と言われているがその日本に対する支配計画を operation 51 という。それが開始されたのは 2011 年 3 月 11 日である。

今後 T P P に正式に参加後震災後の更地になった東北の土地にアメリカが水産加工業の米資本の巨大工場をつくり入り込んで実質占領する。

東北だけを狙っていない。東京はカジノとタックスヘイブンをつくるつもりでいる。よって東京に大地震を起こして一度更地にしてそうする予定。

これらは operation 51 の内容である。」

<http://blogs.yahoo.co.jp/wantonblog/7152154.html>

実際、ウォーレン・バフェットが来日し、福島に投資した。

「株式投資を志したことがあるかたなら誰でも知っているであろう、あの投資の神様ウォーレン・バフェット氏が初来日、しかも福島を訪れました。

バフェット氏は、投資先のタンガロイ（福島県いわき市）の新工場の本格稼働にあわせ来日したそうです。

ブルームバーグによると、バフェット氏は、「世界の目は日本に、特に福島に注がれている」と述べたそうです。また、ロイターによると、「われわれは常に投資機会を模索している。日本での機会を模索している」とも述べ、東日本大震災後も「日本の産業界への見方は変わっていない」との認識を示したそうです。」

<http://randomwalker.blog19.fc2.com/blog-entry-1878.html>

やはり、原発事故は、東北占領のためだろう。

だから、原発による放射線被害は、チェルノブイリ並みであるはずがない。

被害を過大に装ったに違いない。

クリス・バズビーが北日本は避難せよと述べたのは、占領のためだ。

東京を地震で更地にする予定があるとしたら無理だろう。

地震では崩壊しない。

本当は、もっと広範囲に日本を沈没させる予定だった。

http://www.youtube.com/watch?v=D_lmYCAAUgw

どうやら彼らの計画はうまく行っていないようだ。

509 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 22 日(木) 午後 5 時 13 分

タイトル: 宮内庁から創価学会を追い出してほしい

<http://blogs.yahoo.co.jp/wantonblog/7152154.html>

以下は、このブログの主が、S. T氏の神戸県民会館にて行われた講演会をメモを頼りに記憶を呼び起こしながらレポートしたもの。

私が考えていたことと非常に酷似するので、取り上げることにする。

「皇族話になったので雅子妃についての話に飛ぶ。

雅子妃が今上天皇と会えない理由がある。それは雅子妃が創価学会員だからということだ。

創価学会員なので皇室の祭事に加わりたくないの皇室関連の行事に参加したくないとのこと。

ここで、ブータン国王訪問を例にとって皇太子批判にもなる。

ブータン国王と皇太子と一緒にパレード(?)をしたがブータン国王は日本国民を見ながらにこやかに手を振っていたが、皇太子は片手で写真を取りながらなおざりに国民に手を振っていた。ブータン国王と皇太子は格が違いすぎる。皇太子は帝王教育がなされていない。大体、皇太子はインタ

ビューされたら「雅子と愛子を守ります」しか言えない。皇太子は天皇になる資格がない。そもそも、天皇の一番大事な仕事は国の安泰を祈る祭事をするのである。

実際デビ夫人が雅子妃についてブログで言及されている。

皇太子廃嫡も主張している。

これはS. T氏も賛同すると強く支持。」

皇太子は、戦後教育の欠陥の象徴だと思う。

代々天皇になる人は、親元から離れて乳母に預けられ、孤独の中で暮らした。美智子様がそのような伝統を変えて、ご自身で育てられ、普通の家庭の子のように育てられた。

それがあだになったようだ。

皇帝は、小市民と同じ教育ではだめだ。

「妻と子供を守ります」じゃあだめだ。

ものすごい孤独に耐えることのできる強靱な精神力を持たねばならない。

いつ命を奪われるかもしれない恐怖に耐えられなければならない。

周りの反対を押し切って決断する能力を持たねばならない。

昔は、教育において、エリートとそうではない人々の間にはっきりとした差があった。

エリートはエリートとしてのプライドを植え付けられた。

そして、民衆を指導するために己を犠牲にする教育を施された。

変な平等意識から、そういった区別が敵視されるようになり、一億総小市民になった。

政治家や官僚にはもはや指導者としてのプライドがない。

賄賂と利権を追い求め、国全体を見渡すことができない。

皇太子は、このような間違っただけの教育の犠牲者である。

だいたい将来皇帝になる人がアイドル好き、ブルックシールズのファンを公表し、それを宮内庁が許すとは。

「天皇陛下も愛子内親王も東大病院に入院している。宮内庁病院には入院していない。宮内庁の意味がなくなっている。宮内庁とは実際皇族を含む殺人部隊なのだ。悠仁宮は昭和天皇の直径（ママ）の子孫だと思う。」

もし宮内庁が創価学会に占領されているといううわさが本当であれば、宮内庁病院に入れることは殺される可能性があるということだ。

宮内庁を大掃除せよ。

メールでやりとりさせていただいている S 氏曰く、

「女性誌の情報によると、宮内庁内部で皇太子と雅子妃の離婚を画策する幹部が現れたとの事。

火の無いところに煙は立たぬとの諺どおり、宮内庁内部の創価勢力が弱体化してきているのではないのでしょうか。

実際に離婚に至る可能性は低いでしょうが、秋篠宮夫妻がこれまで以上に公務代行する機会が増えそうです。

昔であれば、世継ぎの男子を産まない場合には側室を置いたりしたのでしょうか。

公務を果たさない皇太子妃にも税金が沢山使われているのですから。

掛け間違ったボタンは早く掛け直す必要が有りますね。」

離婚は不可能でしょう。

皇太子は、雅子さんにぞっこんだから、いっしょに皇籍を離れるのではないか。

とにかく、皇室から創価学会の影響を排除しないと大変なことになる。

「デビ夫人とは瀬島隆三が（送り込んだ？）対インドネシアの日本のスパイでありまんまとスカルノ大統領の妻になった。なお、インドネシアは天皇の金塊が存在する国。その大統領の未亡人である日本人のデビ夫人には一人の娘がいる。その娘カリナが将来的に天皇の金塊の凍結を解除するサインをする権利がある可能性がある。将来的に天皇の金塊の凍結解除する可能性がある。」

板垣英憲氏によると、台湾の李氏に預けた金塊 16 京円分は、先日解除されたい。そして、日銀が、天皇家の金塊を担保に発行する巨額額面の小切手をミャンマー訪問の帰途、日本に立ち寄った米国ヒラリー・クリントン国務長官に渡したという。これでロックフェラーのアメリカが一息つけると思うと複雑な気持ちだ。

デビ夫人は政治的な発言が多い、北朝鮮とのパイプがあるなど、スパイと考えても無理は

ない。

「常陸宮の妻は島津家の出身である。よって、彼は（妻の実家の権力が強いので）皇族で実権を握っている。現在の国政は長州出身の人間が握っている。それは明治天皇は実際は山口県の田布施の出身で、孝明天皇の皇太子とすり替わったからである。昭和の時代皇室の実権を握っているのは昭和天皇の兄であった。

（心の声：誰だ？昭和天皇の兄って??）

今上天皇が亡くなられた場合、悠仁宮が天皇になるなら摂政になるのは実権がある常陸宮であろう。今後皇太子廃嫡運動がおきるだろう。」

常陸宮が実権？

そうかもしれない。確認の仕様がなない。

常陸宮はクリスチャンだとの噂もあり、それが本当ならば、ぜひ創価学会を追い出してほしい。

510 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月22日(木) 午後6時00分

タイトル: 天皇の金塊に関するいくつかの疑問

「デビ夫人とは瀬島隆三が（送り込んだ？）対インドネシアの日本のスパイでありまんまとスカルノ大統領の妻になった。なお、インドネシアは天皇の金塊が存在する国。その大統領の未亡人である日本人のデビ夫人には一人の娘がいる。その娘カリナが将来的に天皇の金塊の凍結を解除するサインをする権利がある可能性がある。将来的に天皇の金塊の凍結解除する可能性がある。」

金塊についていくつか疑問がある。

1. 天皇家が終戦時に金塊を守るために台湾やインドネシアに送り、管理を委ねた先で、同時に監視役を任命したのではないか。

時期的に言って、デビ夫人は、2代目か。他にも金塊があるバチカンや台湾にもそういう人

がいるのだろうか。おそらく、お目付け役になった人々は、封印を解く権利も持っているのだろう。

2. もし金塊の秘密が暴露され、それが奪われる恐れがあるときは、天皇家に連絡を入れるのだろうか。

連絡を受けたらどうするのだろうか。誰が取り返しに行くのだろうか。

3. もし天皇家に金塊があるならば、どうして日露戦争時にそれを担保に金を借りなかったのか。また、第二次世界大戦においてどうして金を調達しなかったのか。

もしかして、天皇家が「平和利用以外禁止」の命令を発していたからか。

4. なぜ最近になってこのような話が出てきたのだろうか。

イルミナティに気づかれないためか。

どうやらロスチャイルドは知っていたようだが、ロックフェラーは知らなかったらしい。

ロックフェラーが第三次世界大戦を引き起こすために利用しようとしたところ、ロスチャイルドが止めに入ったというが、イルミナティの主であるロスチャイルドは 3 つの世界大戦を起こす計画を持っていたはずだ。

どうして反対するようになったのか。

511 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 23 日(金) 午後 0 時 04 分

タイトル: 北朝鮮で激しい権力闘争

時事通信社 jijicom は、12月20日午後11時37分に「北朝鮮、数百人粛清か＝金正恩体制強化－アムネスティ」という見出しで、以下のように配信した。

「国際人権擁護団体アムネスティ・インターナショナルは20日までに、過去1年間にわたる情報収集の結果として、北朝鮮の権力継承者となる金正恩氏とその支持勢力が後継体

制の足場固めのため、粛清を強化していると明らかにした。正恩氏への脅威とみなされ、粛清された政府当局者は数百人に上り、処刑されたり、政治犯収容所に送り込まれたりしているという。アムネスティはまた、19日に死去が発表された金正日総書記も1994年に父の金日成主席の死亡後、数カ月間で数万人を政治犯収容所に送り込んだと指摘。金総書記の反対勢力とみなされた人々は不公平な裁判によって、または裁判にかけられずに秘密裏または公に処刑されたと批判している」。

北朝鮮では、粛清が進んでいるらしい。

ただし、金正日の場合と違って、食糧エネルギー危機など数々の内部矛盾のため、正恩の政権固めは難しいだろう。権力闘争は、血で血を洗う、凄惨を極めていると言われている。正恩側は、政敵のパージを容赦なく進め、公開処刑を事項している。

さらに、政権崩壊に備えて、すでに外国勢力＝中国人民解放軍、韓国軍、米軍が、国境を超えて進軍のタイミングを見計らっているといわれている（板垣英憲本日付ニュースレター）。

外国人の巻き込みや干渉を避けるため、現在、外国人は国外退去を命じられている。

吊問外交も断っている状況であり、開始は、粛清がひと段落してからだろうとのこと。

この権力闘争に敗れるならば、正恩一派は全員処刑である。

仮に、横田めぐみさんが正恩の母親であるとの板垣氏の情報が事実であるとするれば、一族のメンバーとして巻き込まれる恐れがある。

めぐみさんの無事の帰国を祈る。

512 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月23日(金) 午後6時59分

タイトル: 神社に象徴される紅海とホレブ山

紅海を渡って、ホレブ山で律法を受ける。

これは、モーセに率いられたイスラエルの行程であった。

神社は、おそらくこれを象徴しているのだろう。

赤い鳥居は、贖罪を意味する。

今でも神社で行われる「茅の輪くぐり」は「血の輪くぐり」であり、茅の輪は鳥居に結び付けられる。

そこを信者がくぐって厄を払うのである。

(「厄を払う」という表現も興味深い。「払う」のである。代価を支払うのである。福音と同じ。)

鳥居をくぐった人々は、拝殿の前に進み出る。

本殿に向かって礼拝をする。

本殿にはご神体がある。

だいたい拝殿から本殿は高くなっており、階段がついている場合もある。

これは本殿が山であることを意味する。

自然の山そのものが本殿になっている神社もある。

神は、山のふもとに結界を設けられ、「モーセと長老以外、ここから入ってはならない。」と言われた。

神社でも拝殿の前にしめ縄と紙垂があつて、結界を作っている。

しめ縄は雲を、紙垂は雷を象徴する。

イスラエルの民の前で、御神域となったホレブ山には密雲と雷があつて、入るものを拒んだ。(*)

本来、本殿には契約の箱があったのである。

これが、神輿になった。

そして、契約の箱の中には律法の二枚の板があったはずだ。

だから、もともと神輿には中に律法があったのではないか。

紅海をくぐって、シナイ山に至る過程が、幕屋や神殿で象徴され、それが神道の神社の構造にあらわされているとしたら、日本人は、契約の民であったということになる。

ぜひ気づいてほしい。

(*)

友人の川口氏のお母さんは、六芒星がある真名井神社で不思議な雲を見てクリスチャンになった。その雲から先祖が招いているのがわかったという。

<http://millnm.8m.com/phileo/>

513 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月23日(金) 午後8時02分

タイトル: 未来は主のものである by R・J・ラッシュドゥーニー

未来を獲得し、主の御名によって支配するには、クリスチャンが、自由を獲得するための自己管理の本質的な意味、神的な再建における十分の一献金の役割、クリスチャンが国家から支配を奪還する必要性を理解することが急務である。

マルクス主義には未来はない。イスラム教にもない。同様に、ヒューマニズム国家主義は衰退し、滅亡への坂道をころがり降りている。マルクス主義回教徒たちは、いみじくも自らの寿命が近づいていることを悟っている。

クリスチャンは、ヒューマニズム国家主義とその学校や様々な方法から自らを分離しなければならない。

神は次のようにわれわれに呼びかけておられる。

「わが民よ、彼女から離れなさい。彼女の罪に与り、彼女を襲う災いに巻き込まれないためである」(黙示録 18・4)。

未来は主と主にあるわれわれにのみ属する。

<http://chalcedon.edu/research/articles/the-future-is-the-lords/>

514 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 24 日(土) 午前 4 時 13 分

タイトル: 公安、原発事故はイスラエル・モサドの破壊工作と政府に報告

http://www.youtube.com/watch?feature=player_detailpage&v=oIcTUV8o0ts#t=3206s

ベンジャミン・フルフォードが外国特派員記者会見で、

「公安による政府に対する報告書によると、イスラエルのマグナ BPS 社が福島原発で破壊工作をした」

と発言。

やっぱり、原発事故は、イスラエル・モサドの破壊工作だった。

フルフォードによると、

地震発生には、15 人の自衛隊員が関与し、そのうち 14 人が殺害、一人はアメリカのキリスト教系団体に保護されているそう。

当初から予想したのとフルフォードの情報が一致した。

実行部隊の自衛隊員は、おそらく朝鮮系の工作員でしょう。

イスラエル (モサド) = CIA = 北朝鮮 = 中国・韓国と連携して、日本破壊工作を実行しているのでしょう。

この計画はある期間我慢すれば過ぎ去って、失敗に終わるでしょう。

日本を侵略しようとする者は、手痛いダメージを受けるでしょう。

以下、フルフォード氏の講演内容だそうです。

=====

< 3 1 1 について >

- まだ自然災害と思っている人が多いが、何度も強調して言いたい。テロである。
- 1945年に既にアメリカが日本を津波で攻撃しようとしていたと米高官が話している
- 3月9日小沢がカート・キャンベルからゼロライト利権取得（ソース：皇室関係者、民主党員の証言）
- 海底に原子爆弾を設置した（目的は知らされず）自衛隊の15人の部隊のうち、14人が殺された
 - 残り1人はキリスト教系の団体に守られて、LAで保護されている
- オバマとイスラエルのネタニヤフが菅直人を脅し、米国債の名義を60兆円分変更させた（=60兆貢いだ）
- 災害復興の名目で集めた金を政治家や財界人の賄賂に充て、利権を分け合った
 - その中に 残念ながら孫正義の名前があった
 - 彼は新エネルギー利権（太陽光発電）で新たな搾取構造を生み出そうとしていた
- 放射能騒動は怪しい点が多い
- チェルノブイリ時の専門家と名乗る人物が放射能測定器を持って恐怖を煽って左翼系の団体に広める
- きくちゆみは真に受けて、千葉からハワイへ移住してしまって残念だ。彼女の人柄は好きだが
- 友人だったジェフ・レンスも放射能を煽り始めたので、喧嘩になり決別した
- 放射能測定器を持って煽りまわる人間と共に測定をしたが、全く何も検出されなかった
 - 彼らとともに測定機を持ち千葉や埼玉、群馬、東京回ったがどこに行っても1度たりとも検出されなかった
- CIAの麻薬組織グループの内部告発で原爆を国内に持ち込んだことが発覚したが、日本の警察は動かず

< 日本政治について >

- 亀井静香や石井一らが首都を大阪に移転しようとしており、小沢や石原慎太郎も同調し橋下に近付く

上記の計画は米国支配者層の実に馬鹿げた悪あがき。まだ顔の利く大阪で覇権を握りなおそうとした

- 橋下は彼らを相手にしていない
- 石井一は川坂シンジなる民主党のフィクサーの支配下にある
- 川坂シンジは永田町の裏に住んでおり、100人の政治家の面倒を見てる（＝金を渡している）
- フリーエネルギーを進めようと石井に提案したところ、それは川坂に聞いてくれと返ってきた

■石井紘基は殺されると直感し、小沢や管直人に助けを嘆願したが見殺しにされた（ソース：弁護士や自民党員の証言）

■石井紘基殺害命令を出した大元は、ダヴィッド・レネ・ロスチャイルド（ソース：伊藤白水の手帳や諸々のデータ、証言）

■元々民主党には下請けとなる人物が小沢、管、鳩山くらいしかいなかった

■鳩山はオーストリア・ハンガリー系のフリーメイソンの支配下にある。命令は絶対

■小沢はロックフェラーの賄賂で飼いならされている

■管は朝鮮系のエージェントである、と最近発覚した

■野田は首相になり初めて裏権力の存在を知らされた。元々中立の立場だったから総理に選ばれた

■日本のお金の権利、覇権争いも続いている

■ダヴィッド・ロスチャイルドの支配下にある主な政治家や財界人

小泉純一郎、行天豊雄（元大蔵官僚）、榎原稔（三菱商事会長）、石原慎太郎、小沢一郎、黒田、勝栄二郎、小和田恆（雅子様の父）など

■今上天皇にお金を無心しようとロバート・ロックフェラーやロスチャイルドの代理人が来たが病気を理由に拒否

■北朝鮮のグループに内部告発をしてもらいたいと考えている。後藤組に近い人間で、オウムを裏で捜査していた

■オウムは日本を恐怖に陥れるための社会的実験だった

■古い体制につく人間が減ってきている。ヤクザ系は今も動かず成り行きをじっと見守っている

<1兆ドル債券事件>

※事件の詳細>は を参照

■バチカン銀行の頭取が自殺していた。ポケットにはレンガや各国の通貨。マフィアからの脅しによるものか

- ローマ時代からバチカンを裏で支配してきた
- 11月23日にNYの南マンハッタン裁判所で裁判が始まった。番号は8500、ニール・キーンマンが告訴文を書いた
- 名指しで訴訟されているベルルスコーニやパン・ギムンらは失脚した
- 世界の金の85%はアジアが保有しているが、ロスチャイルドによりブラックリスト扱いされ取引できなくなった
- ブレトンウッズ体制では、配下の国である日欧のみを発展させる約束がなされた
- アジアの非同盟国同士で金を担保とした新ドルを発行しようとケネディと協力したが、暗殺されてしまった
- なぜ金アジアに大量にあるのか。絹やスパイスを輸出し金をため込んだ
- 中央銀行内にブラック・スクリーンなるシステムがあり、暗証番号と金額を入れてEnter押せばお金を作れる
- 支配下のないアジアの85%の金を勝手に裏付けとして通貨を生み出す仕組みをキンジャーが偽造した
- 現在は通貨を生み出すコードやBIS、名義などすべてこちら側の手にあり、既に凍結された(11月11日以前に)
- 1968年以降刷られたお金の裏付けはない
- ドイツ騎士団の黒幕なる人物にP2ログを案内され、儀式も見せられた
その夜葉巻に仕込まれた何かで死にかけたが、娘の猫アレルギー防止スプレーで一命を取り留めた
- 違法金融システムを凍結したのジェノバ在住の担当の家周辺で銃撃戦があり、結局死守できた

<http://ameblo.jp/jicchoku/entry-11111195341.html>

=====

515 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月24日(土) 午前10時34分

タイトル: 祈ることによって世界の流れを変えることができる

(1)

プラスにならない人間関係が終了する場合、サタンの常套手段として、必ず「後ろ髪を引くような言葉」とか思いを入れてきます。

しかし、いったん「腐れ縁」であるとわかった場合には、スパッと切るしかありません。

戻ってもろくなことがない。

これは、私の経験で得た教訓です。

人間関係は学校と考えています。

学校を卒業したら、その学校に再び通うことはありません。

通っても習ったことばかりなので、意味がない。

それと同じで、一時期接触する意味があっても、そこで学ぶことが終了したら、次の人間に送られてそこで新しいことを学ぶのだと思います。

まれに一生付き合う人もいますが、だいたいは、一時的な学校のような人々だと思います。

神が「終了」宣言を出された場合、サタンは「戻ってきなさい」と誘いますが、振り返ると罠にはまります。

一度結論を出した人の場合、もうそれで終了なのだと思います。

(2)

悪魔が働くときが、300年間続いてきました。

そして、ここ1～2年が最後の年になると思います。

ずっと秘密でやってきたのですが、インターネットによってばれてしまったからです。

公安は、原発事故が、イスラエルのモサドの破壊工作であるをつかんでいるようです。

ずっとそうだと思ってきました。

鉄塔が倒れることが電源喪失の原因であって、津波は関係ないので、おそらく鉄塔に問題があると思っていました。

何年前かに四国で鉄塔が倒壊したことがあり、ボルトが抜かれていました。

明らかに作業員による破壊でしょう。

それが、原発にも行われていた可能性があります。

とにかく、世界の癌は、シオニストです。

つまり、ロスチャイルド。

ロスチャイルドを倒さない限りだめです。倒すというのは、文字通り破滅するか、クリスチャンになるか。

ロックフェラーを倒してもだめです。

サタンは、ロスチャイルドに全世界の支配権を与える契約をしたと思います。

やることなすことすべてが超自然的ですから。背後に悪魔がいて、知恵を与えているとしか考えられない。

ほぼ毎日「ロスチャイルドとロックフェラーを引きずりおろしてください」と祈っています。

なぜ「引きずりおろす」という言葉を使うかというと、以前、祈りの中でサタンと戦うと行ったところ、耳元で非常に邪悪な者が「引きずりおろしてやる」と一瞬囁いたのを聞いたからです。

「あ、悪魔の声だ」と思いました。

それ以来、いろんな足を引っ張られることが起きました。

詐欺師が現れて、経済的にもめちゃくちゃになりました。

ですから、逆に私はロスチャイルドとロックフェラーの足を引っ張ろうと思いました。

聖書に「闇は光に勝たなかった」とありますように、必ず光は勝利し、善が勝ちます。

善なる神が背後にいますので、われわれにはパワーがあります。

祈ることによって世界の流れを変えることができると考えています。

516 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月24日(土) 午後0時26分

タイトル: フルフォードについて

>フルフォードは向こう側の人ではないでしょうか。

このサイトでは、ご承知のことと存じますが、聖書だけが基準であって、人間は基準としてみなさない、と考えます。

ですから、誰かの見解を絶対とすることはしません。

私も含めて、人間の意見というのは、あくまでも「参考」でしかない。

フルフォード他のような白黒はっきり分からない人間については、真偽両方含んでいると見るべきでしょう。

フルフォードが怪しいということから、完全に彼からの情報を遮断するのはいかなものか。

問題は、聖書に照らしてどうかでしかない。

だから、いちいちチェックしながら自分で選択するしかない。

つまり、大人にならないとインターネットの世界ではだめ、騙されるということです。

日本における保守の活動に参加して思ったことは、「ほぼ確実にひもつき」だということです。

ある保守派のサイトでは、思想誘導が露骨で、ある一定の方向に向かない人をよってたかってこき下ろす、悪い噂を流す、脅迫するなどが行われている。

これは、もはや保守でもなんでもない。

「中韓に対する批判を通じて、米国に引き付ける」という目的があると思います。

しかし、これって、イルミナティの常とう手段です。

地域の隣国との間にいさかいを起こしてその紛争を支配の手段として利用するというのがイルミナティの方法ですから。

残念なことですが、見たところ、まともなコミュニティはない。

おそらく、あと何年もたたないうちに、噂が広まってつぶれるでしょう。

>フルフォードの騒動は何だったのでしょうか。

私は、あの時期はサタンが働いたと思っています。

ヨブ記にあるように、サタンは神に許されてある活動を集中的に行います。

いろんな変なことが起きました。

一時は、雲隠れも考えました。

ですから、反米活動というものには（ほんとは反米ではなく、反イルミナティ）、霊的な要素が深くかかわっていると思わざるをえません。

とにかくわれわれは一致して祈り、サタンを追い出すために働きましょう。

517 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月24日(土) 午後6時04分

タイトル: 山本五十六は真の売国奴だ

山本五十六は真の売国奴だ。

=====

やはり真珠湾攻撃は奇襲ではなかった

本日は、真珠湾攻撃からちょうど70年に当たります。帝国海軍の「奇襲」攻撃を米国政府が知っていたかどうか、未だに決着がついていないというのが、歴史学界の現状です。政治に左右される学界の限界がここでも露呈していますが、当時のルーズベルト政権の幹部が承知していたことは、数々の状況証拠から否定できません。

日本の攻撃を察知していたという証言は数多ありますし、米国政府は「奇襲」攻撃されることを望んでいました。正式にヨーロッパの戦争に参加したくてうずうずしていたのですから。真珠湾攻撃の一報を聞いたイギリスのチャーチル首相は、これで救われたと安堵したと言われています。

米国政府は、日本の「奇襲」を成功させようと、連合艦隊がやって来る北西方面の偵察を取り止めさせたり、撃ちやすいようにおんぼろ戦艦を湾内に並べたりしています。(予定通り沈められた戦艦は、一部を除いてすぐさま引き上げられて修復されています) 空母まで沈めさせるわけにはゆきませんから、予めハワイから避難させていました。準備万端の上、「さあいらっしゃい」とばかりに待っていたのです。

70周年に合わせて連合艦隊司令長官だった山本五十六の映画が封切されていますが、危険で相手に察知されやすい真珠湾攻撃に固執していたのはこの男です。大艦隊が択捉島の単冠湾から長駆ハワイまで赴くわけですから、どうしても敵に察知されてしまいます。海軍軍令部が反対したのは、当然と言えましょう。

しかし、山本五十六には成算がありました。一か八かの勝負に出て成功したというのが定説ですが、米国側と通じていたと見るべきです。(山本五十六のファンの人には申し訳ないですが) 真珠湾攻撃のプランは五十六の独創ではなく、米国のウィリアム・ミッチェルやイギリスのバイウォーターらが予測して発表しています。当然、米英の軍の首脳たちも、このシナリオを想定していたはずです。

作戦内容が知られてしまったら、余程の事情がない限り採用できませんが、予め取り決めがあったなら話は別です。山本五十六はこの作戦に固執し、これが入れられなければ自分は連合艦隊司令長官を止めると軍の首脳を恫喝し、図上演習の場でも、真珠湾攻撃のプラン自体に対する批判を許しませんでした。この異様さは、米国と通謀していた考えなければ理解することはできません。

このように真珠湾攻撃が茶番劇であったことは確定的ですが、それを更に裏付ける資料が出てきました。本日付の東京新聞に、次の記事が掲載されています。

(<http://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2011120890070334.html>)

<http://yokodo999.blog104.fc2.com/blog-entry-467.html#comment236>

=====

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月25日(日) 午前10時21分

タイトル: ロスチャイルド・シオニズムとは?——再掲 (ゴミを取りました)

ロスチャイルド・シオニズムのユダヤ教は、サバタイ・フランキスト派というユダヤ教の中でも異端思想です。

メシアを「ユダヤ人自身」に設定する。つまり、己が世界のメシア（キリスト）であると主張。ユダヤ人がメシアとして世界を統一し、世界政府のトップに君臨することを目指す。

サバタイ・フランキスト派は、サタン信仰であり、ルシファーを礼拝する。イルミナティ・フリーメイソンを支配する宗教です。国連をはじめ、現在の世界秩序はこの宗教が支配している。

キリスト教原理主義が全てシオニストであると考えているならば、誤解です。

プロテスタント原理主義には、2種類、つまり、1. 改革主義と、2. ディスペンセーション主義がある。

1. は伝統的なカルヴァン主義。2. は18世紀から始まる新しい運動で、ロスチャイルドの影響を濃厚に受けている。創始者は、ラクンザというユダヤ人イエズス会士。

中興の祖であるジョン・ダービーは、ロスチャイルド・イルミナティの300人委員会から支援を受けている。

1. は地上王国を否定（無千年王国論）、もしくは、イスラエルが世界の中心になるとは考えない（後千年王国論）。

2. はイスラエルが世界の中心になるとし、シオニズムを奨励。現在の福音派のほとんどはこのグループに属する。

520 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月25日(日) 午前10時46分

タイトル: 教育で救われるとするのはグノーシスである

今の世界は、グノーシスによって支配された。

グノーシスの教えとは、「知識は人を救う」である。

すべて教育によって人間は救われると唱える教えは、グノーシスであり、異端である。

共産中国は、最初、教育刑で社会が維持できると考え、死刑になるような犯罪者も教育していたが、途中から公開処刑に変えた。

教育で人間をなんとかしようなどという考えは、サタンの思想である。

オウム事件を見なさい。東大を出たような人間が、人を殺した。教育だけでは、人間は救われない。

救いは、贖罪にある。

出エジプトの際に、門と鴨居に犠牲の羊の血を塗った家だけが救われた。

もし人間に罪がなければ贖罪は不要。それゆえ、知識によって人間が向上することもあるだろう。

しかし、人間は罪を犯したので異常になった。

アダムとエバは、罪を犯す以前、裸であることを恥としなかった。

罪を犯してから、裸を恥とした。

なぜか。

罪を犯す前は、生まれながらの状態が正常だった。

しかし、罪を犯してからは、生まれながらの状態が異常になった。

墮落後、人間は、裸であることが異常になったので、衣服を着用すべきである。

神は、すぐに動物を殺して、その毛皮を2人に着せてくださった。

人間が、贖罪を必要とする存在に変わったことを暗示している。

ヌーディスト・クラブは、「裸の状態が自然だ」とするグノーシスの宗教である。

「人間はそのままでもいいのだ。贖罪など必要ない。」と考える。

サタンの騙しは、ここに集中する。

聖書的キリスト教以外の宗教は、「自然こそ基準だ」とする。

聖書的キリスト教は、「自然は墮落しているので基準にならない」とする。

だから、贖罪のない教育は、「偽メシア」である。

金八先生など、ヒューマニズム教育が偽善的に見えるのは、問題をごまかしているからだ。

贖罪を避けて、教育だけで乗り切ろうとするから、問題が噴出するのだ。

今や、学校が機能しない。教員の多くが心の病になって休職する。

贖罪を否定したからだ。

私は、学校の門を赤くすべきだと思う。

まず贖罪を受けて、救われなければならないと示すために。

箴言に「神を恐れることは知識のはじめである」とあるように、まず罪の悔い改めとイエスによる贖罪を受けることである。

知識は、それから始まる。

521 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月25日(日) 午後4時35分

タイトル: キリシタン迫害の本質

欧米のキリスト教に通じていない人々が、キリスト教を弾圧した秀吉や徳川将軍たちを賛美する傾向がある。

あれはキリスト教ではなく、「イエズス会」という別の宗教。

もちろん、サタンは外面を繕うから、表面的にはイエス・キリストや贖罪の十字架が現れる。

だから、それによって救われる人もいたかもしれない。

しかし、本質は、別のものである。

イエズス会に支配された現在のカトリックは、行為義認である。

つまり、「人間は行いによって救われる」とする教え。

マザーテレサが行為義認を主張した。

こうなるとまったく別の宗教である。

信仰義認こそキリスト教だ。

行為義認は、贖罪を不要とするので、グノーシスである。

イエズス会は、カトリックによる世界制覇を狙っていた。

ローマ法王による世界支配を。

だから、日本に入り、秀吉と徳川が弾圧したのは、グノーシスの世界政府教、つまり、イルミナティである。

レオ・ザガミによると、バチカンの地下に悪魔礼拝所があるらしいが、あったとしても不思議ではない。

グノーシスの神は、ルシファー。

行為義認の宗教の究極目標は、ルシファー礼拝。

「人間はそのままがいい。イエス・キリストの贖罪など不要。ただ教育によって人間は向上し、救われる」との教えだ。

イスラエルの受胎告知教会に「三角形と目」がある。(次の写真は奈良部恒平氏が提供してくださった)

<http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/jyutai001c.JPG>

ローマ・カトリックは、ルシファー礼拝に徹底して汚染されている。

日本におけるキリシタン迫害の本質は実は、グノーシス迫害であった。

522 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月25日(日)午後5時15分

タイトル: 信仰義認は「無条件の救い」の教えではない

再建主義が律法を主張するので、行為義認ではないかと勘違いする人々がいる。

再建主義は、信仰義認である。

「人間は信仰によって救われるのであって、行いによるのではない」と主張する。

では、なぜ律法を主張するのか。

なぜならば、クリスチャンは契約の民だからだ。

キリスト契約は、「値なしで入ることができる」。

キリスト契約（神の国）は、有機体である。細胞が集まって構成する人体のようなものだ。

頭はキリスト、からだは教会と聖書で言われている。

キリストが律法をすべて守ってくださり、贖いも成し遂げてくださったので、われわれは、その体の細胞になればいい。

クリスチャンになるということは、キリストのからだの細胞になること。

からだ成し遂げたことは、その細胞が成し遂げたことと同じ。

からだエベレスト登頂に成功したら、その細胞も成功したことになる。

キリストの体は、キリストが永遠の命を達成してくださったので、永遠の命を獲得した。

われわれは「キリストの体に留まる限りにおいて」永遠の命を相続する。

しかし、もしその細胞が、反乱を起こしたらどうだろうか。

癌化して、暴走し、体の調和を乱し、全体を病気にしたらどうだろうか。

切除されるのだ。

切除されたら、永遠の命に与れない。

洗礼は、キリストのからだに加わったことを象徴する儀式であり、聖餐は、からだに留まっていることを象徴する儀式である。

もしわれわれが癌細胞になった場合は、教会は、われわれを切除する。これを象徴するの

が、聖餐停止処分である。

聖餐停止処分に値する罪をパウロは列挙している。

「あなたがたは、正しくない者は神の国を相続できないことを、知らないのですか。だまされてはいけません。不品行な者、偶像を礼拝する者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、盗む者、貪欲な者、酒に酔う者、そしる者、略奪する者はみな、神の国を相続することができません。」(1 コリント 6・9-10)

「盗む者、貪欲な者」とあるから、教会堂を乗っ取るために教会建設を終了した後に牧師を追い出すような教団は、全体としてキリストの体から切除されることが分る。

「不品行な者 (π ο ρ ν ο ι =ポルノイ)」とあるから、性的に不道德なことをするクリスチャンは、がん細胞であり、切除される。

「酒に酔う者」とあるから、飲んだくれのクリスチャンなどありえない。

「略奪する者」とあるから、侵略戦争に加担するクリスチャン兵士などありえない。神のものの窃盗であると定義されている十分の一献金の懈怠を貫くクリスチャンなどありえない。

「そしる者 (λ ο ι δ ο ρ ο ι =誹謗中傷する者)」とあるから、インターネット上で、偽りの情報を流し、人をむやみに貶めるようなクリスチャンなどありえない。

「男色をする者」とあるから、同性愛者のクリスチャンなどありえない。

これらは、みんなキリストの体の中で暴れる癌細胞である。

だから、教会は、素早く切除しなければならない。

キリストの体に留まる条件は、「キリストの体に貢献し、調和して働くこと」である。

一時的な間違い、過ち、罪は、許容される。

DNA が損傷しても、自動修復の機能があるように、元通りに戻る努力をする細胞は、キリストのからだに留まることができる。

しかし、「意図的な罪、反逆、聖書啓示の無視」は絶対に許されない。

意図的に御言葉に反逆し続けることは、自らを暴走細胞とすることであり、切除の対象になる。

そういう癌細胞を切除しない教会は、全体を死に至らしめる。

じゃんじゃん洗礼を授けて、洗礼者数を自分の教会の勲章にし、その後そのクリスチャンがどうなったかに無関心で、名簿整理をしない教会は、癌細胞を放置する教会であるから、死亡する。

これで、信仰義認の意味がお分かりだろうか。

信仰義認とは、「われわれは何をしても救われる」という無条件の救いのような教えではないということだ。

523 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月25日(日)午後8時02分

タイトル: 呪いはどんな場合でも悪か?

ダビデはおおくの呪いの詩編を残した。

これを「罪」と解釈するのが一般的であるようだが、違う。

ダビデの呪いは、私憤からではなく、義憤から出ているのだ。

地上に義が実現するように、との祈りである。

「呪い」が聖書で禁止されているとすれば、パウロはどうかの。

「主を愛さない者はだれでも、のろわれよ。」(1コリント16・22)

呪っているのではないですか！

自分に対する私的な敵意からの呪いは明確に禁じられています。

それが、クリスチャンとしての自分に対する迫害だとしても。

「あなたがたを迫害する者を祝福しなさい。祝福すべきであって、のろってはいけません。」
(ローマ 12・14)

「自分に有害なことをする人だから呪ってください！」と祈るのは間違いです。

しかし、「異端をはびこらせ、人々を惑わしている人々に呪いが下るように」と祈ることまで禁止されていると考えることはできません。

パウロは、次のように述べています。

「しかし、私たちであろうと、天の御使いであろうと、もし私たちが宣べ伝えた福音に反することをあなたがたに宣べ伝えるなら、その者はのろわれるべきです。私たちが前に言ったように、今もう一度私は言います。もしだれかが、あなたがたの受けた福音に反することを、あなたがたに宣べ伝えているなら、その者はのろわれるべきです。」(ガラテヤ 1・8-9)

また、「神の国に敵対し、人々を虐殺し、戦争を巻き起こし、金儲けをする人々を呪ってください」という祈りすら禁止されていると考えることはできません。

「小羊が第五の封印を解いたとき、私は、神のことばと、自分たちが立てたあかしのために殺された人々のたましいが祭壇の下にいるのを見た。彼らは大声で叫んで言った。『聖なる、真実な主よ。いつまでさばきを行なわず、地に住む者に私たちの血の復讐をなさないのですか。』」(黙示録 6・9-10)

「復讐してください！」と祈っている。

その祈りに対して神が次の箇所では裁きを下されたとあります。

「また、もうひとりの御使いが出て来て、金の香炉を持って祭壇のところに立った。彼にたくさんの香が与えられた。すべての聖徒の祈りとともに、御座の前にある金の祭壇の上にささげるためであった。香の煙は、聖徒たちの祈りとともに、御使いの手から神の御前

に立ち上った。それから、御使いは、その香炉を取り、祭壇の火でそれを満たしてから、地に投げつけた。すると、雷鳴と声といわずと地震が起こった。」(黙示録 8・3-5)

香は、祈りを象徴する。

香炉を投げつけるという行為は、祈りに応えて裁きを実行するということを意味します。

つまり、神は「復讐を求めるクリスチャンの祈りに応えられる」ということを示しています。

「誰に対してでも、不幸を祈ったり、望んだりしてはなりません」という教えは間違いである。

神の国と義を破壊し、この地上をサタンの世界に変えようとする人間への神の裁きを期待し、祈ることは間違いではない。

イエスは、いちじくの木が実を結んでいないので、呪って枯らされた。

「翌朝、イエスは都に帰る途中、空腹を覚えられた。道ばたにいちじくの木が見えたので、近づいて行かれたが、葉のほかは何もないのに気づかれた。それで、イエスはその木に『おまえの実は、もういつまでも、ならないように。』と言われた。すると、たちまちいちじくの木は枯れた。弟子たちは、これを見て、驚いて言った。『どうして、こうすぐにいちじくの木が枯れたのでしょうか。』イエスは答えて言われた。『まことに、あなたがたに告げます。もし、あなたがたが、信仰を持ち、疑うことがなければ、いちじくの木になされたようなことができるだけでなく、たとい、この山に向かって、「動いて、海にはいれ。」と言っても、そのとおりになります。』」(マタイ 21・18-21)

聖書において、いちじくの木は、イスラエルを象徴する(ルカ 13章、エレミヤ 8・9-13)。(前後の文脈[ユダヤ人指導者のイエスに対する敵意]から見てもこの箇所が単なる物理的奇跡の表現でないことは明らかである。)

実を結んでいないということは、神のために役に立っていないということの意味する。

枯れたことは、イスラエルの滅亡を意味する。

つまり、イエスの呪いは「イスラエルが期待どおりに神のために働かないため、滅ぼされ

た」という意味である。

そして、イエスは、このようなことを弟子たちも行えと言われる。

「あなたがたが、信仰を持ち、疑うことがなければ、いちじくの木になされたようなことができる」と。

「いちじくの木になされたようなこと」とは、イスラエルの滅亡のようなことである。

つまり、イエスは、弟子たちに「呪いを下せば、イスラエルを滅亡させるようなことができる」ということである。

山に向かって、動いて海に入れと命令するならば、そのとおりになる、ということも、いちじくの木から考えるならば、比喩ととらえることができる。

山は、いちじくよりもさらに大きく、いちじくを支えるようなものである。すなわち、当時イスラエルの宗主国であったローマである。

当時ローマは7つの山の町と呼ばれていた。

<http://www.path.ne.jp/~millnm/no42.html>

聖書において海は滅亡を象徴するので、山が海に入るとするのはローマへの裁きである。

ここから、イエスは、弟子たちに、「疑わずに信じて祈れば、ローマを滅亡させることすらできる」と暗示しておられる。

もちろん、ローマにいかなる非もないならば別である。

あくまでも、「神のために実を結ばない邪悪な民族や国家への裁き」である。

今日でいえば、アメリカだろう。

戦争を仕掛けて、国々を荒廃させ、多くの人々を虐殺する邪悪な国家である。

このような国が崩壊するように祈ることは、決して間違いではない。

神は、正義と愛を動機とする呪いを禁止しておられないことがこれでお分かりだろうか。

「主を愛さない者はだれでも、のろわれよ」

525 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月25日(日) 午後8時21分

タイトル: 肉食万歳 (ゴミ取りました)

ある人のコメント:

授業でも地球人口は多過ぎるって生物の教師が言った。 計算違うかもしれないけど、東京は2平方メートル以下に一人いるくらい。 道路は住めないとしたら1平方メートルに一人住んでるような状況。 異常と言えば異常だ。 まあ肉を食うことを辞めて米とか栽培すれば、家畜に使う土地が減るし、時間も肥料も減って、飢えが無くなるらしいね。 ハゲも減るだろうし、動物殺さなくていいんだし、まずは肉食を辞めるべきだと思うね。だがそれにしても多いよな実際。 ヤクザと警察はどっぶりだし、教師はエバッテル奴らばっかで 犯罪も戦争も絶えず、原発も気にしてない奴らが多く、常識に固まって、社会も心も成長止まるこんな悲惨な世界、別に人口削減で消えて無くなっても良い。と言う自分も・・・どこかいる。

tomi:

東京は特別でしょう。官僚が許認可権を手放さず、しかも、いちいち霞が関まで呼び出すから、どうしても、東京に本社を置かざるをえない。人災ですよ。世界の飢餓の問題は、食糧が足りないのではなく、分配を政府が横領するから。ODAで金がわたっても、政治家がため込み、国民のためにならない。全部利権が原因ですよ。自然は懐が深い。食糧は十分にあります。肉食万歳。

527 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月25日(日) 午後8時33分

タイトル: たびたびゴミが入って申し訳ございません

どうもコピーする場合に、ゴミが入ります。

かつて自分のサイトを持っていたときは、プログラムを書き換えて対処していましたが、今はヤフーのプログラムですからいじることができません。

できるだけ注意しますのでご容赦くださるようよろしくお願い申し上げます。

528 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 25 日(日) 午後 8 時 34 分

タイトル: 自由と倫理は神的国家の両輪 (ゴミ取りました)

ある人のコメント :

親になる資格の審査を設ける必要があると思う。経済力・責任能力・中絶経験・犯罪歴などの基準を設けて。幼児虐待・人身売買などを防ぐには必要だ。

tomi:

その選別の権限を国家に与えたら、あなたもそれにひっかることになりかねないですよ。経済力・責任能力・中絶経験・犯罪歴をどの程度まで許容するかを国が決めることができるというのは、ファシズムで、自由社会を維持するには、やはり生じた問題を処理するしかない。つまり、幼児虐待や人身売買を厳罰に処すことしか、発生を未然に防ぐことはできない。

考えてみれば、自由社会の維持には、倫理が不可欠で、倫理が崩壊すると、一つ一つ法律を設定することになる。すると、どんどん自由が奪われていく。

市民的自由を維持しようと思ったら、倫理を確立する以外にはない。自由と倫理は神的国家の両輪である。

529 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 26 日(月) 午前 6 時 49 分

タイトル: 中国が日本に追いつくにはあと何年必要だろうか

以下は、まさに中国人が気づかなければならない点である。

=====

一週間、日本に滞在したという中国人ブロガーが「日本と中国の間にある距離を認識した」とする文章を掲載した。それによると、「日本の道路は清潔、小川は綺麗だが、中国の道路は混乱を極め、小川は下水であり、臭い」という。原文は長いため、数回にわたって紹介する。以下は、その要約。

日本に一週間ばかり滞在した。行動した範囲は関東地方に限定されていたが、それでも日本と中国との間にある距離をはっきりと認識することが出来たのである。

多くの中国人は増大するGDPばかりに目がとられ、他の先進国と中国との間には距離は存在しないと誤認している。中国が日本を追い越すことも時間の問題だと思っているようだが、日本は世界第二位の経済大国であり、中国は世界第三位といいながらも新興国であり、まだまだ虚心で日本に倣わなければならない。

関連写真：そのほかの中国で報道されている日本に関する写真

1. 素養

訪日一日目、私は静岡県三島市に滞在したのだが、早朝に三島市の街を歩いてみると道路は非常に清潔であった。中国国内では絶対に見ることの出来ない光景である。清潔で平坦なアスファルトの道路の両側には人間に慣れた様子のハトが散歩しており、小川は透明で川底が見えるほどに透き通り、カモが楽しげに泳いでいた。

歩道を歩いていた日本人は、車道に車がいようとまいと、赤信号になれば自発的に立ち止まるなど、街全体に整然とした秩序が存在したのである。このとき、私の頭に「素養」という言葉が浮かんだ。素養の無い国民しかいない国家が飛躍することは不可能である。

中国帰国後に見た混乱した交通状況、ひどい臭いと汚水にまみれた下水道、私は中国と日本との距離は非常に大きいことを認識せざるを得なかった。たとえ将来的に中国のGDPが日本を越え、米国を越えるとしても、我々の素養水準が今のままであるならば、我々は外国人から敬意を持って接してもらえることを期待してはいけない。なぜなら国家における「格」は国民の素養で決定するからである。(つづく 編集担当：畠山栄)

=====

中国が日本に追いつくには、あと何年必要だろうか。

おそらく追いつけないだろう。

幕屋で言えば、日本は至聖所の国。中国は、庭の国。

日本は山頂。中国は麓。

私はこれが世界の構造だと思う。

530 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月26日(月) 午後4時23分

タイトル: 呪いはどんなものでも悪か? 修正版

呪いはどんなものでも悪か? 修正版です。pdf形式です。

論点があいまいな部分があったのではっきりさせました。

<http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/noroiha2.pdf>

531 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月26日(月) 午後5時29分

タイトル: われわれが形勢を逆転させるべきだ

アメリカは独立戦争においてすでに、グノーシス化されてしまった。

それは、ワシントンがフリーメイソンだったからだ。

聖書に基づく社会を建設しようと入植したクリスチャンの影響力はリバイバル運動後、大きく低下した。リバイバルの熱狂の中で社会のタガが外れ、人々はばらばらになってしまった。

その代わりにはびこり始めたのが、非聖書的、独裁的、貴族的、国家主義的な旧大陸の精神であった。

それは、軍隊の再編に現れている。

ワシントンは、小さな政府を模索するクリスチャンの原則に立つ民兵からなる自由主義的な軍隊を破壊し、旧大陸の貴族的、専制的な軍隊に変えた。

=====

ワシントンは軍隊を変えた

1775年6月、ジョージ・ワシントンは、少将に任命され、議会において、アメリカ革命軍最高司令官に選出された。ワシントンは精力的に任務をこなしたが、その残りの期間、軍事的には何も達成せず、また、達成しようとしなかった。1775年におけるワシントンの唯一のキャンペーンは、対外的ではなく、対内的であった。その努力は、「アメリカの軍隊」に敵対し、民兵から成るこの非常に個人主義的かつ民主主義的な軍隊を支配する自由の精神を破壊すべく計画されていた。要するに、ワシントンは、急進的自由主義革命に適した人民の軍隊を、おなじみのヨーロッパのモデルにならって、旧来の正統的かつ独裁的に支配された国家主義者の軍隊に変えようとしたのである。

その主要な目的は、アメリカ軍の個人主義的・民主主義的な精神を破壊することにあった。(ワシントン以前において) 第一に、民兵の士官たちは、自らによって選ばれていた。繰り返された選別の原則は、「当時のヨーロッパの軍隊に典型的だった貴族的支配階級の形成を防止すること」であった。士官は、部下よりも少しだけ給料が高かった。士官と兵卒の間に階層的な区別は全くなかった。結果として、士官は、兵卒に対して自らの意志を無理強いすることができなかった。このニューイングランドの平等は、ワシントンの保守的で、非常に貴族的な精神にとって恐怖であった。

<http://www.lewrockwell.com/rothbard/rothbard171.html>

=====

アメリカは、建国以来、フリーメイソンの国であり、バビロンである。

フランスのフリーメイソンがアメリカに送った自由の女神は、イシュタルである。

イシュタルとは、別の名をエウロパ、イナンナ、そして、バビロンの女王セミラミスとい

う。

つまり、アメリカは、フリーメイソンによって、大いなるバビロンと化した。

だから、アメリカをクリスチャンの国などと表現するのは間違いだ。

今のアメリカを支配しているのは、バビロンの霊である。

それは、「ウォール街を占拠せよ」の運動の象徴が、「獣に乗る女」であることから分かる。

この運動を立ち上げ、支援したグループは、国連と関係がある。

もちろん、国連はルシファー礼拝の組織。

全部、フリーメイソン・イルミナティつながりなのだ。

18 世紀からの啓蒙主義以降の時代、つまり、近代という時代は、フリーメイソンの時代であって、クリスチャンの時代ではない。

宗教改革の霊は、18 世紀からフリーメイソンの霊に押されてきた。

われわれが形勢を逆転させるべきだ。

532 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 26 日(月) 午後 7 時 03 分

タイトル: 震災前から買われていた住宅会社株

2011 年 3 月 11 日のひと月前から、東日本ハウスの株価が上がり、震災前日の 3 月 10 日では、1 日で 4 割上がったのは、インサイダーだから。

<http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/higashinihon.gif>

<http://stocks.finance.yahoo.co.jp/stocks/chart/?code=1873.Q&ct=z&t=1y&q=c&l=off&z=m&p=m65,m130,s&a=v>

ミサワホームも、それまで低迷していた株価が2月から上がっている。

<http://stocks.nifty.com/cgi-bin/quote/q?r=1y&c=1722&s=&color=&t=>

3月11日に震災が起きることをあらかじめ知っていた人間が、復興需要を見込んで株を買いあさったから。

ミサワホームは、キッシンジャーの弟子竹中の工作によってトヨタ自動車の資本傘下に入り、実兄竹中宣雄氏が2008年社長に就任した（現在まで）。(*)

911のときも同じことが起きた。

前日に航空会社の株が空売りされていて、航空機がWTCのビルに突っ込んでユナイテッドの株価が暴落したときに巨額の収益があがった。

邪悪な連中が世界を動かしていることを悟るべきだ。

911がモサドの仕業であるならば、

<http://blog.goo.ne.jp/hitsuku/e/e3f9c6e01308f19acea08dbc98deac10>

311もそうと考えるべきではないか。公安は、原発事故をイスラエルの警備会社マグナBSPによる破壊工作と政府に報告した（by ベンジャミン・フルフォード）。

http://www.youtube.com/watch?v=oIcTUV8o0ts&lc=cV0dahciXpwDR6K3GER9TG1PpZHmyB3DYbJRPRnn_6I&feature=inbox

シオニストによる邪悪な世界支配から脱却するために、祈ろう。シオニズムという山に命令し、「動いて海に入れ！」と言おう。

(*)

2004年11月19日に発表された中間決算では、経常利益220億円、税引き後利益100億円が計上され、産業再生機構に送られる決算ではなかったのに、12月7日に突然修正され、税引き後利益が5.5億円に下方修正された。この決算修正により、ミサワホームは過大債務を抱えることになり、産業再生機構送りされることになる。

ミサワホームの監査法人は中央青山監査法人で、ミサワホームの三澤千代治氏は理事長の上野氏と親交が深かったが、上野氏は2005年5月に理事長職を辞任している。後任の理事長に就任したのが、奥山章雄氏である。奥山氏は竹中金融相が組織した金融再生プロ

ジェクトチーム、および「金融問題タスクフォース」のメンバーでもあり、公認会計士協会会長として、「りそな銀行」の資本不足問題に、重大に関与した人物である。

竹中の仲間である奥山の会社による監査により、過大債務を抱える会社として産業再生機構送りされたミサワホームの社長に、2008年竹中の実兄竹中宣雄氏が社長に就任。

http://uekusak.cocolog-nifty.com/blog/2008/10/post-7384.html#search_word=%E7%AB%B9%E4%B8%AD%E5%B9%B3%E8%94%B5%20%E3%83%9F%E3%82%B5%E3%83%AF%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0

533 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月26日(月) 午後10時39分

タイトル: 橋下徹の正体

=====

橋下徹はコリア系アナーキスト大前研一の忠実なる弟子

以下の文章は、

筑波大学名誉教授・中川八洋著「福田和也と魔の思想（清流出版）」からの引用です。

▼一九九一年末のソ連邦崩壊の前後より、日本のコミュニスト（共産主義者）たちも共産主義国家創りが非現実化したための路線変更なのか、アナーキズム（無政府主義）的な、国家の秩序・統治機構の解体に精力を注ぎ込むようになった。

その結果、一九九〇年代以降の日本では、アナーキズム（無政府主義）の方が、コミュニズム（共産主義）より、先見性があったような状況がうまれアナーキスト（無政府主義者）たちは全面復権した。

たとえば、次のようなアナーキストたちが縦横無尽に暗躍するようになった。

- 1、大前研一（コリアン系）
- 2、宮崎哲弥（コミュニタリアニズム系）
- 3、松本健一（民族系、旧来型）
- 4、福田和也（ポスト・モダン系）

- 5、浅田彰（ポスト・モダン系）
- 6、香山リカ（ポスト・モダン系）
- 7、佐藤優（ロシアを祖国とするマルクス・レーニン主義の変種？）

彼らは、これまでの全共闘系の枠にとらわれず共産党やその革命家たちとも連携や絆を強めている。

一九二一～二年の「アナ・ボル論争」以前の、日本の極左革命家たちの融合状態への回帰である。

▲以上、引用終わりです。

今現在も大阪府民の支持率が八十%を超える強硬な道州制論者で、民主党総務大臣・原口一博と「いかに国を転覆するか」↓を密談した現大阪府知事のハシシタ（ハシモトは本名ではない）徹は、筑波大学名誉教授の中川八洋氏に、「コリア系アナーキスト」と分類されている大前研一（経営コンサルタント）の忠実な弟子です。

大前が日経 Bp に連載しているコラム↓を読めば <http://www.nikkeibp.co.jp/sj/2/column/a/136/>大前研一とその弟子ハシシタ徹が、何を企（たくらん）んでいるか、一目瞭然です。

少し長いですが、以下に決定的な部分を抜粋引用します。

▼道長（どうちょう）に選ばれるためには姑息な手段も中略だから、まず道長になるには、知事の互選で選ばれないといけない。

そのためには（他の府県の）知事を刺激し、機嫌を損ねるような発言は控えることが肝要である。

つまり、宮崎県には高齢者を持っていくというような、どこかの県が差別されるようなことは口に封をする。

その代わりに、「教育を変えよう」「小学校から韓国語をやろう」というような、どの県も平等に実施できるような全体ビジョンから提案していくのだ。

そして選ばれてしまえば、2期目の互選まではその路線を貫く。

さすれば2期8年は確定だ。

そして2期目に突入したら、もう知事に遠慮する必要はない。

3期目の直接投票で選ばれるように、地域の住民に喜ばれるための政治活動を行なう。

わたしだったらその段階で初めて、この記事に取り上げたような「真の九州道プラン」を明確に提示するだろう。

この期に及んで知事が「あの野郎、2度目の互選まではオレたちに都合の良い話ばかりして、心の中ではこんなことを考えていたのか」と怒り出しても、もう関係ない。

2期目の残り4年で、やるべきことを実行する。

そして、住民に「人もたくさん来るようになったし、お金も集まるようになった。

九州が少し元気になった」と思ってもらえたら、3期目の当選は確実だ。

実際、わたしのプランを現実に行おうとするならば、3期12年はかかるだろう。

しかし、道長を次の人にバトンタッチしながらのリレーでは実現するのは無理だ。

一人の道長が明確なビジョンを持って12年計画で実現に向けて尽力するしかない。

▲以上、引用終わりです。

そもそも、行政や財政の無駄を省くために、ヨーロッパ諸国が共同体に統合したEUを「日本という国家共同体の解体」を意味する「地方分権＝道州制」に擬える大前研一やハシシタ徹の詭弁自体が狂気の沙汰なわけですが、大阪府知事のハシシタ徹は既に大前研一が推奨する「道長になるための姑息な手段」を大阪府知事選において実施しています。

即ち、「同和対策予算はゼロにします」という公約を掲げて人気を博し、大阪府知事選で勝利したハシシタ徹は、知事になると、二〇〇八年二月の定例府議会で、「私は、いわゆる同和地区というところで育ちましたが、現在、同和問題は、まったく解決されていないと認

識しております。

」と発言しており、「同和対策をゼロにするという公約」をハシシタ徹は完全に反故にしましたし、自民党の支持を取りつけ、大阪府知事になりながら、昨年の衆院選では、あっさり自民党を切り捨て民主党の政権篡奪に極めて大きな貢献をしました。

また、言うまでもなく、大阪府知事のハシシタ徹は、外国人参政権超積極推進派↓であり、
<http://mamazon2.blog114.fc2.com/blog-entry-115.html><http://www.chosunonline.com/article/20080129000029><http://turenet.blog91.fc2.com/blog-entry-2430.html> ハシシタ徹は、自身が目指す道州制のゴールは、「一国二制度」だと明言しています↓。

<http://kotarotamura.net/b/blog/index.php?itemid=4620> 大前が引用文中で述べている「地域の住民に喜ばれるための政治活動」の「地域の住民」とは言うまでもなく既に外国人参政権と大量移民によって自治区化した九州道に大量に移住した中国人と韓国・朝鮮人を指していることは明白です。

日本国民の皆さん、以上の情報の拡散をお願い致します。

<http://tanakataisyuu.seesaa.net/article/140952880.html>

=====

騙されないようにしよう。

534 投稿者: たればんだ

Date: 2011年12月27日(火) 午前6時29分

タイトル: 市民「革命」

The Anarchist と anarchists の戦い?

<http://mainichi.jp/select/seiji/news/20111227k0000m010099000c.html?inb=fr>

「革命思想」の「中央委員会」も着々と・・・

<http://mainichi.jp/select/seiji/news/20111227k0000m010085000c.html>

革命が実現したら

中央委員会に逆らうと「肅正」：北朝鮮のように本当に抹殺されるかもしれない

対する「労組」だって革ゲバがいる
それこそ「浅間山荘事件」の再来も十分あり得る話

暗躍アナキストのリストには哲学者もいれば精神科医もいる
彼らにすれば「洗脳」など朝飯前、「赤子の手を・・・」だ

しみん を変換すると 嗜眠 が出てくるけれども
市民の「嗜眠」に乗じて、思想教育を徹底し
同時進行で日本国国家を解体して
独裁者に絶対服従の独立国を建て上げるつもりか

北朝鮮情勢も、アメリカのナチス化も、「対岸の火事」として傍観している場合ではありま
せん

535 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月27日(火) 午前9時08分

タイトル: 基準は理性ではなく聖書である

瞬間移動したことがあると述べる牧師がいる。

今の福音派のクリスチャンは、「そんな馬鹿な」と言うだろう。

なぜならば、福音派は、超自然現象を忌避する傾向があるから。

それは、改革主義のクリスチャンも同じである。

私の親族など身近な人もそのような反応をする。

それに対して私は、「いや、聖書にそういう事例があります。ペリポは瞬間移動したと使徒
の働きに書いてある」 t 反論すると、

「それは、聖書の時代の話で、現代にそれが起こるはずがない」という。

「え〜〜〜！」である。

聖書の時代と現代と何が違うのだろうか。

時代的に経緯が異なるなんて聖書のどこに書いてあるのか。

「聖書の時代には奇跡は起こったが、その後の時代には起こらない」と記した箇所はどこか。

経緯の区別は、旧約と新約である。これは、明確な区別がある。

しかし、「聖書の時代」と「そうじゃない時代」に区別があるなどということを教える聖書箇所はない。

もし「それは科学的ではないから」という理由ならば、「じゃあ、科学は、瞬間移動が絶対にないと証明できますか」と尋ねたい。

科学は、「通常」奇跡は起こらないということしか言えない。

「絶対に」奇跡は起こらないとは言えない。

なぜならば、科学は、「経験したことについてのみ発言できる」から。

経験科学の基礎である帰納法認識論というのは、実験観察によって得られたデータに基づいて法則を導き出し、それを「通常原則」として適用するものである。

「絶対原則」としてではない。

人間が経験できる範囲は限られている。持っているコップを離すと下に落ちるかどうかを調べる実験を100億回行っても、100億1回目にどうなるかはわからない。

「いや、引力の法則によって物体は下に落ちるのだ」といっても、「その法則がいつでもどこでも絶対に適用できるという証拠は何ですか」と尋ねられて答えられる人はいない。

人間の認識能力はあくまでも「蓋然的」なのだ。

もし、クリスチャンが科学を持ち出して瞬間移動を否定するならば、「処女懐胎などあり得ない」という人に答えることができなくなる。

だから、科学を認識の絶対的な基準とすることは自殺行為なのである。

そのような態度を貫けば、いずれ聖書信仰は破滅する。

クリスチャンの認識論は、「聖書絶対主義」である。

「聖書に記されているから」奇跡はあり得る、と言わねばならない。

聖書は、「神は世界を無から創造されたので、あらゆる被造世界の法則を超越している」と教えている。

だから、われわれは、自然法則を超越したことが起こり得る、と考えるべきだ。

「常識的に考えてそんなことが起きるわけがないでしょう」というようなことを言うならば、「処女懐胎は常識的なのでしょうか」と尋ねたい。

クリスチャンは、いい加減、自分の理性に頼ることを止めるべきだ。基準は、理性ではなく聖書である。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月27日(火) 午前9時50分

タイトル: 日本と米国の国力の違いは、実物を持っているかどうかの差だ

米ドルが基軸通貨として通用しているのは、米国の圧倒的な軍事力だけだ。米国に金塊があるとされてきたが、実際は、タンゲステン（金と比重がほぼ同じ）に金メッキしたものであることがばれたという。

ドルは、実物の裏付けがないお金であり、それゆえ単なる紙でしかないという認識が広がりつつある。

しかも、板垣氏の本日付ニュースレターによれば、北朝鮮が印刷した「本物の」偽札より

も精巧なニセドルが香港やASEAN諸国に出回っているという。

最近では、ドル決済が極度に嫌われ、「円決済」を求める貿易関係者が増えつつあり、中国やロシアの貿易関係者も、ドル決済を嫌がり、円決済が主流になりつつあるらしい。

日本円には、天皇家の金塊という強力なバックアップがある。なにせ 500 京円である。産油国の石油よりもはるかに大きい実物の裏付けである。

日本円こそが基軸通貨としてふさわしいことは火を見るより明らかだ。

朝日新聞 asahi.com が 12 月 25 日午後 10 時 6 分、「中国国債購入で合意＝円・人民元の貿易決済も促進―日中首脳会談」という見出しで次のように配信した。

【北京時事】野田佳彦首相と中国の温家宝首相は 25 日の会談で、日本政府が人民元建て中国国債を購入することで合意した。貿易取引で、円と人民元による決済を促す方針でも一致。両国の経済関係を緊密化し、一段の貿易拡大につなげるのが狙い。ただ、人民元の国際的な立場が上がることで、基軸通貨である米ドルの地位が低下する「ドル離れ」に拍車がかかる端緒になりかねず、欧米諸国の反発も予想される。中国国債購入には、為替市場での円売り介入で積み上がった外貨を使う。購入額は最大 100 億ドル規模とみられ、1 兆 3000 億ドル前後に達する日本の外貨準備全体の 1%にも満たない。市場への影響を考慮し、少額でスタートして徐々に買い増していく方針だ。中国は以前から日本国債を保有しており、中国による売買が国債価格を左右する一因とも言われてきた。日本側は、中国国債を持つことで、経済分野での意見交換をより活発にし、関係を深めることを目指す。両首脳は、円・人民元の貿易決済拡大や、両通貨を直接取引する為替市場の育成を支援することも決めた。日本にとって中国は世界最大、中国にとっても日本は上位の貿易相手国。しかし、日中貿易のほとんどは米ドルで決済している。円・人民元で直接決済すれば、ドルとの両替が不要になるため取引コストを低減できる。[時事通信社]

米国の威信低下は避けられない。

日中が、貿易決済でドルを用いなくなるならば、「ドル離れ」は避けられないだろう。

米国は、この状況を脱するために、日中戦争を起こす可能性がある。

しかし、天皇家の金塊がある限り、たとえ戦争が起こっても、日本の勢いを止めることは

できないだろう。

日本と米国の国力の違いは、実物を持っているかどうかの差だ。

537 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 27 日(火) 午後 7 時 37 分

タイトル: 神の国の妨害者は最大の愚か者

最近、ある保守系サイトをやめた。

統一協会がらみと判明したからだ。

日本の保守を一定方向に誘導するためにやっているのだろう。

だから、実際のところ、保守ではなく、日本つぶしのためにやっているのだ。

ああいったグループで知り合った人間は要注意だ。

こちらの際を見て、個人情報を探ろうとする。

おそらく公安も交じっているのだろう。

だから、まじめに情報など与えるのはばかげている。

共感するだのなんだの個人情報目当て、つまり、CIA とか公安のファイルを作成するのが目的だから、お目当てを達成したらトンズらする。

工作員バレバレ。

本当に日本のことを考えているならば、話が続くはずだ。

本当にご苦労さまと言いたい。

仮に私一人殺しても、神を殺すことはできない。

神を殺すことができなければ、神は何人でも同じような人を送るだろう。

いたちごっこ。

神の国を妨害することは絶対にできないのだ。

いかなる政治工作もむなしい。

諦めたまえ。

ユーチューブでも、何度ブロックしても、ブロックを外してコメントするやつがいる。

あの保守サイトと同じ現象だ。

つまり、内部のソースを扱うことができる人間ということ。

ということは、組織ぐるみでやっていると考えざるをえない。

そんなサイトのソースまでいじれるってことは、大きな組織に違いない。

ユーチューブのブロックを抜けてくるということは、グーグルとつながっているということだ。

バベルの塔は崩壊する。

神の国は拡大する。

どんなに止めても無理。

神の国は、神の御計画であり、この宇宙創造の目的であるから、神が一番こだわっておられる部分である。

だから、神の国は絶対に実現する。

そして、神の国を妨害する人間、とくに、神の国のために働いている教職者を迫害する人

間は、もっとも厳しい刑罰を受ける。

人生で可能な限りの失敗のナンバーワンは、神の国の妨害である。

本人にとって、生まれてきた意味はまったくない。

永遠の地獄のもっとも熱い部分で毎日毎晩焼かれる運命だから。

最大の愚か者と言わねばならない。

538 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月27日(火) 午後8時22分

タイトル: 神に主権を明け渡せ

われわれは、自分には自由があると勘違いしている。

しかし、100m先のコンビニに行くことすらできない。

それくらい、われわれは自由ではない。

どういふことだろうか。

すべては、神の許可のもとに起きるのである。

「二羽の雀は一アサリオンで売っているでしょう。しかし、そんな雀の一羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることはありません」(マタイ 10・29)

雀が地に落ちることもすべて神の許可がある。

神の御手を通じてでなければ何事もこの世界では起きない。

だから、今、われわれの周りで起きている一つ一つのことは、偶然ではなく、神の御意志の表れなのだ。

日本地図を見てほしい。

これを普通の人は、「偶然にできた海岸線だ」と思うだろう。

しかし、聖書を学んだわれわれは、こう考える。

「これは、神の絵画だ」と。

偶然にできた境界線など一つもないのだから、この日本列島のフォルムはすべて神が決定されたのだ。

「海は主のもの。主がそれを造られた。陸地も主の御手が造られた」（詩編 95・5）

ちなみに、私は、日本列島の形が世界のいかなる大陸や諸島や半島の形よりも美しいと感じる。

万物は、主の管理下であり、それ自体で自律して動くことができるものは一つもない。

すべてに許可が必要である。

災害や犯罪ですら許可がなければ起きない。

偶像礼拝者は、「神はわれわれが作り出す者」という前提で生きている。

木や石を削って、自分の好ましいフォルムに作ろうとする。

だから、災害や犯罪が起きるときに、「神に絶望した！神なんていない！」とか叫ぶのである。

自分が主人公であり、神はその幸せのために利用するものと考えているから、絶望するのだ。

「俺の役に立たない神なんていない」と神を切り捨てる。

こういう人の人生は、自分を中心に周囲のものを振り回すエゴイストのそれである。

周りの人はいい迷惑である。

なぜ人々がカルヴァン主義を嫌うかという、カルヴァン主義は神の主権を強調するからである。

人間が神を振り回すのではなく、神が人間を振り回す権利を持っている、と唱えるからだ。

キリスト教が墮落していくと、必ずこの神の主権という教理が薄れていく。

そして、ヒューマニズムと変わらないものになっていく。

「自分で人生を切り開き、自己の夢を実現する」なんていう自己開発セミナーは、神のしもべであることを拒絶した墮落したアダムの夢を助長するので、悪魔的なのだ。

その類のすべての宗教は、全部悪魔の誘導である。

多額のお布施を取られて、何にも得られなかったというのがおちだ。

一番有益な生き方をしたいなら、偶像礼拝から離れることだ。

偶像は、われわれに自由を約束しつつ、理不尽な要求をする。

結局は、偶像についていったことを後悔する。

最初から、神に主権を明け渡せばいいのだ。

それが最終的にもっとも利益がでるだろう。

「それから、イエスは弟子たちに言われた。『だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい』」(マタイ 16・24)

539 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月27日(火) 午後10時01分

タイトル: ティーパーティー・パトリオットの創始者マーク・メックラー逮捕

Conservative Action Alerts によると、先週、ティーパーティー・パトリオットの創始者マーク・メックラーがニューヨーク市ラガーディア空港で銃所持の罪により逮捕され、現在 15 年の懲役刑に直面している。

しかし、彼は、隠して銃を携帯する許可証を持っていた。

多くの銃賛成論者によると、彼はおそらくオバマ政権によって「選ばれた」のだろう。ティーパーティー・パトリオットは、ティーパーティーの中で最大の組織である。

彼は、警察にピストルの許可証を見せ、カリフォルニアで登録済みだと説明した。

銃弾を抜き、「輸送安全局」において保管してあり、チケットカウンターにおいて法律にのっとり、TSA が承認した方法にしたがって火器の所持を届け出たにもかかわらず、逮捕されたのだ。

理由は、カリフォルニアの許可証では、取締りの厳重なニューヨークにおいて非合法だと。

今年の 11 月 16 日に、下院は、隠して銃を保持する権利に関する法案 HR822 を通過させた。この法案の目的は、州政府が隠して銃を保持する権利を合衆国内の他のほとんどすべての州で認めさせるためのものである。

しかし、上院における通過はまだであった。

上院が通過させれば釈放されるだろうとのこと。

彼が釈放されれば、市民側の大きな勝利となり、逆になれば、大敗北になるだろう。

メックラーは、世間の関心を集め、市民の自由を拡大するために、身を張って賭けに出たのではないだろうか。

ぜひ上院が法案を通過するように祈っていただきたい。

540 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 28 日(水) 午前 8 時 19 分

タイトル: 現在進行中の陰謀を扱う際に証拠は不要

(1)

311 についてまだ人工地震であることが分からない人がいてびっくりした。

これだけしつこく根拠を提示しているので、いい加減理解してほしい。

3 月 10 日になぜ東日本ハウスの株が 4 割も上がったのか。

ミサワホームの株価がなぜ 2 月から上昇に転じたのか。

前にも述べたが現在進行中の陰謀を扱っている場合に「証拠を出せ！」といっても無理。

そして、証明という緻密な作業に時間を使うと、その間に事件が経過してしまい、本質的な部分を扱うことができなくなる。

「証拠」じゃなくて「根拠」でいい。

次の根拠を読んで、ピンと来ない人は、裏事情に関心がない人だから私のメールを読む必要はないでしょう。

事件が終わったあとで、緻密な証明作業の後にじっくり結論出してください。

私は、その前に事態の全体像をつかみたいから根拠だけでけっこう。

(2)

911 のときも 311 の原発事故のときも、なぜ警備会社がイスラエルなのか。

2001 年 9 月 11 日に、ダレス、ローガン、ニューアーク空港の警備を担当していたのは、ICTS インターナショナルというイスラエル人の企業だった。

http://en.wikipedia.org/wiki/ICTS_International

311 の原発事故の場合、原発の警備会社は、マグナ BSP というイスラエルの企業。東電社員 2 人が事前にイスラエルに研修を受けた。その 2 人が行方不明になったとマグナの社長。

なぜ両方ともイスラエルが？

911 に関しては、イスラエルが首謀者であることを示唆する非常に具体的な証言がある。

New York Times によると、5 人のグループが、911 の攻撃の「前に」ツインタワーに向けてビデオ・カメラを設置していた。事件後、互いに祝福し合っているのを目撃される。

警察がニュージャージーの住民から怒りの電話を数回受ける。電話の主は怒った調子で、「白いバンに乗った中東の人々が、歓喜とあざけりの声を上げながら、911 の悲劇をビデオに録画していた」と言った。

後に、このバンは警察に止められて職務質問されている。

バンの運転手シヴァン・クルツベルグは警察官に「われわれはイスラエル人だ」と述べた。

FBI が彼らが撮った写真を現像したところ、煙を上げる廃墟の前で、明らかに勝利を祝うかのようなしぐさでシヴァンがタバコのライターで火をつけようとしているのが写っていた。

<http://whatreallyhappened.com/WRHARTICLES/fiveisraelis.html>

カンのいい人は、この情報でだいたい察しがつくはずだ。

911 の首謀者がイスラエル人であると。

となると、311 のほうもそうじゃないかと考えるのが筋だろう。

この線で情報を集めるならば、おのずと全体像は明らかになるだろう。

そうやって、点と線をつなげて面にし、最後に立体にする。

その前で、証拠うんぬん騒いでいたら、何もつかめなくなる。

541 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 28 日(水) 午後 2 時 32 分

タイトル: シオニストの狙い

シオニストは悪魔である。ネタニヤフ前首相が、911 事件はイスラエルにとって有益だったと述べた。

=====

ハアレッツ・サービスとロイター（2008 年 4 月 16 日）の報道によると、

ネタニヤフは「9/11 のテロ攻撃はイスラエルにとって有益だった」と言った。

イスラエルの新聞 Ma'ariv は、ネタニヤフが「911 事件はアメリカの世論を揺り動かした。攻撃は、イスラエルにとって有益であった」と述べたと伝えた。

リクードのリーダー・ベンヤミン・ネタニヤフは聴衆に向かって「2001 年 9 月 11 日のテロ攻撃はイスラエルにとって有益であった」とバー・イラン大学で語った。

Ma'ariv は、前首相の発言を引用した。「われわれは 1 つの事件、すなわち、ツインタワーと国防総省への攻撃を通じて利益を得た。その利益とは、アメリカのイラクでの戦闘である」。

さらに前首相は、こう付け加えた。「アメリカの世論は、われわれの側に傾いた」と。

<http://www.haaretz.com/news/report-netanyahu-says-9-11-terror-attacks-good-for-israel-1.244044>

=====

数千人の人が亡くなった事件によって利益を得たと一国の前首相がヌケヌケと語る異常さ。

しかも、イスラエルのモサドが CIA と共同で計画・実行したとの疑いは、彼の悪魔性をますます際立たせている。

このような悪魔性はどこから来るかという、ある人は聖書だというのが、まったく違う。

イスラエル国の大イスラエル主義は、聖書とは無縁の思想である。

大イスラエル主義は、イスラエルの領土を、神がアブラハムに約束された土地（ナイル河

からユーフラテス河まで)まで拡大すべきであると唱える。

しかし、聖書は、大イスラエル主義を含むアブラハム契約がすでにイエス・キリストにおいて成就したと教えている。

イエス・キリストは、「私は律法と預言者を成就するために来た」と言われた。

「律法と預言者」とは旧約聖書のことを意味する。

イエス・キリストは、旧約聖書を成就するために来られた。

そして、十字架上で「完了した」と言われ、息を引き取った。

それゆえ、イエス・キリストは、旧約聖書を成就されたことがわかる。

アブラハム契約は旧約聖書に含まれるので、イエス・キリストは、アブラハム契約をも成就したことになる。

アブラハム契約の領土はイエス・キリストによってすでに獲得された。

イエス・キリストは、「天地における一切の権威がわたしに与えられた」と宣言された。

つまり、世界の王であると言われた。

そのため、世界の領土はすべてキリストのものとなった。

だから、大イスラエルは成就したのである。

未来においてアブラハム契約は成就すると述べるイスラエルの大イスラエル主義は、イエスを失敗者とするのである。

彼らはイエスをメシア（キリスト＝救世主）とは信じていない。

イスラエルの主要思想であるサバタイ・フランキスト派ユダヤ教は、メシアを「ユダヤ人自身」と考えている。

つまり、世界を救う救世主はユダヤ人そのものであって、ある特定の人物ではないという。

イエスが成就していないアブラハム契約を、彼らユダヤ人が力づくで成就するというのがロスチャイルドの計画である。

だから、アメリカの軍事力が必要なのだ。

アメリカ人は、このカルト宗教の妄想のためにイラクに軍隊を派遣し、100万人の市民を殺し、みずからも戦場でPTSDを負って苦しんでいる。

いいかげん、目を覚ますべきだ。

542 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月28日(水) 午後9時57分

タイトル: 永遠の世界で億万長者になろう

ゲームで、画面上の点を追って太鼓などをたたくと点になるというものがある。

正確にたたくことができれば点はそれだけ入る。不正確だと点は低い。

http://www.youtube.com/watch?v=ExbDprH3y_A&feature=related

ダンスなどでもそういうゲームがあるみたいだ。

ステップのところが光ってそれにどれだけ正確にステップを踏めるかを競うのだ。

人生はこれと同じで、画面上に流れてくる点は、神の御心である。

われわれの人生がどれだけ勝利したかは、この流れてくる点のように次々やってくる神の御心にどれだけピンポイントでヒットするかにかかってくる。

神の御心を行えばポイントになるが、そうでなければポイントにならない。

どんなに一所懸命どんどん叩いても、御心の点をたたかないと無駄になる。

一生を統一協会の布教のために使って、驚くほどの人数を獲得しても、人生でたまったポイントはゼロである。

一生をディスペンセーションナリズムの伝道にを使って、数千人の信者を持つ教会を作ったとしても、その牧師のポイントはゼロである。

教えが間違っていれば、努力はすべて水泡に帰す。

いや、マイナスのポイントとして加算され、地獄に行って刑罰がますます厳しくなる。

ロックフェラーのように、この世界を地獄に変えるために人生を使った人は、死後清算する際に、獲得ポイントはマイナスである。

どれだけ人を苦しめたかによってマイナスポイントの大きさは変わる。

神はわれわれの獲得ポイントを全部把握しておられる。

われわれは、聖書啓示というガイドラインを与えられている。

われわれが、高得点で人生を終えるためには次のことをしなければならない。

1. このガイドラインを受け入れる。

つまり、聖書を神の無誤無謬の啓示として受け入れる。

2. このガイドラインをできるだけ調べる。

聖書の内容を知らなければどこがポイントかわからない。

3. ポイントをつかんでそこをたたく。

何が神の御心かを把握し、それを行う。

私は、聖書的でないもののために時間を使うことを極力排除したい。

それは、全部時間とエネルギーの無駄であり、人生のポイントに加算されないから。

問題は、この世ではなく、永遠の世なのだ。

そこでどのような報いを受けられるか。

この世で億万長者になっても、死んで地獄に行ったら何もならない。

この世でスーパーチャーチの牧師でも、死んで無一文になったら何にもならない。

御心を行ってポイントを稼ぎ、永遠の世界で億万長者になろう。

543 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月29日(木) 午前4時07分

タイトル: 霊的に勝利するための条件

高校時代に、倫理社会の教師が赤だった。

マルクス主義ばかり教えた。

天皇のことを「テンちゃん」と馬鹿にしていた。

彼は、「霊なんて、木か何かを見間違えたただけだ」と言っていた。

だいたい近代合理主義思想を身に着けると、こういうトンデモない認識になる。

近代の合理主義における「合理化」は、「人間の認識の及ばない部分については認識の及ぶものとして解釈してしまう」という意味である。

つまり、足の長さにあわせてベッドを作るのではなく、ベッドに合わせて足を切るようなものだ。

神が創造された世界を、人間の都合や快樂にあわせて作り変えていくこと、これが、合理化である。

だから、悪霊とか死後の世界などは、「そんなものは存在しない」と切り捨てるのである。

「分かりません」といえばいいのに、「そんなものはない」と僭越なことを言うのである。

絶対に開けることができない部屋があるとする。

そこに椅子があるかないかは、調べる手立てがない。

不可知論者は、「中に何があるか調べる手立てはないので、分かりません」という。

クリスチャンは、「神はその中のことについても全知ですから、聖書によって知ることができる」という。

カント主義者は、「中のことは調べる手立てがないが、椅子はないということにする。われわれにはそう解釈する証明されていない権利がある」という。(*)

キリスト教の時代の教育では、「神が解釈された世界」が教えられた。

カント以降の時代の教育では、「人間が解釈した世界」が教えられた。

キリスト教の時代の絵画と現代抽象絵画の展覧会ではどちらに客が入るだろうか。

圧倒的にキリスト教の時代の絵画のそれだ。

無理がないから。自然だから。

残念なことに、現代のキリスト教は、カント主義の影響を受けて、霊とか神癒などをカント流に「自己満足的に解釈」し、聖書に基づいて解釈しない傾向がある。

「科学が扱うことのできない領域」のことを話題にすることが、タブーになっている。

聖霊派ではそうではないが、福音派や改革主義では、悪霊とか神癒、預言を強調するような牧師は追い出されることがある。

悪霊の働きによって苦しんでいる人を精神病と判断し、薬で解決しようとしている。

全部、「聖書信仰」から離れた結果起こった現象である。

クリスチャンは、聖書を基準として考えなければならない。

イエスは、弟子たちを何のために召されたのか。

「そこでイエスは十二弟子を任命された。それは、彼らを身近に置き、また彼らを遣わして福音を宣べさせ、悪霊を追い出す権威を持たせるためであった。」(マルコ 3・14-15)

「福音を宣べさせ、悪霊を追い出す権威を持たせるため」である。

今の教会では、前者は強調するが、後者は強調しない。

だから、やたらと悪霊の問題で苦しむ人々が増えているのだ。

われわれクリスチャンは、悪霊よりも高い権威を持っている。

信仰によってイエスにがっちりつながれば、悪霊に対して絶対的に勝利できる。

まず世俗思想から聖められなさい。

そして、聖書に基づいて権威を身につけなさい。

これが霊的に勝利するための条件だ。

(*)

本来、科学的手法では、神の存在や死後の世界の存在などは、証明する方法がないため、全部「わかりません」というべきなのだ。

しかし、「人間だけで成立する世界」を理想としたカントはあらゆるものを「人間が勝手に解釈したものを真実としよう」と唱えた。

すなわち、「神？人間に役立つ限りにおいて認めよう。つまり、人間にとって有益な限りにおいて、神を神と認めよう」と考えるようになった。

これは、人間が創造主になったことを意味する。

それ以降、カントの世界観を表現する画家が抽象画を発達させた。

「自分が考えた世界」を客観的な世界よりも優先するようになった。

だから、他の人に理解できないものになってしまった。

人間は自己満足で生きてよいのだ、という思想がはびこった。

ヘーゲル主義がカント主義を引き継ぎ、近代の人間の世界観が体系化された。この体系にしたがって、学問の塗り替えが行われたが、実証主義からの反動があった。

「観念が事実よりも優先されるのはよくない」と。

ヘーゲル主義から、マルクス主義が生まれた。

マルクスは「科学的社会主義」と自分の思想を呼んだが、「科学的」でもなんでもなかった。

自分が作り上げた勝手な歴史観を、現実は無理やりあてはめようとするものだった。

原始共産主義から共産主義に向かって、歴史は進化していると。

カント以降は、「人間が自分勝手な信念に基づいて神が創造された世界を解釈しなおした」時代である。

われわれが受けた教育では、カント・ヘーゲル主義という「カルト宗教」を基本土台として成立する「人間が勝手に作り上げた世界」が教えられた。

544 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月29日(木) 午前6時08分

タイトル: 小ブッシュ前大統領が国内軟禁

Michael Carmichaelによると、最近、小ブッシュ前大統領が、国内に軟禁されたという。

=====

前大統領である小ブッシュが、米国国外に出られないように法的手段によって拘束された。ブッシュが外国に出ようとすれば、拷問に関するジュネーブ条約に対する違反によってすぐに訴追されることになる。

最近、きわめて短時間のカナダ訪問の間であるが、逮捕の危機に直面したため、スイスへの旅行をキャンセルせざるをえなかった。

<http://www.informationclearinghouse.info/article30091.htm>

=====

スイスへの旅行とは、ビルダーバーグ会議であろう。

やはり、ロックフェラー、キッシンジャー、ブッシュに対するロスチャイルドによる「手打ち」は本当だったようだ。

ブッシュについては、もう二度と国外に出ることはできないだろう。

やはり、裏の世界において、大きな権力のシフトがあったと考えるべきだろう。

545 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月29日(木) 午後9時01分

タイトル: 犯罪には程度に応じて正しく報いるしかない

=====

山下さん「黙って殺されろと言われたのと同じ」

読売新聞 12月27日(火)22時24分配信

長崎県西海市の山下誠さん(58)方で母の久江さん(77)と妻の美都子さん(56)が殺害された事件で、山下さんが27日、心境などをつづった文書を報道機関に寄せた。

殺人容疑などで逮捕された筒井郷太容疑者(27)(三重県桑名市霞町1)が三女に繰り返していた暴力について、千葉県警から被害届の提出を「1週間待つてほしい」と言われたことなどを明かした。事件はその10日後に発生。山下さんは「この国で、だれが筒井

容疑者のような危険人物から命を守ってくれるのか、今も分からずにいる」と不信感をあらわにした。

山下さんは、報道各社が弁護士を通じて提出した質問書に文書で回答した。

それによると、千葉県に住んでいた三女のマンションに筒井容疑者が押しかけ、壁をたたくような音がするとして、隣人から不動産業者に苦情が寄せられていた。三女と連絡が取れなかったため、同県警習志野署に通報。三女の勤務先の上司らは10月30日、署員とともにマンションの部屋に入った。その場にいた筒井容疑者は任意同行され、「三女には、もう近づきません」との誓約書を書いた。

しかし、山下さんが西海市の自宅に三女を連れ帰ると、筒井容疑者は三女の友人や職場の同僚に「三女の居場所を教えなければ殺す」と脅迫するメールを送るようになった。山下さんは筒井容疑者の両親に携帯電話やパソコンなどを取り上げるよう依頼し、三重県警桑名署にも筒井容疑者の実家を巡回するよう求めた。三女は今月初旬、習志野署に「(傷害事件について)被害申告したい」と電話。同署は「いつでもいい」と回答し、三女と山下さんは6日に訪れたが、同署は「1週間待ってほしい」と告げた。2人が三女宅で待機していると、筒井容疑者が訪ねてきたり、周辺を徘徊(はいかい)したりしていたという。

山下さんは「私が筒井容疑者を捕まえるしかなかったのかと思う。警察からは(筒井容疑者に)『手を出すな』と言われたが、『黙って殺されろ』と言われたのと同じ」と主張。筒井容疑者を死刑にするよう求め、「今の法律では一般市民の生命を守ってくれない」と法整備を訴えた。

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20111227-00001182-yom-soci>

====

警察は、無数の案件を扱っているので、予防まではしてくれない。

ガードマンを雇うしかない。

しかし、市民にはそんなお金はない。

となれば、市民を守るには、こういうストーカー殺人に対して厳罰で報いるしかない。

殺人に対しては、死刑を適用すべきだ。

もし死刑を適用しないならば、遵法的市民よりも犯罪者のほうがリスクが低いということになり、結果的に犯罪を助長することになる。

犯罪防止のための最大の方策は、「いのちにはいのち」である。

神が定めた原則を守れ。

もし司法が死刑にしないのであれば、市民は、自分を守るために武器の携行を許可すべきだ。

武器の携行を許可せず、殺人者を処刑しなければ、市民に「殺されてください」と言っているようなもの。

こんな対応ならば、市民は自己防衛のためにやくざを雇って、ストーカーをびびらせるしなくなる。

昔武士階級が台頭したのと同じ状況になる。貴族が自分の財産を守るために用心棒を雇ったのが武士のはじまりだった。

用心棒の力が強くなれば、日本は再び内乱になる。善人が戦争に巻き込まれる。

司法がきちんとした刑罰を科さなければ、秩序が崩壊して、結局、理不尽な刑罰を科す以外にはなくなってしまうのだ。

社民党の福島のような「死刑反対」なんていう近視眼の対応ではだめ。

長期的に見てほしい。

犯罪には、程度に応じて正しく報いるしかない。

これを回避しても、ツケはいずれ回る。

546 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月29日(木) 午後9時22分

タイトル: 聖書を捨てることは自殺です

靈的な世界は、この地上世界の根底にあります。

そして、靈的世界の法則が、地上世界を支配しています。

この法則について知識があるのとないのでは大きな違いがあります。

クリスチャンになると、知性がするどくなって、ものを見通すことができるようになります。

それは、土地の開墾と同じです。

開墾された土地は、そうでない土地よりも生産的です。

聖書の世界に触れることによって、土地が開墾され、簡単に生産できるようになります。

ユダヤ人は 4000 年に渡って靈的な世界の知識をつけてきたので、異邦人とは比較にならない知恵があります。

異邦人に福音が入り、聖書が渡ったのですが、残念ながら、律法を拒否しました。

実は、律法にこそ、繁栄の秘訣があります。

キリスト教が入ったヨーロッパは、律法の衛生規定を捨てたので、衛生観念が発達せず、ペストによって人口の大半が失われました。

その疫病の間、ユダヤ人は衛生律法があるためペストにかからなかった。

そのため、ユダヤ人がペストをまき散らしたとの嫌疑がかけられ、虐殺されたということがありました。

再建主義を通じて、律法が回復されました。

神の知恵が豊かにつまんでいる律法を研究することができるようになった。

これは、驚くべき画期的な発展と言わねばなりません。

異邦人が己の知恵に頼って生きていくかぎり、知恵のあるユダヤ人に富をすべて盗まれるでしょう。

株式市場などは、ユダヤ人による異邦人の富の刈り取り場になっている。

聖書を捨てることは自殺です。

547 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 30 日(金) 午前 7 時 09 分

タイトル: 偶像礼拝を見逃す教会

昔、教会の家庭集会を担当し、月に 1 度ある家庭を訪問し、メッセージをしていた。

10 名ほどのご婦人がたが集まる集会だった。

そのうちの一人の教会員の言葉を聞いてびっくりした。

「私は、今でも仏様を拝んでいます」と。

それで、主任牧師に報告した。

すると、「それは困ったものですね」みたいなあいまいな返事しか返ってこなかった。

聖書では、クリスチャン（ノンクリスチャンではない）と呼ばれる人で、偶像を拝む人と付き合いはならないとある。

もちろん、「弱さから拝んでしまう」場合は別である。悔い改めて立ち返るのを待つべきだ。

しかし、堂々と正面から「偶像を拝みます」というようなクリスチャンについては、教会の長老は、除名しなければならない。

その人は、キリストの御体を汚し、病気にしている。

「…もし、兄弟と呼ばれる者で、しかも不品行な者、貪欲な者、偶像を礼拝する者、人をそしめる者、酒に酔う者、略奪する者がいたなら、そのような者とはつきあってはいけない、いっしょに食事をしてはいけない、ということです。」(1 コリント 5・11)

罪を見逃す教会は、病気の教会である。

寛容と放縦を混同している。

548 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 30 日(金) 午前 8 時 31 分

タイトル: 今年一年の感謝と来年の祝福を祈願します

初めて海外に行ったのが、1982 年、24 歳のときであった。会社の研修生としてソ連に派遣された。

ソ連は、普通の資本主義国とまったく違った。何から何まで新鮮だった。

夜になるとほとんど真っ暗になった。ネオンはほとんどない。街路も明かりは暗かった。

庶民の服装も、浅黒く、全体的にもものすごく貧乏に見えた。

街並みはヨーロッパだったが、外界との接触がないため、ロシア人は商売つけがなく、それだけ純朴に見えた。

http://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/0/00/Spb_Chapygina_street_main.jpg

海外に出てみて、はじめて、外の世界を知ることの大切さを学んだ。

帰国して翌年、休暇を利用してアメリカ旅行をした。ソ連と対極にある資本主義国を生で見なかったからだ。

資本主義という点からすると、日本ほど徹底していない印象だった。日本は、つり革から壁からすべて広告で埋め尽くされている。

ソ連は、広告などまったくなかった。あるとすれば、「労働者に栄光あれ！」みたいなスローガンであった。

旅行というと、贅沢のように見られてしまって困るのだが、私にとっては、勉強である。

本やTVで見るのと、自分の目で現地に行って確認するのではまったく違う。

1986年にアメリカに2か月滞在した経験は衝撃的だった。

アメリカの学生クリスチャンの中で生活した。まず体の大きいこと。そして、日本の学生と比較して、とても大人だと思った。

ただ、それは外面的で、内面はやはり18、19の子供であった。大人として見せることはうまいと感じた。

考えていることは、日本の学生と同じ。深くものを考える人はあまりいなかった。

それまで出会ったすべてのアメリカ人と同じく、浅薄であった。

そもそも、アメリカ人には期待しておらず、教会のメッセージも思ったとおり、表面的で深みのあるものはなかった。

だから、帰国してから、滞米中にある長老教会で購入したR・J・ラッシュドゥーニーの著作を読んで本当にびっくりした。アメリカにも、このように物を深く考えている人がいるということに驚いた。

自分の持っていた問題意識とびたっと一致した。これほど自分の考えと同じ人がいるとは驚きであった。

日本において同じ問題意識を持つ牧師にはあったことがなかった。だから、自分を理解してくれるには、相当な時間がかかると思っていた。

実際、あれから25年経つが、いまだに同じ問題意識を持つ牧師は数えるほどしかいない。

ほぼ一人で開始した働きだったが、1990年に川口氏と出会い、賛同者を得た。川口氏には、

車を貸してくれたり、いろいろお世話になった。ともに礼拝や祈祷会をしたり、相談にも乗っていただいている。

その後、インターネットを使った伝道で徐々に支援者が集まりはじめた。

新潟の弁護士 T 先生には、99 年頃ニフティで出会ってからずっとご支援いただき、また、法律に関してご教授いただき、大変お世話になっている。

今や全国の主に忠実な兄弟姉妹のご助力とお祈りに支えられ、主の恵みのうちにこれまで活動してこられましたことを心から感謝いたします。

1年に1回あるかないかの調査旅行と帰省以外は、本当にぎりぎりのところで生活しており、主に忠実な兄弟姉妹に助けられて伝道活動をしております。

第三至福千年紀を開始するために神が特別に用意してくださった働きであると考えておりますが、まだまだ世の中はこの働きの歴史的な意味について気づいておりません。

今年一年の感謝とともに、来年も、ミレニアム通信会員及び読者の方々に主の豊かな祝福と恵みがありますように祈願いたします。

在 主

549 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 12 月 31 日(土) 午前 1 時 27 分

タイトル: 私的解釈から離れることが第一だ

歴史上、黙示録の解釈はあまたあったが、パーシャルプレテリズムに立った解釈は、デイビッド・チルトンの *Days of Vengeance* (Dominion Press) だけである。

パーシャルプレテリズムとは、黙示録のほとんどが紀元 70 年に成就したという立場である。

この立場の根拠は、ヨハネ黙示録が手紙であったということにある。

ヨハネは、その最初に、

「ヨハネから、アジアにある七つの教会へ。常にいまし、昔いまし、後に来られる方から、また、その御座の前におられる七つの御霊から…
その声はこう言った。『あなたの見ることを巻き物にするして、七つの教会、すなわち、エペソ、スミルナ、ペルガモ、テアテラ、サルデス、フィラデルフィヤ、ラオデキヤに送ринаさい。』」(1・4、7)

とある。

つまり、ヨハネの黙示録の目的は、紀元一世紀のエペソ、スミルナ、ペルガモ、テアテラ、サルデス、フィラデルフィヤ、ラオデキヤの教会のクリスチャンに対するメッセージであった。

だから、彼らが理解できないようなことは、この手紙には記されているはずがない。

もし、黙示録が、世の様々な預言解釈者が言うように、2011年に生きている現代人にとって未来の預言であるならば、そのほとんどが当時のクリスチャンにとってチンプンカンプンのことになる。

つまり、そのほとんどが読者にとってあまり意味のないことが書いてある手紙を、身の危険を犯して伝道者は届けたということになる。

これはナンセンスだ。

この手紙は、明らかに当時のクリスチャンに向けて書かれている。

しかしある人はこういうかもしれない。

「見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。」(黙示録 1・7)

これは、再臨のキリストを世界中の人が見るということではないか、だから、世界の人々に向けて記されている、と。

ここで「地上のすべての諸族 (pasai ai fulai)」の諸族と訳されている fulai という言葉は「イスラエルの 12 氏族を表す」。

聖書で 31 回出てくるが、そのほとんどがイスラエルの 12 部族の回復に関し、使徒、教父時代以降でも、イスラエルの 12 部族を示す言葉として使用されている (Kittel ed., Theological Dictionary of NT, Eerdman, vol. IX, p249-250)。

反プレテリストは、「地の諸族」はもっと広い意味でしばしば使用されている、というが、文脈を考えてほしい。

「アジアにある七つの教会へ」「すぐに起こるはずの事を…示すため」(1・1) に送られた手紙において、どうして 2000 年後の世界のクリスチャンのための話をえんえんとするのか。

明らかに時間と地域を限定されている手紙を、読者を限りなく拡大する根拠はどこにあるのか。

そもそも「すぐに起こる」と強調されながら、それが、実際は 2000 年間起こらなかったとしたら、「ヨハネの預言は外れた」ということにならないか。

黙示録は、あくまでも契約的書物である。

「イスラエルは、アブラハム・モーセ・ダビデ契約を通じて、キリスト契約の中にいた。つまり、今で言えば、クリスチャンだった。その契約の民となった人々が、あまりにも神の御心から外れた状態になってしまい、ついには、約束のメシアすらも殺してしまった。その契約の民に対する刑罰が近づいている」という時代背景の中で記された手紙である。

この紀元一世紀における切迫した状況の中で、どうして、2000 年後の漠然とした終末の話をしなければならないのだろうか。

ヨハネの関心は、イスラエルとローマに下る刑罰、そして、古い天地が滅んで、新天新地が現れるという点にあった。

つまり、当時の世界の人々は、ニュー・ワールド・オーダーの到来を待っていたのだ。

このニュー・ワールド・オーダーは、今イルミナティが期待しているようなものではなく、次のようなイエス・キリストの王国としてのニュー・ワールド・オーダーである。すなわち、

====

聖書の預言どおりに、イエスが来られて、「天地の一切の権威を与えられ」た。イエスは、復活され、永遠の命を得られ、その命を信じる人々すべてに付与された。

イエスにつく人々はみな永遠の命を持ち、死ぬことがなく、永遠に世界の王である。

それまで地上を支配していた悪魔の王国は徐々に狭められ、神の国が地上に拡大する。そして、ついには全世界が神の国によって覆われる。

====

このイエス・キリストのニュー・ワールド・オーダーの到来こそが、ヨハネ黙示録の執筆テーマであった。

反プレテリスト（つまり、未来派）の解釈では、黙示録における直接の読者（7つの教会）は無視される。

解釈の視点が現代人に置かれ、思い込みと読み込みが幅をきかせ、預言の私的解釈に陥る。

聖書の他の文書だけではなく、いかなる歴史的書物を読む場合の原則は、「直接の読者の視点に立つ」ということである。

源氏物語を現代人の視点から読んでも正しい解釈にはならない。

難解な箇所があれば、まず当時の人々の視点にたつて、当時の人々にとってそれがどういう意味を持っていたのかを調べるべきだ。

プレテリズム以外の読み方をしている今の教会は、現代人を騙そうとたくらむロスチャイルドの罠に見事にはまり、ディスペンセーションリズムを信じるようになった。

私的解釈から離れることが第一歩だ。

550 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月31日(土) 午前7時07分

タイトル: 善の勢力の勝利と悪魔勢力の壊滅を祈ろう

facebook を見て、友人つながりで写真を見ていると、私が昔所属していた教会の人々の写真があった。

当時赤ちゃんだった人が、今、親になっている。

月日の流れるのは早い。

世代を支配することがいかに重要かを痛感させられる。

子供に神中心の教育を授けて、神中心の訓練をし、大人になって社会の一線で活躍すれば、その社会は大きく変わる。

今、民主党のもとで昔学生運動をやっていた仙谷のような人間が政府の中枢に陣取るようになって、日本は共産主義により、土台の崩壊の危機にある。

レーニンが「私に一世代を与えよ。そうすれば世界を支配してみせる」という内容のことを言ったと記憶するが、そのとおりだ。

世代を支配することによって世界を支配することができる。

世代を支配するとは、教育を支配することだ。

10代においてどういう教育を受けたかによって一生が決定するといつて過言ではない。

10代にどのような音楽を聞いたかによって、その人の音楽の嗜好が決定するらしい。

それくら 10代における教育は重要だ。

ユーチューブを見ると、日本に憧れを抱く欧米の若者がビデオレターを載せている。

彼らは、小さいころに日本のアニメを見て育ったのである。

親日の人々がこれから社会の一線で活躍するようになる。

世界の政治の分野においても、日本はその恩恵を受けるようになると期待される。

一時期と比べると、中国人や韓国人による反日の書き込みは少なくなった。

日本の保守の人々による反論を目にするようになったのが大きいと思う。

一方的な教育を受けてきたが、日本人からの反論を目にして、考え方を変えたのかもしれない。

なにせ、彼らは、日本から莫大な援助があったことをまったく知らないのだ。政府が秘密にしてきたのである。

中国も韓国も、同じように日本からの支援によって生き延びてきたようなものだ。

さて、国内の左翼勢力も、インターネットによって、弱体化している。朝日も購読者の落ち込みがひどい。

日本人の目も開かれつつある。

日本の主婦が立ち上がって、慰安婦の外務省への抗議に対して反対デモを行った。

日本人は、これまでのようにただ中韓に支配された大手マスコミによる反日プロパガンダに騙されるままではないだろう。

インターネットの世界は、弱肉強食の世界である。

理不尽なプロパガンダは潰される。

意図的に捻じ曲げられた情報は排除される。

論理的に弱い意見は強い意見によって打ち負かされる。

キリスト教を 200 年間支配してきた、イルミナティの神学（リベラル神学、バルト神学、ディスペンセーションナリズム）は、みな滅びるだろう。

悲観主義の福音派の神学には未来はない。

土台のしっかりとした神学だけが生き残るだろう。

1996年、人類は、第7千年紀（キリスト以降第三千年紀）、つまり、安息の千年紀に入った。

真理と平和の時代を準備するためにわれわれが選ばれたのである。

アメリカでロン・ポールが勝利し、大統領になれば、この動きは加速化するだろう。

善の勢力の勝利と悪魔勢力の壊滅を祈ろう。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月31日(土) 午前7時43分

タイトル: 「地を従えよ」との命令は必ず成就する

ツイッターで、「神は孤独に耐えられなくなって人間を創造した」という書き込みがあった。

そんなこと聖書のどこにも書いていない。

聖書において神は自存のお方である。

つまり、自己完結している。

被造物をまったく必要としていない。

被造物の一切の支援も助言も何も必要がない。

神は絶対者であり、誰の影響も受けない。

すべては、ご自身の計画と意思によってのみ起こる。

だから、神の御計画は、絶対に成就する。

被造物の力や失敗によって影響を受けることはまったくない。

すべてはあらかじめ計画されている。

世界で起こるすべてのことは、あらかじめ決定されたことが実現しているだけである。

フィルムに収められた情報しか銀幕に映し出されないように。

自分が生まれてくることも永遠の昔に決定されたことである。

自分が誰と出会うか、その数も人も全部決定されている。

私がインターネットで伝道してクリスチャンになったある友人は、神を知らない前、子供のころに「いろいろな質問に答えてくれるこうこうこういう人が現れますように」と神に祈ったそうである。そのように祈ったことを最近思い出したそうである。

すべては神の計画どおりに進む。

だから、善が勝利し、悪が敗北するのはあらかじめ決定された現実なのだ。

われわれは、この地上を支配する運命である。なぜならば、われわれは天使すらも支配できるからである。

「私たちは御使いをもさばくべき者だ、ということ、知らないのですか。それならこの世のことは、言うまでもないではありませんか。」(1コリント 6・3)

ここで御使いとは、悪霊も含む。

われわれは悪霊をも「さばく」べき者である。

さばくとは、支配することである。

われわれは、悪霊をも支配できるのであるから、「世のこと」はなおさら支配できる。

この地上は、契約の民によって支配される。

それが最初から神の御計画なのだ。

「地を従えよ」との命令は必ず成就する。

552 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年12月31日(土) 午前9時59分

タイトル: 聖書は文脈から正しく読まなければならない

「右の頬をぶたれたら左の頬を向けなさい」というイエスの教えは、「権力への盲従」を勧めているという意見が多い。

「宗教は、民衆のコントロールのためにある」とか。

聖書を浅く読むとこうなる。

神は、エジプトの奴隷からイスラエルを解放された方である。

イスラエルが国を作った当初、王をおかず、民衆の自治にゆだねておられた。

王をほしがったのは、民衆のほうである。

これがどうして「コントロールのため」なのか？

聖書が権力者による著作であり、民衆の王に対する盲従を勧める書物であれば、王制を奨励するはずではないか。

聖書では、税率は10%に抑えられている。

10%以上取る体制は、奴隷制であると述べている。

「王は、…あなたがたの羊の群れの十分の一を取り、あなたがたは王の奴隷となる。」(1サムエル8・17)

「右の頬…」の箇所は、文脈を見なければならない。

イエスは、この教えを「悪者に手向かってはならない」という教えのもとで述べられた。

そして、「1 ミリオン行けと命令されたら 2 ミリオン行きなさい」という戒めも追加された。

「右の頬」を打ったり、「1 ミリオン行け」と命令したのはローマ人である。ローマ人は、属州の人に屈辱的なことをし、物の運送を手伝わせたりする権限を持っていた。

これは、諸国の頭として神に選ばれたイスラエル人にとって屈辱であった。

そのため、抵抗運動や革命運動がさかんであった。弟子のひとり熱心党员シモンはそのような革命グループのメンバーだった。

しかし、イエスはそのような革命運動を否定された。

なぜならば、イスラエルがこのような屈辱的な状態になった本当の原因は、律法違反にあったからだ。

申命記に「もし神の法を破るならば、あなたがたは、他の民族に支配されるだろう」と警告されていた。

「もし、あなたが、あなたの神、主の御声に聞き従わず、私が、きょう、命じる主のすべての命令とおきてとを守り行なわないなら、次のすべてののろいがあなたに臨み、あなたはのろわれる。…主は、遠く地の果てから、わしが飛びかかるように、一つの国民にあなたを襲わせる。その話すことばがあなたにはわからない国民である。」(申命記 28・15、49)

真の解決は、主の御声に聞き従うことである。

反逆したままで、軍事力でローマに対抗しようとするのは、邪道である。

「右の頬…」の戒めは、権力への盲従の勧めではない。

今のみじめな状態の原因は、軍事力不足などではない、契約違反だということを強調して示すために、「むしろ屈辱を受け入れなさい」と言われたのだ。

神の民となったら、契約違反は重大な問題を生じることになる。

この世界は正義の神によって支配されているので、不義は、自分をみじめな状態にする。

聖書は文脈から正しく読まなければならない。

553 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月1日(日) 午前11時18分

タイトル: 日本が黄金の国ジパングとして輝く一年であることを祈る

板垣氏のニュースレターによると、向こう 5 年間にわたって米英仏中が日本に頼ろうとしているという。それは、天皇家に合計 500 京円の金塊が存在するからであり、それを担保にして融資を受ける計画らしい。

米国経済の再建に用いられるだけではなく、欧州の復興のために使われるという。

GHQ は、日本占領と同時に日本銀行の金庫のなかの金塊を押さえたが、イルミナティ 13 家と別格の天皇家の金塊には手をつけなかった。国際連合において、米英仏中による王室や皇室の財産の強奪が禁じられていたのも幸いした。

日本は、国債 1000 兆円の借金大国で国家財政が破たん寸前にあるといわれているが、これは嘘という説もある。亀井静香氏が示したとおり、財務省には潤沢なる資金があり、増税は不要。ただ、財務省にはもっと奥の深い計画があるそうである。

2012 年、マヤの預言によると、今年の年末に人類滅亡らしいが、こういうのは、洗脳のテクニクである。

占いを信じると、占いの奴隷になる。滅亡予言を信じると滅亡予言の奴隷になる。

たしかに激変があるかもしれないが、しかし、歴史は不可逆的に神の国の拡大のほうに向かって進展する。

これが聖書において示された神の御心である。

今年は、日本人が日本がどういう国であるかを自覚するようになってほしい。古来、日本列島は天国、黄金の国ジパングとして認識されてきた。

ユダヤ・中韓の陰謀が粉碎され、世界において日本が孤高の存在として立ち上がり、輝くことを祈願する。

554 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 1 日(日) 午後 0 時 39 分

タイトル: 世界を善人がリードする時代になってほしい

昨年の赤ちゃん、戦後最少=105 万人、人口減 20 万人超一厚労省

とか

日本の借金 1000 兆円

とか

相変わらずマスコミは騒いでいる

しかし、国債の 9 割以上が国内所有なら、何を大騒ぎして国民をうろたえさせ、余計に景気を冷え込ませるのか

子供を産めない、産んでも育てられない国にしたのは誰だ

所得税を上げて「働けば働くほど/生産性が高いほど」搾り取られるなら、誰も働かなくなり、技術も学問もレベルが下がるだけだ

消費税を上げれば市場が冷え込むだけだ

小学生でもわかるぞ、こんなこと

日本のマスコミは、中韓によって毒されており、日本の国力が低下することを目論んでいます。

インターネットを通じて、このマスコミの陰謀を暴き、われわれが独自に正しい日本の姿を示していく必要があります。

日本には、有り余る財宝がある。

この現物を背景とした円がこれからどんどん強くなるのは確実である。だから、基軸通貨として世界が円を採用する可能性は高まると思います。

基軸通貨になれば、どんなに札を刷ってもインフレになりにくい。

このまま日銀が不換紙幣を刷り続けるならば、世界の富は日本に集まってきます。

なぜならば、基軸通貨になれば、世界中が日本円という「紙切れ」をほしがるから。

1万円と書いた紙切れが、1万円値の実物と交換される。

こんなボロい金儲けはありません。

ですから、基軸通貨になった場合は、不換紙幣は有益です。

ただ、私はクリスチャンとして、不換紙幣には反対です。

板垣英憲氏の情報が正しいとすれば、

天皇家の 500 京円の金塊は、日本が世界の中心であることの証明であり、日本が世界をリードすべき責任を神に与えられているということを示しています。

なにせロスチャイルドの資産の何十倍ですから。

悪魔崇拝者のロスチャイルドから権力が日本の天皇家に移り、世界を善人がリードする時代になってほしいと思います。

555 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月1日(日) 午後9時18分

タイトル: 復活後の生活レベルを上げるために現世を重視せよ

「信じたとおりになると思え」とあるので、大学受験の際に、ある大学に絶対に合格する

と信じて受験したが、失敗した。

信仰とは、すべての自分の計画や命などが保証されることを信じるものではない。

「あくまでも神の御心ならば」という但し書きがつく。

実際、別の大学に合格して、そこに入ったことが自分にとって最善だった。

入学当初はがっかりした。大学の施設が「文部省はこの大学のことをぞんざいに扱っている」ということを如実に示していたからだ。

幸い、学長が力のある人で、その後、図書館などが整備されるようになってましになったが、昔の国立一期校と二期校の差別は歴然としていた。

私にとって有益だったのは、クリスチャンの友人である。いろいろと教えていただいた。サークルの中で読んだヘンリー・シーセンの「組織神学」が、自分の特性が神学にあることをはっきりと示してくれた。

学祭で、聖書に関する展示と伝道を行った。

当時私はプレ・ミレ、ディスペンセーションナリスト半分、カルヴァン主義者半分であった。プレ・ミレについては相当研究したので、いま、ディスペンセーションナリストが何を考えているかよくわかる。

クラブでは、次々と入学生がクリスチャンになり、リバイバル（カリスマ的なものではない）の様相を呈していた。

長い目で見ると、自分は正しい道に導かれたとわかる。

それゆえ言えるのは、祈りがそのまま実現する場合もあれば、ない場合もあるということだ。

われわれは、神の僕であるから、最終的に神の主権のもとに「導かれる」。御心ならば実現するし、御心でなければ実現しない。

それで自分の願いが実現しないとがっかりするのは、まだ心の王座に「自我」が座ってい

るからだ。

昨年は、本当に体力が弱って、先が長くないと思うほどだった。年末になって徐々に回復したが。

私にとって、この肉体が減んでも、即座に永遠のからだを与えられると信じているのでいわゆる「死」というものは、それほど重要な問題ではない。

家族の誰かが亡くなったとしても、それが永遠の別れだとも思っていない。永遠の世界で再会できるからだ。パウロは、テサロニケの人々にそのように考えるべきだと諭している。

だからといって、この地上の生活を軽んじていいというわけでもない。バランスである。

イエスは、抜け目のない管理人のたとえで、「不正の富で永遠の友を作れ」と言われた。

「不正の富」とは強調表現で、「現世の富」という意味である。

現世の富で、来世の準備をせよ、ということ。

「他人のものに忠実でない人は、どうして自分のものに忠実になれるでしょうか」と。

現世の富は「神のもの」である。一時的に任されているもの。

来世の富は「自分のもの」、永遠に所有できるものである。

現世において、神から任されたものを管理できなければ、来世において自分のものも管理できないと判断される。

だから、「現世だけが重要だ」というノンクリスチャンの考え方は間違いであるが、反面、「来世が重要だから、現世を軽んじていい」という考え方も間違い。

聖書における「信仰」とは、「現世を来世への試験期間と見る」ことである。

ある人々は、「さらにすぐれたよみがえりを得るために、釈放されることを願わないで拷問を受けました」(ヘブル 11・35)。

つまり、復活後の生活レベルを上げるために、踏絵を踏んで神を否定して釈放されるよりは、拷問を受けるほうを選んだということである。

ディスペンセーションナリズムに毒された今日のキリスト教界は、再臨を強調するあまりに、現世にどのように働きかけるかについて疎い。

本当のクリスチャンは、復活後の生活レベルを上げるために現世を重視する。

自分に与えられた才能や財力、能力、その他を用いて、できるだけ神の国を自分の周囲に拡大しようとする。

なぜならば、どれだけ神の国を拡大したかによって、永遠の生活レベルが決定するからだ。

556 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月2日(月) 午後5時44分

タイトル: 裏社会の構造

http://www.youtube.com/watch?v=tezKyfjE_fm&list=PLC618D73A944858C3&feature=plpp_play_all

このビデオはぜひ見ていただきたい。

裏社会の構造が分かりやすく解明されている。

557 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月2日(月) 午後6時37分

タイトル: テロは「スクラップ・アンド・ビルド」型のビジネスである

金融コンサルタント・経済評論家・岩本沙弓氏の『マネーの動きで見抜く国際情勢』（PHPビジネス新書）は非常に興味深かった。

岩本氏は、外資系の金融機関に勤めるようになった際に、ある同僚から（この人から国際

金融までも仕切る覇者がどのような思考回路をしているかということ、折に触れ徹底的に叩き込まれることになった)、**「この世の中で、偶然に起こることのほうが少ない」と指摘された。**

「相場を大きく動かすような出来事の前には必ずといっていいほど、その予兆のようなものが、市場ではプライス・アクション（値動き）として現れる」らしい。(p12)

それは、「ともすれば見逃してしまいそうな、かすかなシグナルとして最初は現れる。コップのふちまで注がれた水が表面張力で膨らんで、臨界点に達するとポトリとこぼれ落ちる『最初の一滴』のようなもの」である。(同)

この一滴は、必ず相場の値動きとして現れる。

取引の経験を積むうちに、「ひょっとするとこの世界には、誰もまだ知らない早い段階で情報を仕入れている人たちがいて、その人たちが市場で誰よりも早く行動を起こしているのではないか」という思いがよぎるようになったという。(p15)

「情報を持っている人間が、一足早く行動を起こし、それが値動きとして現れたとすれば辻褃が合う。その『誰か』はドルを売ってあとは相場が暴落するのを見ているだけでよい、ということになる」。

この「誰か」の存在が確信へと変わったのは9・11同時多発テロであった。

「テロを遡ること2か月、7月18日の東京の夕方遅くロンドン市場で、特に何も相場を動かす材料もない中、対スイスフラン相場で突如としてドルが売られはじめた。わずか2〜3時間の出来事であったのだが、200〜300ポイント、円の感覚でいえば2〜3円ドルが落ちていった」。

それと同時に、対米ドルと対カナダドルでのみ、スイスフランに大幅な買いが発生した。

この現象について、氏は、このスイスフランの買いは、「北米大陸からの逃避資金」であると考え、もしかすると金融危機が起こる予兆ではないのか、その場合は米国発の可能性が高いのではないかと、思案した。(p16)

二つのビルの崩落の映像を脳裏に叩きつけられ、その危機的状況にやり場のない強い憤りを感じながら、「誰か」の存在を否定なく受け入れざるをえなくなった、という。

以上読んで、私は「911 事件は、やはりインサイダーであった」との考えを新たにした。

金融市場は、インサイダーで成り立っている。

一部の人間が、情報を内々に素早くつかむだけではなく、その情報のもととなる出来事を作り出している。

世界的なテロ事件は、次のワンセットで成立していると思う。

すなわち、

1. 為替差益。
2. 株価操作
3. 保険金
4. (戦争の場合) 武器在庫一掃
5. 復興需要
6. 資源 (または土地) 獲得

事件の黒幕とその仲間たちは、グルになって、この一連の利益を狙ってテロを仕掛けるのである。

つまり、テロは、様々な付帯利益を生み出す「スクラップ・アンド・ビルド」型のビジネスである。

人の命を犠牲にした金儲けである。

事件 1 か月前からの住宅株の異常な値動きからすると、311 も同じであろう。

311 においても、上記の 1 から 6 までの受益が計画されていたのであろう。

不思議なことだが、保守系の SNS のオーナーが除染ビジネスをやっているという情報がネット上に流れている。

今の保守の構造、つまり、CIA—統一協会—保守運動のつながりを暗示していないだろうか。

武田教授は、なぜ被曝量年間 1mSv にこだわっているのか。

年間 1mSv などという厳しい基準を設定すると、膨大な範囲の地域を除染しなければならなくなる。

専門家によるとこれは非現実的だという。

しかし、除染ビジネスの側から見れば、おいしい話だ。

震災後、米仏が真っ先にかけて、事故対応に介入しようとしたのは、復興需要を当て込んでのことであると思えない。

私は、このように、問題を作って自ら解決にあたるマッチポンプ野郎に神の裁きが下るよう切に願う。

われわれは、この神を恐れぬ妖怪どもに正義の呪いが下るよう祈るべきだ。

558 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月3日(火) 午前3時26分

タイトル: プレ・ミレ・ディスペンセーションナリズム終末論を唱える人をクリスチャンとして認めません

簡単に聖書の終末預言を宣伝する人がいるが、預言ってのは「神に代わって言う」ということですから、相当な覚悟が必要です。

旧約聖書では、外れた場合に石打ちでした。

新約聖書では、「吟味せよ」とあるので、旧約の預言とは異なりますが、しかし、それでも聖書に記されていないことを語ることは厳禁です。

契約から除名が妥当でしょう。

私は、終末論に議論があることを知りつつ、なおも根拠ないプレ・ミレ・ディスペンセーションナリズム終末論を唱える人をクリスチャンとして認めません。

559 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月3日(火) 午後0時45分

タイトル: 政府・日銀もインサイダーだった

岩本氏の前掲書に興味深い記事があった (p20 より)。

2002年9月17日、小泉の北朝鮮電撃訪問には裏があった。

この訪問の結果、後日5人の拉致被害者を帰国させ、大手柄を立てたわけだが、その翌日9月18日に何が行われたかを見ると愕然とする。

日銀が市中銀行の保有する株式を直接買い取るという前代未聞の政策発表を行ったのである。

中央銀行の立場、金融政策の両面から見て、議論が沸き起こりそうなものだが、訪朝のニュースでかき消された。

この買い入れは2002年11月から2004年9月まで実施され、累計額は約2兆円に達した。サブプライム危機が発生したきわめて初期の段階の2007年10月から一部を売却しはじめ、1年後に停止。売却後の保有額は1兆2735億円と発表された。日経平均が1万8000円のピークを迎えた時点での、日銀の含み益は一時1兆9000億円とも報道された。

再度日銀は、日経平均が暴落し、7000円台を見たあとの2009年2月から、買い取りを開始。2010年4月現在の日経平均が1万1000円とすると、30%以上のリターンをたたき出しており、さしずめカリスマトレーダー並みの収益ということになる。

2002年9月18日の発表時の日銀総裁は、速水優氏。財務大臣は塩川正十郎だが、実際の買い入れを行った2002年11月から2004年9月までの期間、日銀総裁は速水優と福井俊彦。金融担当大臣は竹中平蔵。第1次小泉第1次改造内閣における竹中の在任期間は、2002年9月30日から2004年9月27日でこの期間とぴたりと一致する。

日銀は、2012年3月末まで売却を行わないと発表しているから、今年の4月以降、とくに後半に暴落が起きる可能性がある。

ピタリと相場を当てた日銀だが、この収益がどこに行くかを見守る必要がある。

今年後半に暴落が起きたならば、政府・日銀が、世界の裏の事情に通じており、インサイダー取引に加担していると考えて間違いないだろう。

560 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月4日(水) 午前6時32分

タイトル: 神が望んでおられるのは、安定よりもベンチャーである

それで、イエスはこう言われた。「ある身分の高い人が、遠い国に行った。王位を受けて帰るためであった。

彼は自分の十人のしもべを呼んで、十ミナを与え、彼らに言った。『私が帰るまで、これで商売しなさい。』

しかし、その国民たちは、彼を憎んでいたもので、あとから使いをやり、『この人に、私たちの王にはなってもらいたくありません。』と言った。

さて、彼が王位を受けて帰って来たとき、金を与えておいたしもべたちがどんな商売をしたかを知ろうと思い、彼らを呼び出すように言いつけた。

さて、最初の者が現われて言った。『ご主人さま。あなたの一ミナで、十ミナをもうけました。』

主人は彼に言った。『よくやった。良いしもべだ。あなたはほんの小さな事にも忠実だったから、十の町を支配する者になりなさい。』

二番目の者が来て言った。『ご主人さま。あなたの一ミナで、五ミナをもうけました。』

主人はこの者にも言った。『あなたも五つの町を治めなさい。』

もうひとりが来て言った。『ご主人さま。さあ、ここにあなたの一ミナがございます。私はふろしきに包んでしまっておきました。

あなたは計算の細かい、きびしい方ですから、恐ろしゅうございました。あなたはお預けにならなかったものをも取り立て、お蒔きにならなかったものをも刈り取る方ですから。』

主人はそのしもべに言った。『悪いしもべだ。私はあなたのことばによって、あなたをさばこう。あなたは、私が預けなかったものを取り立て、蒔かなかったものを刈り取るきびしい人間だと知っていた、というのか。

だったら、なぜ私の金を銀行に預けておかなかったのか。そうすれば私は帰って来たときに、それを利息といっしょに受け取れたはずだ。』

そして、そばに立っていた者たちに言った。『その一ミナを彼から取り上げて、十ミナ持つ

ている人にやりなさい。』

すると彼らは、『ご主人さま。その人は十ミナも持っています。』と言った。

彼は言った。『あなたがたに言うが、だれでも持っている者は、さらに与えられ、持たない者からは、持っている物までも取り上げられるのです。

ただ、私が王になるのを望まなかったこの敵どもは、みなここに連れて来て、私の目の前で殺してしまえ。』 (ルカ 19・12-27)

人生は投資である。

なぜならば、神も投資をされたから。

われわれの存在は神の投資である。

神は、地上を開拓し、利益を生み出すために、われわれを地上に誕生させられた。

「人間は進化の過程で偶然に生まれた者である」というイルミナティの思想が頭に入っているので、現代人は、自分が使命を帯びて生まれてきたことを知らない。

神は、われわれからリターンを求めておられる。

われわれが、どれだけ神の国を拡大し、神の利益になるようなことをしたかによって、評価される。

われわれは、投資家に対して責任を負っている会社の経営者のようなものである。

投資家にとって一番腹立たしい存在は、「何もしない奴」である。

投資した分だけを金庫にしまっておいて、決算のときにそれを差し出して「さあ、これがあなたのお金です。お返しします。」というような経営者は、首だ。

投資の意味がないからだ。

投資をするということは、成功するにせよ、失敗するにせよ、とにかく「挑戦する」ためである。

投資家は、経営者が失敗して、自分の資産を失うことは、リスクとして織り込み済みである。

しかし、何もしないで、ただお金を返された場合は、「おまえ、一体その間何をしていたのか」と言いたくなる。投資の意味がまったくないだけでなく、馬鹿にされた気持ちになるからだ。

だから、神様の場合も、何も挑戦せずに、無為に時間をすごして、神様から預けられたものをそのまま返すような人間を怠惰者としてだけではなく、無礼者として厳しく罰せられる。

このたとえ話の、最後に出てくる、何もせずにただ預かったものをもって、それを主人に返した人に向かって、主人は、こういった。

「そして、そばに立っていた者たちに言った。『その一ミナを彼から取り上げて、十ミナ持っている人にやりなさい。』」

儲けもせず、減らしもしなかった人は、「全部失う」のである。

10000 円預かった人は、10000 円もらえるわけではない。

「えっ、減らさなかったのだから、主人に害を与えなかった。だから、もらってもいいのでは？」と思うならば、甘い。

無為徒食の人は、全部失う。そして、その失った分は、活動して主人に利益を与えた人に与えられる。

だから、神の国とは格差社会なのである。

「だれでも持っている者は、さらに与えられ、持たない者からは、持っている物までも取り上げられるの」である。

神の国とは、リスクを冒して果敢に挑戦する人が尊ばれ、無難に可もなく不可もない人生を送った人が軽蔑される世界である。

神が望んでおられるのは、安定よりも、ベンチャーである。

561 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 4 日(水) 午後 10 時 51 分

タイトル: スマホで個人情報筒抜けか?

最近、ある仕事で必要なため IPHONE を買ったのだが、アメリカにおいて、IPHONE・スマホにはどうやらプライバシーがないらしい。

<http://teapartyeconomist.com/2012/01/03/the-smart-phone-app-that-tracks-you-and-cab-not-be-disbled/>

をまとめる。

次のアプリを使用している場合、プライバシーはない。

CIQ :

最近開かれた上院司法委員会での公聴会において、上院議員アル・フランケンは「われわれには、個人情報を管理する権利がある」と述べ、キャリア・IQ (CIQ) について警鐘を鳴らした。

CIQ について聞いたことがある人は少ない。アプリの背後で動くこのプログラムは、ユーザーの同意や知識を必要としない。

ユーザーのキーストロークや会話、テキストメッセージを記録し、ユーザーがどこにいるか位置を突き止めることができる。

これらの機能を停止することはできない。

公聴会で、フランケン上院議員は FBI 長官ロバート・ミュラーに CIQ ソフトウェアの利用について質問したところ、ミュラーは、FBI のエージェントが CIQ から「いかなる情報も求めないし、入手もしない」と確約した。

ミュラーに続いて、CIQ の販売担当副社長アンドリュー・カワードは、AP 通信に対して「FBI は CIQ を使ってデータを得る権利のある唯一の法執行機関である」と述べた。

...

「アメリカ人に対する国家安全保障調査網の拡大には、次の 3 つの側面がある。無人偵察機、GPS による追跡、『スマート』運転免許証、顔識別機能の利用拡大」

合衆国とカナダ両政府は、規格上級運転免許証 (Compliant Enhanced Driver Licenses) に対して無線周波数 ID チップを埋め込んでいる。これはニューヨーク州では規格化されている。

この運転免許証は、読み取り装置の範囲に入ると、本人確認情報を発信する。

911→愛国者法は、乱用されている。

フィリップ・ゼリコウはじめネオコンの計画どおりにことが進んでいるようだ。

http://www.youtube.com/watch?v=dL_G4VNFQug

祈りによって、市民から自由を奪うこの計画を粉碎しなければならない。

562 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 5 日(木) 午前 0 時 05 分

タイトル: IPHONE で撮影場所の GPS 情報が埋め込まれる

ツイッターの情報です。

=====

@mj8018

新鮮組 太郎 【拡散希望】 ツイッターをやってて家に侵入された女性が増えています。iPhone の人は「設定⇒位置情報サービス⇒カメラ」を OFF に。これが ON だと写真に撮影した場所の GPS 情報が埋め込まれますので要注意を。そして、「設定⇒位置情報サービス⇒Twitter」も OFF に！

=====

563 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 5 日(木) 午前 9 時 10 分

タイトル: 進化論が編み出された理由

人類の 65 億人が余剰人口であるとするジョージア・ガイドストーン。これは、フリーメイソンの石工が建てたらしい。

http://translate.google.co.jp/translate?hl=ja&langpair=en%7Cja&u=http://en.wikipedia.org/wiki/Georgia_Guidestones

フリーメイソンの中には、90%を抹殺すべきだと言う者もいる。

彼らは、優生学を信じている。

P.D. Collins の The Ascendancy of The Scientific Dictatorship: An Examination of Epistemic Autocracy, From The 19th to The 21st Century.によると、ダーウィン主義は、ダーウィンが創始したのではなく、その祖父エラスムス・ダーウィンが創始者らしい。

<http://www.ohtaryu.jp/blog/old-articles/1001-1050/j-1001.html>

このエラスムス・ダーウィンはフリーメイソンであった。

優生学は、チャールズ・ダーウィンと祖父を同じくするフランシス・ゴールトンによってはじめて提唱された。

http://en.wikipedia.org/wiki/Francis_Galton

ゴールトンがこの学問を創始したのは、ダーウィンの著作「種の起原」(1858 年)に触発されたからであった。

エラスムスが属し、その進化論の母体となった科学者の結社ルナー・ソサエティは、1765 年英国バーミンガムにおいてフリーメイソンであったフランクリンによって創設された。

こう考えてみると、まさに、進化論と優生学は、フリーメイソンの創作であると言える。

まさに、シオン議定書で言われているように、進化論は「仕掛け」だったのだ。

どういう仕掛けなのか。

合理的殺人のためのそれだ。

殺人を違法とするキリスト教文化圏において、合理的に大量殺人を犯すには、何らかの理由づけが必要だ。

進化論と優生学がそれを提供してくれた。

適者生存、弱肉強食の原理が世界を支配しているのであれば、人類の進化のためには、弱者、劣等者は抹殺すべきだ。

フリーメイソンに担ぎ出されたヒトラーは、まさにこの理論を実践したわけだ。

聖書にあるように「悪魔は最初から人殺しである」。

悪魔の願望は、大量虐殺にある。

それを現代人に行わせるために、進化論が編み出されたのだ。

564 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月5日(木) 午後3時37分

タイトル: 契約的合一は神の法と悔い改めを通じて進む

契約的合一は汎神論的融合とまったく異なる。

汎神論的融合とは、個性を失って「一つ」になることを目指す。

契約的合一は、個性を維持しながら「一つ」になることを目指す。

すべての宗教の目的は、他者との一体化である。

礼拝とは、一体化の儀式である。

だから、非常にすぐれた礼拝では、神と人間、人間と人間、人間と自然、人間と社会が、完全に調和し、一体化する。

そこに集まった全員が神と他者との一体感に包まれるようなそんな宗教的体験を求めて、礼拝に参加する。

だから、司祭や僧侶、牧師は、人々をそのような体験をさせられるように声を工夫したり、音楽を感情を高めるものにしたたり、場合によっては、麻薬を飲ませたりする。

人間をはじめとする被造物の究極的な願望とは、一体化することである。

クリスチャンの目的は、真の神との契約的一体化、同胞のクリスチャンとの契約的一体化、自然との契約的一体化である。

契約的一体化であって、単なる一体化ではない。

契約であるから、神の法を守るときにはじめて成立する。

単なる一体化は神の法など関係ない。

だから、単なる一体化は、野合なのである。

これを象徴しているのが、クリスチャンの結婚と、異教における乱交である。

クリスチャンの結婚において、神の法が前提となる。神の法による秩序こそが結婚の前提である。

異教においてしばしば行われるのが乱交である。

昔、日本においても、お祭りには性的な乱行がつきものであった。

原理も原則もない一体化。これは、実質的に反創造、無秩序化、混沌である。

だから、こういったものは文化の名に値しない。

キリスト教が入るにつれて、ヨーロッパからそういった無秩序な風習は消えていった。

被造物にはすべて、一体化への願望がある。

われわれがコンサートなどに行って、感動の体験をしたいかという、われわれの本能にある一体化への願望が満たされるからである。

音楽は、これを助ける。

クリスチャンによる神の国建設とは、このような契約的合一を世界中に広げることを目的とする。

われわれが教会に加わるときに、クリスチャンのコイノニア（交わり）に入る。

聖餐は、われわれが合一であることを象徴する儀式である。

だから、礼拝から聖餐を除いたり、スキップするのは間違っている。

礼拝も聖餐も契約的合一を求め、確認するのであるから、ワンセットで行うべきだ。

初期の礼拝は、「パンを割く」ことであった。

初代教会のクリスチャンたちは、「パンを割くために集まった」。

つまり、契約的合一のための集会であった。

異教は、本当の神礼拝への模倣から生まれた。

サタンが提供した偽の礼拝だからだ。サタンは創造できない。模倣しかできない。だから、異教の礼拝は、真の神礼拝の模倣である。

われわれのすべての礼拝、契約的合一の基礎は、神の法である。神の法を守ることを通じて、われわれは、真の神との契約的合一に至る。

罪を犯すことによって、この合一は挫折する。

悔い改めは、合一を回復するためのものである。

「バプテスマを授け、私が命令したことを守るように教え」ることを通じて、神の法を中

心に世界が本当の絆で結ばれることこそ、人類の究極的な目標である。

アセンションなるものは、神の法も悔い改めもない合一であり、ニューエイジの異端である。

人類が本当に高次に上昇するには、神の法と悔い改めを中心としなければならない。

565 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月6日(金) 午前5時35分

タイトル: 科学絶対主義は悪魔の罠である

「この世で起こることを超自然的な力によると考えるべきではない」という考え方は、異端の考え方である。

聖書では、処女マリアに対して受胎を告げた御使いが「神にはなんでもできる」と言った。

この世界を「神を除外した閉じられた系」として見る見方によれば、この受胎告知の話は、寓話である。

科学的認識を神の御言葉よりも優先することはできない。

「科学法則によれば、人間が空中浮遊するはずはない」という認識の仕方をするならば、エゼキエルは嘘をついたことになる。

瞬間移動を否定すれば、使徒の働きを書いたルカを嘘つきと呼ぶことになる。

復活を否定すれば、福音書記者とパウロを嘘つきと呼ぶことになる。

だから、科学を神の言葉（啓示）よりも上位に置く考え方を、クリスチャンは絶対に排除しなければならない。

科学絶対主義は悪魔のささやきであり、それを受け入れるときに、恐るべき墮落が始まる。

18世紀に人類は啓蒙主義者という悪魔の弟子たちのささやきに耳を傾けてしまった。

そして、19世紀に、人類は悪魔に魂を売って、唯物論や共産主義を編み出した。

20世紀にその果実を刈り取った。全世界における、戦争と革命による大量虐殺。

科学絶対主義者の著作を読む場合には注意されたし。

独特な世界に引き込まれるから。引き込まれたら最後、一般のカルトと同じように、なかなか出ることができない。

全部科学的現象としか考えられなくなるから。

自分では賢くなったつもりで、どんどん悪魔の深みにはまる。

現象の世界に振り回される。

「現実的に考えろよ！」と911ビル爆破倒壊説を唱える陰謀論者を嘲笑しながら、その実、周囲の評価にびくびくしながら生きている。現実がすべてだから。

(こちらからすると、911ビルが飛行機火災に起因する自重倒壊だったとするほうが「現実的」ではないと思うが。)

科学絶対主義は、一見するとかしこく見えるが、実は、恐るべきサタンの仕掛けた罠である。

クリスチャンは絶対に騙されてはならない。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月6日(金) 午前8時06分

タイトル: 貴重な一生を後悔なく生きるには

科学絶対主義を信じる基本的な動機は「神の疎外」である。

神を宇宙から排除したいとの願いである。

なぜ排除したいかという、神の法から自由になりたいからである。

進化論者アルダス・ハクスレーが「進化論の基本には、フリーセックスへの願望がある」という趣旨のことを述べた。

性的な放縦を許容してくれる教えが、人々が進化論に飛びついた理由だと。

http://www.standforgod.org/index.php?option=com_content&task=view&id=241&Itemid=390

性的な放縦だけではなく、政治経済あらゆる領域において神からの拘束を解きたいという願いが、人間を異端やカルトに走らせるのである。

健全な精神は、理に適った規則を受け入れるものである。

科学絶対主義に陥る人々の基本的な問題は、自己神化という病的な精神である。

啓蒙思想→聖書本文批判→観念論→進化論→唯物論というように、人間は神を追い出して人間だけの世界を作ろうとしてサタンの世界を作ってしまった。

「人間王国」は、人を殺す王国であった。

ソ連や中国でどれだけの人が共産主義者によって殺されたか。

これが、自分を神とした結果である。

選択は二つに一つしかない。

神か悪魔か。

神か自分か、ではない。

なぜならば、自分を選択することは、悪魔を選択することに等しいから。

悪魔は、絶対に「わたしを拝め」とは言わない。

「自分を拝みなさい」と誘惑する。

「人生は自分のためにあるんだ。自分の願望を実現する自由がある」という誘惑に乗った人々は、一生を利己のために使い、周りの人々を振り回し、人生を無駄にする。

老人になってから「俺の人生はいったい何だったのか」と嘆くことになる。

あなたの貴重な一生を後悔なく生きるならば、神の計画に自分をささげることである。

主にゆく道を選択していただくことである。

そうすれば、最短コースで目的地に達する。

昼は雲の柱、夜は火の柱があなたを導いてくれるだろう。

567 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月6日(金) 午前11時17分

タイトル: Carrier IQ 国内端末からも発見 !!?

スマホの行動監視ツール「Carrier IQ」 国内端末からも発見!!?

<http://exdroid.jp/d/25632/>

568 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月6日(金) 午後5時03分

タイトル: ネオコンの悪魔たちの計画が実現しないように祈ろう

(1)

今年どの程度の変化があるのか不明だが、激動があると予想される。

アブラハムに対して、神はご自身がなさることをあらかじめ示すと言われたが、一昨年、スマトラに起こったような大きな津波が日本にもあるかもしれないとうっすらであるが感

じた。

そして、どうしても一度三陸を見ておかねばならないと旅行した。千葉県の船橋から沿岸沿いにぐるっと一周し、九十九里から海岸沿いに車を走らせ、相馬、東松島、石巻、気仙沼、大船渡、宮古、釜石、久慈、八戸を訪れた。

八戸からは、下北半島を通過して大間につき、そこに車を停めて、フェリーで函館に向かった。函館からは列車で札幌まで行った。

以前ここでも言ったとおりに、現在、アメリカは 2013 年をめどに一気にナチス化に向かって進んでいる。

おそらく古い世界は崩壊するだろう。デイビッド・ロックフェラーやキッシンジャーらが努力して作り上げようとしてきたニュー・ワールド・オーダーは破滅する。

これまで彼らが世界を騙してわれわれに信じ込ませてきたシステムが崩壊する。

インターネットを通じて様々な嘘がばれるだろう。

(2)

聖書では、「麦と毒麦はどちらも成長して、はっきりと自分の姿を明らかにする」と言われている。

刈り取りの時期になると、区別するために神は内実を示してくださる。

ヒューマニズムは、あたかも素晴らしいものであるかのように思われてきたが、実際は、悪魔の教えであることが分かってきた。

ソ連や中国の共産主義社会を見ると明らかだ。

人間が人間だけで人間のためにやっっていく社会が地獄であるとわかった。

神は、それまであいまいであったものを、今われわれの前に見せてくださっているのである。

今、周りを見渡していただきたい。

みんな騙されている。

みんな利得のことしか考えていない。

そして、汚い手を使ったほうが出世するような世の中である。

経団連のトップが、悪魔の会社モンサントと手を組むために TPP を推進している。

遺伝子組み換えによって日本の作物がどうなろうと知ったこっちゃないのだ。

尊敬できる大人は消えた。

全世界がイルミナティ化された。

それは、刈り取りの前だからである。

裁きの日が近いからだ。

(3)

西側とイランが一触即発の状態だ。

イランの大統領アフマディネジャドは悪魔のピースサインをするくらいだから、イルミナティの傀儡ではないかと思う。

戦争に向けて悪者を演じるために選ばれた人間ではないのか。

テレグラフ紙によると、2008年の選挙の際に掲げられた ID カードから、アフマディネジャドがユダヤ系であるとわかるという。

もとのファミリーネームは、サブールジャンとあった。これは、「布を織る人」を表すユダヤ系の名前である。

「サブールジャン家は、伝統的にアフマディネジャドの生誕地アラダンの一族である。

サブールジャンという名前は「サブールを織る人」という意味であり、サブールとは、ペ

ルシヤにおけるユダヤのタリトというショールの名称である。

アフマディネジャドのユダヤ人に対する憎悪に満ちた攻撃は、自らの出自をごまかすための過剰反応ではないかと専門家は述べた。」

<http://www.telegraph.co.uk/news/worldnews/middleeast/iran/6256173/Mahmoud-Ahmadinejad-revealed-to-have-Jewish-past.html>

アフマディネジャドも、ビン・ラディンと同じユダヤが選んだ悪役なのか。

ユダヤ人は、これまで占領をもくろむ地域に隠れユダヤ人を送り込んで悪さをさせるという手法を取ってきた。

ドイツにおけるヒトラー、アフガンとイラクにおけるビン・ラディンとタリバンなど。

ヒューゴ・チャベスですらユダヤ系の名前だという人もいる。

http://www.answerbag.com/q_view/1924801

テレグラフ紙によると、タリバンはユダヤ系である。

「インドの研究者によると、アフガニスタンとパキスタンのタリバンの指導的グループの民族はユダヤ系である。」

<http://www.telegraph.co.uk/news/worldnews/asia/afghanistan/6967224/Taliban-may-be-descended-from-Jews.html>

アフマディネジャド大統領は、ネオコンの計画どおりに、イスラエルとイランを対立させ、米軍の力を借りてイランの占領のために働いているのではないか。

対イラン戦争では核兵器が使われる予定らしい。

<http://www.prisonplanet.com/preparing-to-attack-iran-with-nuclear-weapons-no-option-can-be-taken-off-the-table.html>

今年、世界をあっと言わせる出来事が起きるとしたら、イラン・イスラエル戦争における核兵器の使用だろう。

ネオコンの悪魔たちの計画が実現しないように祈ろう。

569 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月7日(土) 午前3時03分

タイトル: 日本は倫理による支配を目指すべき

ロスチャイルドからなぜ革命思想が生まれたのか。

なぜロスチャイルドからヘスが出て、ヘスからなぜマルクスが出たのか。

それは、ロスチャイルドの霊的先祖が革命家だったからだ。

イエスの時代に、ローマに対する革命運動が盛んであった。

それは、契約的方法ではなかった。

契約的方法とは、倫理である。倫理によって力を得るのが、聖書的な方法である。

しかし、ロスチャイルドの先祖であるユダヤ革命運動勢力は、暴力によって権力を獲得しようとした。

イエスは、この運動に毒されていたペテロが剣を取って大祭司のしもべに切りかかり耳を切り落とした際に、こういわれた。

「剣をさやに収めなさい。剣を取るものは剣によって滅びる」と。

暴力革命は暴力革命によって報いられる。

長期的な支配を確立する方法としてわれわれに与えられているのは、倫理的方法である。

つまり、神の御前に正しく歩むということ。

聖書にしたがって、神の法を守ること。

神の法を守っている限りにおいて、われわれの支配は安泰である。

神は、われわれを祝福されるので、世代を経るごとに力はますます強化されるだろう。

今のユダヤ人は、神の法を守る一方で、タルムードの悪魔的要素も取り入れている。ロスチャイルドが属するサバタイ・フランキスト派のユダヤ教は、非常に悪魔的である。しかし、神の法も部分的に守るのである。

たとえば、日本に原爆を落とすことを決定したバーナード・バルークは、安息日を忠実に守った。

かたや大量虐殺を行い、国連を通じた世界政府樹立をめざし、悪魔に従いながら、かたや聖書にしたがって神の法を守る。ユダヤ人は、こういう矛盾をかかえている。

彼らは、神の法が繁栄につながることを知っている。しかし、神に逆らい、イエスを十字架につけてからずっと、悪魔に従いつづけている。

悪魔に従っている以上、彼らの支配は終わりだ。どんなに神の法によって祝福される部分があったとしても。

イエスに従って、ペンテコステに聖霊を受けたクリスチャンたちは、紀元 70 年にイエスが来臨され、羊と山羊の選別（マタイ 25 章）の後、ヨルダン河を超えて、東に向かった。

おそらく彼らの大部分は日本に来たと思う。その一つの根拠は、秦氏のルーツであるシルクロードにあった弓月国の周りはユダヤ人が住んでいたこと。そして、弓月国はキリスト教国であったこと。

私の推測では、日本には波状的にユダヤ人がやってきており、

1. アブラハムの時代に一部来ていた。
2. ソロモン時代に一部来ていた。ソロモンの船団はくじやくを持ち帰っているが、くじやくはアジア原産。大量の金も持ち帰っているが、古代において日本は金の宝庫。
3. バビロン捕囚から解放された人々が来た。
ミャンマーのある部族は顔が日本人そっくりで、自分たちの先祖はユダヤ人であり、バビロン捕囚から解放されて東に向かっていたが、秦の始皇帝によって万里の長城の建設を命令されたが、苦役が厳しくてミャンマーに逃れたという。

イスラエルの機関アミシャブの公式見解によると、バビロン捕囚から解放されたイスラエル人は、アジアに散ったが、本隊は日本に入った。

おそらく、ソロモンの時代の探検隊から東のはてに黄金と安息の島があると伝えられていたのだろう。その伝説の島を求めてイスラエル人は東進したのだろう。

4. 紀元前 3 世紀に徐福に率いられたユダヤ人が来た。徐福の子孫は物部氏になった。
5. 紀元 1 世紀にイエスの弟子の何人かが来て、イスラエルの子孫に福音を伝えた。
6. 紀元 70 年以降、エルサレム神殿崩壊後、初代教会の人々がやってきた。
7. 紀元 2~3 世紀に、安息国や弓月国から秦氏らがやってきた。秦氏はユダヤ系クリスチャンで、神道は彼らによってつくられた。

大化の改新まで、物部氏と秦氏のクリスチャン勢力が日本を支配していたのだろう。

藤原氏が表の支配者となってから、秦氏は裏方に回った。

それまでのユダヤ・キリスト教文物はことごとく闇に隠された。伊勢神宮は、内宮と外宮の 2 社が中心とされ、物部系の伊雑宮は隠され、同時に伊勢神宮の三位一体性が隠された。

日本列島は、それ以来、裏の島になった。(*)

コンピュータの父フォン・ノイマン、ヘンリー・キッシンジャーなど、ロスチャイルド系のユダヤ人は、日本に敵意を示す人が多いように見える。

これは、イエスの時代に、革命派ユダヤ人がイエスを憎んだのと同じではないか。

武闘派が、契約派を迫害したのが、イエスの十字架であった。

ロスチャイルドによる対日攻撃であった太平洋戦争は、古代のユダヤ人内部対立の、現代における再現なのかもしれない。

日本は、先祖にならい、倫理による支配を目指すべきだと思う。

(*)

浦島太郎の話は、このあたりを暗示しているのかもしれない。

つまり、太郎は亀（六芒星＝ユダヤ）を助ける。

（日本の別名扶桑は、桑を助けるという意味。トケイヤ氏によると、昔、養蚕業はユダヤの独占だった。）

日本は、バビロン捕囚から逃れてきたユダヤ人を助けた。

亀に連れられて竜宮城に入る。

竜の宮とは外宮ではないか。外宮には八咫鳥が旗竿と呼ぶ心御柱がある。これは、蛇をかけた柱（＝モーセが民の病を治すために神の命令によってかかげた柱にかけた青銅の蛇）だ。

外宮はもともと籠神社であった。籠神社は、浦島伝説の本家である。

そこから地上に戻るというのは、内宮を意味するのかもしれない。内宮の心御柱は T 字型の十字架。この心御柱は正中を外してある。北西・南東にずれ、伊雑宮を指しているという。

浦島太郎のオリジナルの話では、その後鶴となって昇天する。これは、伊雑宮を表すのではないだろうか。

つまり、浦島太郎の話は、外宮→内宮→伊雑宮を表すと。

外宮はモーセの青銅の蛇からユダヤ人の救いの時代（旧約時代）を表し、内宮はイエスの十字架によって異邦人の救いを表し（新約時代）、伊雑宮はユダヤ人と異邦人両方の救いを表すのか（至福第七千年期）。

浦島の話は、日本の歴史を示しており、藤原氏によって封印された伊雑宮が復活するときに、日本が真の姿を回復し、栄光を受けるという意味なのか。

570 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月7日(土) 午後4時13分

タイトル: 日本人を他の異邦民族と同列に扱うことはできない

日本人の民度が震災を契機に世界中に知られることになったが、これを一般恩恵によると考えることはできない。

なぜならば、古代において神道が形成される過程でキリスト教の影響が強かったからだ。

神道については、以前にも書いたゆに、その構造は、罪・穢れの聖め、代理者による贖罪がある。

古事記における創造神は三位一神であり、救世主なる天照大神は太陽によって象徴される。
<http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/atonementsystemjapan.mht>

実際、神道側も、天照大神をイエス・キリストと見ている。

<http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/96aY9f30GyNs52403.htm>

これは、どうみても、一般恩恵で生まれた教理とは思えない。

古代において、日本には宣教が行われたと考えるのが妥当だろう。

そして、日本民族とは、日の子である。つまり、天照大神を主神とし、天皇を大祭司とする宗教集団の構成員（氏子）であり、つまり、聖書におけるキリストを契約主とする契約の民にあたる。

日本人を他の異邦民族と同列に扱うことは本質的に間違っており、ミッシヨナリがこれまで失敗してきたアプローチであると考ええる。

571 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月7日(土) 午後4時58分

タイトル: 現世ご利益を求めることは悪ではない

現世ご利益を求めることは必ずしも悪ではない。

なぜならば、聖書がそれを勧めているからだ。

申命記には「神の法を守るならば、あなたは農業において祝福される。」とある。

ヨブ記は、苦難に続いて現世のご利益があったと教えている。

しかし、聖書の場合、現世ご利益とは、「地を従えよ」との命令を遂行するための手段である。

つまり、契約の民である旧約のイスラエル及び新約の教会は、契約を遵守するならば、現世において祝福され、力を獲得するが、それは、この地上をエデンの園に変えるためであると。

いつまでもクリスチャンが経済力や政治力がないままでは、地上のエデンの園化など実現しない。

クリスチャンが契約を守るならば、神は祝福を与えて、強くし、クリスチャンに地上を支配するだけの力を付与される。

神の忠実なパイプ役となることによつてのみ、われわれは、地上を正しく支配できる。

「御心が天で行われているように、地上でも行われるように」。

現世ご利益を不潔なこと、不純なことのよう考えるのは完全に間違っている。

それは、ギリシアの霊肉二元論に犯された考えである。

ギリシア思想では、霊は清くて、肉は穢れていると考える。

問題は、肉にあり、肉の領域にこだわる時に、大きくなるとする。

だから、聖人は、できるだけ世俗のことにかかわらないほうがいい、出家したほうがいいということになる。

このギリシア思想は、カトリックを通じてキリスト教を汚染した。

これはディスペンセーションリズムを通じて今の福音派にも入っている。

福音派は、現世を汚らわしいものと見、そこから離れようとする。

この彼岸信仰によって、誰が一番喜ぶかというとなサタンである。

現世否定は、サタンによる地上支配にとって都合がいいのだ。

だから、禁酒禁煙などの禁欲主義は、一見清く見えるが、実はサタンに力を貸していることになる。

カルヴァン主義は、現世を神の栄光を表す場と考えてきた。

再建主義は「クリスチャンは、積極的に地上を支配すべきだ」とこの立場を明確化した。

現世ご利益を求めることは悪ではない。

ただし、それは「神の国の拡大のため」であって、「個人の利己的な快樂のため」ではない。

われわれは、富を与えられたら、積極的にそれを御国建設のために利用すべきだ。

572 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月8日(日) 午前6時37分

タイトル: 神の国は律法による訓練を通じてはじめて実現する

律法は廃棄されたのではない。

なぜならば、イエス・キリストが、「わたしは律法を廃棄するために来たのではない。成就するために来た」と言われたからだ。

だから、「新約時代の今、律法を守れというのは間違っている。それは律法主義だ」という主張は間違っている。

じゃあ、われわれは、旧約律法をそのまま守らなければならないのだろうか。暦制度を旧約時代のそれに戻し、農業祭を実施しなければならないのだろうか。クリスチャンは、ど

んな職業についていても、すべてイスラエルにあった作物を作ってお供えしなければなら
ないのだろうか。

違う。

新約時代には、新約時代の律法の守り方がある。

律法は、祭司職が変わったので、変化した。

「祭司職が変われば、律法も必ず変わらなければなりません」(ヘブル 7・12)

旧約時代において祭司職は、レビ族になった。

だから、ユダヤ人でレビ族しか祭司にはなれなかった。

しかし、新約時代においては、祭司職はイエス・キリストになった。イエスはユダ族であ
る。

だから、民族や部族の垣根が撤廃された。

聖書では、イエスは、まだユダヤ 12 部族もモーセ律法もないアブラハムの時代の祭司であ
ったメルキゼデクと等しい祭司であると言われている。

「キリストは御子であられるのに、お受けになった多くの苦しみによって従順を学び、完
全な者とされ、彼に従うすべての人々に対して、とこしえの救いを与える者となり、神に
よって、メルキゼデクの位に等しい大祭司となえられたのです」(ヘブル 5・8-10)。

「あなたは、とこしえに、メルキゼデクの位に等しい祭司である。」(ヘブル 5・6)

つまり、イエス・キリストは、民族や部族を超越した大祭司なのである。

そして、イエス・キリストに属するクリスチャンも祭司となった。

「しかし、あなたがたは、…王である祭司…です。それは、あなたがたを、やみの中から、
ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ
伝えるためなのです」(1 ペテロ 2・9)。

クリスチャンは、民族や部族は超越してなることができる。

だから、ここにおいて、次の原則が打ち出されたのである。

つまり、

「新約時代は、超民族・超部族的時代である」と。

祭司職が超民族・超部族的であるならば、律法も同じようになるところから、超民族・超部族的である。

律法は、民族に特有の規定を普遍化しなければならない。

どの民族にも適用できるものに変化しなければならない。

だから、旧約律法は、超民族・超部族的に解釈し、適用すべきである。

次の命題を矛盾なく解決するには、「律法の普遍化」しかない。

1. 律法は廃棄されていない。
2. 律法は祭司職とともに変化した。

パウロは、信仰は律法を確立すると述べた。

「それでは、私たちは信仰によって律法を無効にすることになるのでしょうか。絶対にそんなことはありません。かえって、律法を確立することになるのです」（ローマ 3・31）。

今日、ディスペンセーションナリズムの影響で、律法は無視されているが、われわれは、逆にそれを確立しなければならないのである。

具体的には、旧約律法を研究し、その本質を抽出し、神の御心を探り、それを万人に適用できるように普遍化する責任がある。

全世界において、諸国民が、聖書の律法を学んでそれを自分が置かれた立場や環境におい

て実践することによって、律法は確立され、世界が真の意味において神の国と変わる。

それ以外の方法はすべて邪道である。

律法を無視し、律法を犯しても悔い改めず、放縦な生活を放置しながら、神の国建設を奨励する運動はすべて異端である。

悔い改めも何もなく、ただ地球がフォトンベルトの中に入るので、アセンション（上昇）するというような教えもサタンの教えである。

神の国は、何世代にもわたる、律法による訓練を通じてはじめて実現する。

マジックによるのではなく、勤勉・努力・克己・儉約・礼節を通じてはじめて実現する。

573 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月8日(日) 午後3時53分

タイトル: 大祓詞は日本がキリスト教国であることを証言している

Kohei NaLove 氏が大変貴重なことを言われているので、ご紹介します。

=====

大祓詞（おおはらえのことば）は、神道の祝詞。

大祓詞の中心は天津祝詞（あまつのりと）の太祝詞事（ふとのりとごと）だといわれているそうです。

どのような内容かと問われれば、エッセンスは次のようになるでしょう。

——スサノオミコトの罪を贖うためアマテラスオオミカミは一度は神隠れされるが、スサノオミコトの罪を赦されアマテラスオオミカミは復活される。——

<http://keieisyablog.blog118.fc2.com/blog-entry-916.html>

=====

大祓詞とは、

「神道の祭祀に用いられる祝詞の一つである。中臣祓詞（なかとみのはらえことば、略して中臣祓）・中臣祭文（なかとみさいもん）とも言う。

元々は毎年6月と12月の末日に行われる大祓で、犯した罪（神道の観念による「罪」であり、犯罪とは意味合いが異なる）・穢れを祓うために唱えられた祝詞で、中臣氏が京の朱雀門で奏上していたことから中臣祓の称がある。」（Wikipedia—大祓詞）

つまり、「悔い改めの祈り」である。

ここに国学院による現代訳がある。

http://www2.kokugakuin.ac.jp/kaihatsu/oharai/t_02.html

「日本人が今後犯すであろう天に対する罪と人間に対する罪については、これこれこういう儀式の中である祝詞を唱えなさい。そうすれば赦されるだろう」という内容である。

この悔い改めの祈りの中で、唱えよといわれたのが、天津祝詞（あまつのりと）の太祝詞事（ふとのりとごと）である。

その内容が、

「——スサノオミコトの罪を贖うためアマテラスオオミカミは一度は神隠れされるが、スサノオミコトの罪を赦されアマテラスオオミカミは復活される。——」であるといわれる。

これは、「大祓詞の解釈と信仰」において、神社本庁調査部長岡田米夫氏の発言によって確認されている。

「（天照大神の）この神隠れは、国津神スサノオノミコトの罪を、天照大神が徹頭徹尾自らあがなわれ、身を隠されたことを意味する。天照大神はスサノオノミコトの罪を責められず、その改悛（かいしゅん）を最後まで期待されるとともに、常に「むつまじき心もちて相許したもう」という大きな自愛と包容力とをもって、その罪を許し、あがなわれたと書紀に見えている。

この神隠れした大神の再出現を祈るのが、天の岩戸の祭りであって、その祈りの果てに、天照大神は再び復活され、世にいう天岩戸開きとなる。それ以後、天照大神は永遠に生き神として、輝かしい御光を私共の上に投げかけておられるのである。

天照大神は又スサノオノミコトの罪をあがなうために、一度は神隠れされるが、再び復活されて、人々に「温かい手をさしのべられ、人々の罪を許す神」として今に至って、私共

の上に輝きわたられているというのが、民族古典の示すところである。」（「大祓詞の解釈と信仰」 神社本庁調査部長 岡田米夫著神社新報社発行昭和37年7月1日初版発行平成13年2月1日22版発行）

岡田氏によれば、大祓詞の悔い改めとは、まさしく「天照大神の贖いの御業を受け入れて、神に立ち返ること」である。

これを読まれて、クリスチャンならば、「キリスト教そのもの」と感じられるだろう。

大祓詞とは、契約の中に留まり続けるためになすべき悔い改めの祈りである。

その根拠は、イエス・キリストの犠牲である。

日本民族とは、契約の民である。

しかも、旧約の民ではなく、新約の民である。

日本はキリスト教国である。

574 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月8日(日) 午後11時29分

タイトル: 聖書から学ぶことなしに世界の悪意に対抗することはできない

この活動は、聖書が土台であるが、現状として聖書は、新改訳しか利用できない。

新改訳は、ディスペンセーションナリズムとウェストコットとホート、ロックマン財団というイルミナティの影響を受けているため、欠陥が多いが、現状として入手できる最善のものであると考える。

また、デジタルデータとしての利用が可能であり、引用が容易である。

理想を求めたらきりが無い。

残念なのは、たとえマルコーシュの翻訳ができたとしても、編集委員や会社の立場から、

プレ・ミレ、ディスペンセーションナリズムの聖書しかできないのは明らかであり、これが日本の限界である。

聖書は、KJVこそが最高の翻訳であろう。このような聖書ゆえに英語圏は祝福されてきた。

日本人は、良質の聖書を手に入れる必要がある。

良質の聖書と、良質の神学がない限り、日本の再生は不可能である。

問題は、神の国だ。

神の国が発展しない限り、多神教が国教であると考えよう文化のままである限り、聖書から学んだ民族に蹂躪されるだけだ。

聖書の知恵を得られるかどうか、これが鍵である。

これを除いてどうやって勝利するのだろうか。

聖書の因果律を学んでいないため、悪意に満ちた隣国がポルノをばらまいて人心を墮落させても対応できない。

進化論と無神論で、どうやって倫理的な攻撃に対抗できるのだろうか。

問題は、政治や経済ではない。契約違反だ。

だから、聖書から学ぶことなしに世界の悪意に対抗することはできない。

575 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月8日(日) 午後11時56分

タイトル: コミュニケーションの重大さ

一部、いつも支えてくださっている皆様には感謝申し上げます。

ただ、最近、どうも誤解があるようで、コミュニケーションに問題があるようでございま

す。

神の国は、クリスチャンの間において、ささいな違いでコミュニケーションが途絶えるようなことがあってはならないと存じます。

小さな問題で目くじらを立て、互いに完全性を求めても、無理です。

はっきり言います。

人間は、人間です。

きれいな部分もあれば、汚い部分もある。

常時完璧な人間はいません。

そういった誰でもが持っている欠点を許容できなければ、神の国は分裂せざるをえない。

そうなると、神に対して責任を取れない。

なぜならば、クリスチャンは互いに一致しなければならないから。

「重大な教理上の問題」で互いに食い違う場合を除き、常に寛容を心がけるべきでしょう。

異端になったとか、倫理上の重大な問題が発覚し、しかも、悔い改めず執拗に罪を犯し続けるといった場合以外、簡単に兄弟姉妹が互いの縁を切ることは、聖書において重大な罪として非難されています。

小さな群れがばらばらに存在することによって一番喜ぶのはサタンです。

サタンは分裂を画策しています。

クリスチャンは、孤立化させると潰しやすくなります。

教会から離れて、孤立したクリスチャンを心の病にしたり、墮落させることは簡単です。

とくに、教理的にしっかりとしたものを持たず、信仰がぐらついているような人が、教会

やクリスチャンとの付き合いを断つならば、早晩破滅がやってくるでしょう。

私たちは羊であり、周りには狼がうろうろして歩いている。

このサイトで勉強された方は、おそらく既存の教会やクリスチャンの群れ、ましてノンクリスチャンの集団に戻ることは不可能でしょう。

逆戻りはできません。

前に進むしかない。

ですから、こちら側のアプローチを拒絶しないでください。

問題があるならば、言葉にして出してください。

誤解を解消して真実の上に立たない限り、交わりは回復せず、互いに孤立し、サタンに食われるだけです。

576 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月9日(月) 午前0時31分

タイトル: 新しい啓示とか新しい聖書とか福音書とかはでて来るはずがない

ウェストコットとホートの写本や「ユダの福音書」などに共通するのは、「聖書啓示に関して最近発見されたものはあり得るか」という問題である。

100年や200年の単位で神の啓示が隠されるということはあるかもしれない。

しかし、1400年とか1900年の間、神の啓示が隠され続けたということはありません。

なぜか。

神は契約に対して誠実だから。

「最近、ユダによる福音書が発見された！」とか「新しい写本が発見された！これによっ

て、古い写本は捨てるべきだ」というようなことはありえない。

神が契約の民に対して誠実であられる限り、1900年や2000年もの間隠し事をされるわけがないから。

ウェストコットとホートのように「最近発見された新しい写本のほうが、1900年使用されてきたものよりも正確だ」みたいなことはありえない。

それから、聖書の原典が四分五裂したと仮定することも間違いだ。

歴史を通じて、文書がばらばらに分解され、学者が、正しいものをジグソーパズルのように組み立てなおす必要があるというのも、「契約に誠実な神」に反している。

神は旧約聖書の写本記者の心を支配され、一か所でも間違いがあると、その写本全体を廃棄させるほどに徹底して管理させられた。

そのような神が、聖書の原典がばらばらに四分五裂し、各地に四散することを許されるわけがない。

今の学問は、自然科学と同じようなものとして聖書をとらえている。

この冒流的なアプローチを改めない限り、聖書を正しく解釈はできないだろう。

新興宗教が間違いなのは、「もし神がいるならば、歴史のこれだけ長い間にご自身の姿を現してこられなかったわけがないから」である。

神が誠実であられる限り、新しい啓示とか新しい聖書とか福音書とかはでて来るはずがない。

577 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月10日(火) 午前9時09分

タイトル: どこかでこの悪魔の帝国の拡大を食い止めなければならない

=====

戦争か衰退かの選択に迫られたイラン、1941年の日本と同じ＝中国

2012/01/08(日) 15:41

イランは4日、再度アメリカに向けて、「ペルシャ湾には有害な外国の軍隊は必要ない」と警告した。イランは3日にも、「アメリカの空母は、二度とペルシャ湾に戻ってきてはならない」と警告を發したが、アメリカ国防省に拒否されたうえ、「虚弱」だと嘲笑された。中国網日本語版（チャイナネット）が報じた。

■米国とイランに関する他の記事・サーチナ・ハイライト

多くのアナリストは、アメリカとイランについて、「一発目のミサイルが投下される寸前」との見方を示している。レバノンのメディアは現在の状況について、「50年前のキューバ危機に似ている」と報じ、戦争開始の一步前であることを示唆した。また、アメリカのあるアナリストは現在のイランについて、「1941年の日本に非常に似ている」と述べ、アメリカを戦争への道に突き進めていると示唆した。

しかし、戦争のカギをアメリカが握っていることは明白である。AFP通信は4日、「ワシントンではイランとの衝突に関する議論が白熱している。政治家は一連の事件によって、戦争を念頭に置き始めた。戦争に肯定的なアメリカのタカ派は、イランに対抗するには、ニューヨーク警察程度の力で十分だと考えている」と報じた。

日本と同じ究極の選択を迫られたイラン

米誌「フロントページ」は、日本も現在のイランと同じ立場に置かれたことがあると紹介した。1941年、アメリカは日本に対し石油の禁輸を実施、日本は戦争するか衰退するかを選択に迫られた。日本は軍事路線を変えず、戦争に打って出た。当時の日本と同じく、イランも長い歴史を持ち、帝国だったプライドと使命感を持っている。イランが衰退に甘んじることなく、戦争を選ぶ可能性は非常に高い。（編集担当：米原裕子）

http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2012&d=0108&f=politics_0108_005.shtml

=====

アフマディネジャド大統領は、ユダヤ系である。

ユダヤ系の大統領が統治するイランに対して、ユダヤ系が支配するアメリカが攻撃を仕掛ける。

要するに茶番ということだ。

日本もかつて同じ状況にあった。

ユダヤ人が作った共産主義の幻想に取りつかれた尾崎秀実に操られた近衛のもとで、日中戦争、東亜新秩序建設にまい進。欧米の目から見て、日本がヒトラードイツと同様、退治すべき侵略者になるよう演出した。

国際的な非難を浴びる中で、ついに米国と戦争せざるをえない状況に追い込まれる。

戦後、フリーメイソンの総督がやってきて、政治・経済・教育すべてにわたって、フリーメイソンの国に変えられてしまった。

アメリカは単なる乗り物である。

図式は、「獣に乗る女」。

アメリカという獣を支配し、それを使って世界侵略するユダヤという大淫婦。

日本も、戦争に負けて、この大淫婦の獣の一匹になり、アメリカと一緒に大淫婦の世界支配のために利用されている。

まるで吸血鬼ドラキュラだ。

血を吸われた人自身が、ドラキュラに変身する。

どこかでこの悪魔の帝国の拡大を食い止めなければならない。

578 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月10日(火) 午前9時45分

タイトル: これは驚きです

次のビデオは驚きです。

ここまで徹底して、良心が崩壊した民族はほかにいないでしょう。

http://www.youtube.com/watch?v=7ogE_nvhlUI&feature=share

579 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月10日(火) 午後9時03分

タイトル: 帰化について

時間のあるときに もしよかったら返答をお願いします
先生は帰化については聖書的な意味で違憲と考えていますか？
神様がその国に生まれるようにされたのだから、合わなくてもその国で 人生をまっとうすべきだとちょっと疑問に思いました。

帰化は、問題ないでしょう。
条件が合えば帰化してもかまわないと思います。
どの国の国民になろうが自由だと思います。共産主義国とか非常に危険だとか道徳的に乱れているとかは別として。

逆に、その国がもし自分と合わないなら出ていけばいいのです。

私が在日朝鮮人の人々が間違っていると思うのは、文句を言うくせに居残り、日本人を嘲笑しているところです。

もっと謙虚になって共存を目指さないと、本当に追い出されることになります。

韓国とタイアップして、日本の乗っ取りを狙っていると思われるふしが頻繁に見えます。

彼らがやっていることは、人口侵略であり、到底見逃すことはできません。

まともに静かに生活するならば、われわれ日本人は寛容なので、許容するでしょうが、今のような傲慢な態度であれば、早晚、衝突が発生し、在日の方々は、生活の場を失う恐れ

があります。

なぜならば、日本人が本気を出せば、人数からいって在日の人々には勝ち目はないからです。

パウロの命令は、「立てられた秩序はすべて神の任命による」とありますので、既存の秩序を尊重すべきです。

580 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月11日(水) 午前6時16分

タイトル: われわれの祈りこそが鍵なのです

(1)

私の召された意味でもあり、また、強い願望でもあるものは、「世界の構造を明らかにし、人々の行くべき道を聖書から示す」ということです。

単に、今までの神学的伝統を基準として語るのではなく、世の中を素の目で見、聖書を基準として解釈し、それに対する対処法を考える。

このようにして学んできたことを土台として、昔学校などで学んだことを再度調べてみると、隠れていた「意図」が見えてきます。

歴史学者は、近代史をロスチャイルドの世界政府運動という視点から見せていません。これは決定的なミスです。

ロスチャイルドは、近代国家を作り、中央銀行を作り、金融システムを通じて世界の富が自分に集まる構造を作ってきました。

それは、世界単一政府を作って、ユダヤ人による世界支配を実現するためです。ユダヤ人といっても、普通のユダヤ人ではありません。イルミナティのユダヤ人です。

ルシファーを崇拝する人々が世界を支配する。つまり、この世界を悪魔礼拝の世界にするのがロスチャイルドの陰謀の目的です。そのために世界は動いている。

金融トレーダーの岩本氏が言うように、株式市場を見ると、ある特定の人々が意図的に世界を動かしていることが分かる。何か重大な事件が起きる前に、ちょっとした予兆が値動きに出る。

彼女を訓練したベテラントレーダーによると、「この世界で偶然に起こることのほうが少ない」と。

これまでロスチャイルドはうまく隠してことを実行してきたが、今はインターネットによって情報が一瞬のうちに世界を駆け回る。

世界に散らばっている預言のたまものを持つ者たちが発信する。隠れた意図がばれるのが早い。

昔なら TPP もなかなか見抜けなかったでしょう。しかし、今はツイッターで事件や事故が実況中継で流れる。ユーストリームで、リアルタイムで動画が流れる。

仙谷によると、政治家はインターネット上での自分の評価に戦々恐々としているらしいです。だから、インターネット、とくに彼らもやっているツイッターでの書き込みが効果的なのに分かります。

じゃんじゃん情報をばらまいて、圧力をかけましょう。

(2)

原爆製造投下計画が練られたボヘミアン・グローブにおいて、悪魔崇拝が行われていたことがばれてしまった。そこでは、世界を動かす VIP たちがホモセクシュアル・パーティを開きながら、フクロウの像を拝み、モロクへの犠牲をささげていた。

昔なら「そんな馬鹿な」と一笑にふされたことでしょう。しかし、今は、それが動画で暴露されている。誰でもその悪魔崇拝の様子を見ることができる。

これまでは自分たちの計画を暴露する人々が現れると命を奪ったり、名誉を奪うことによって闇に葬ってきた。しかし、今では、そんなことでは火を消すことは不可能。無数の人々が情報を共有してしまった。

あとは、もしクリスチャンが具体的にサタンの計画の粉碎を祈るならば、ロスチャイルドの計画は完全につぶれるでしょう。

デイビッド・ロックフェラーやキッシンジャー、ブッシュを切り捨てるという茶番劇を演じて自分だけは生き残ることを考えているかもしれないが、われわれは、そんなのすぐに見抜く。

神は正しい道を示してくださるので、ごまかしは絶対にきかない。

この巨大な問題は、われわれの日常生活に直接的に影響を与えています。けっして与太話ではない。

今のほとんどのクリスチャンは、ロスチャイルドが作った聖書と神学によって騙されている。

私の HP をじっくり読んでいただければことの重大さをよくわかっていただけるでしょう。

そして、世間のノンクリスチャンのネットリーダーでは絶対に問題は解決しないこともわかるでしょう。

これは、キリスト教の知識、聖書の知識、霊的世界の知識がない限り絶対に解決できない問題なのです。

解決は、われわれの祈りにある。

われわれが祈ることによって、山が動く。祈らないと、何も変わりません。ノンクリスチャンのネットリーダーはある程度暴露することだけ是可以するでしょう。しかし、霊的な世界のことは暴けない。だから、本質をつかめない。

そして、その本質的な部分にメスを入れることができないので、われわれクリスチャンの祈りの部隊が絶対に必要なのです。

われわれしかサタンに対抗できる者がいないのですから、われわれが後退するならば、世界はこのまま悪魔に支配されて、大虐殺が起こり、世界の人口は 5~10 億人になるでしょう。

悪魔の願望は、人を殺し、生き残った人々を奴隷にすることです。

<http://www.youtube.com/watch?v=YYz8hAnyNFQ>

われわれの祈りこそが鍵なのです。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 11 日(水) 午前 9 時 00 分

タイトル: 松下政経塾と CIA

松下政経塾卒業生は野田や前原など数々の売国奴を排出しているが、その理由を説明する興味深いブログがあった。

<http://ootsuru.cocolog-nifty.com/blog/2011/09/post-c48b.html>

まとめると、

「前原とか玄葉とか、松下政経塾の卒業生はなぜ売国奴なのか。

松下幸之助自身はそのような輩ではなかったと思うが。

実は、政経塾の目的は、「日本を共産主義から守る」ためであり、その結果、米国との結びつきが強くなったらしい。

占領軍によって財閥と認定された松下家がいち早く指定解除できたのは、密約があったのではないか。

岸や笹川、児玉、正力は、戦後米国の手足となるという約束のもとで、巣鴨プリズンから釈放されたり、利権を与えられたりしたが、松下家の場合もそういう交換協定があったのではないか。」

前原の行動を見ていると、松下幸之助の理想とまったく逆のことをやっているように見えるが、それは、けっして前原の裏切りではなく、設立当初から政経塾は CIA の下部組織であったためなのだろう。

自民党は清和会によって、民主党は松下政経塾によって CIA のコントロールを受けているということなのかもしれない。

582 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月11日(水) 午前10時16分

タイトル: 311の前になぜか上がった2つの会社の住宅関連株

<http://www.youtube.com/watch?v=XMNvxV7R4wA>

583 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月11日(水) 午後9時57分

タイトル: 南京大虐殺はなかった証言 by 鈴木アナウンサー

<http://kukkuri.blog58.fc2.com/blog-entry-962.html>

584 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月11日(水) 午後11時22分

タイトル: 握りしめると悪魔に利用される

下記のビデオにロシアの悪魔祓いの様子が写っている。

<http://www.youtube.com/watch?v=uWRIetKPEcM&feature=related>

1991年に、知り合いのロシア人クリスチャンの娘さんが悪霊に取りつかれたため日本に精神科で治療を受けるためにやってきた。

大阪の教会が招いたのであるが、主の導きにより、たまたま私がおその大阪の教会を訪問しており、通訳として病院に同行した。

症状としてはこの女性と似たものがあった。

父親に向かって「豚！」と叫んだり、突然持っていたコップを床に叩きつけたり、道路に

突然飛び出して車に轢かれそうになったり。

一緒にいるわれわれも病気になるのではないかと思うくらい疲労困憊した。

常識的に行動しない人と一緒にいると本当に精神的にまいってしまう。

これらの女性たちはなぜ「殺してやる」とか「豚」とか言うのだろうか。

ビデオの女性は、ある時、人を呪ってから悪魔が入ったといった。

悪魔に隙を与えたのだ。

いったん入ると、それはなかなか出て行こうとしない。

自分が好きな罪、習慣的に犯している罪があると、悪魔はそこを根城にして、そこに居座ろうとする。

悪魔の願望は、われわれの人格の完全支配である。

しかし、完全に支配するまでには段階がある。

徐々に侵食していくのである。

最初は、嘘や、家族のものの盗みなどの軽微なものから始まる。

そこで、罪を正しく処理しないと、習慣化し、悪魔の牙城になる。

悪魔祓いをやると、悪霊が「だって、こいつがこの罪を楽しんでいるからだ」と答える。

悪霊が根付いている場合、それを行うときに、人間は目の色が変わる。

いつも他人に見せている目つきではない。

こういう変化は、女性のほうがよく気が付く。

アル中の人が、長い禁欲の後に、誘惑に負けて飲んでしまうときに、その人の目の色は完

全に変わる。

ものすごい倦怠に襲われることがある。

これを病気とか体調などと解釈するが多いし、実際にそうかもしれない。

しかし、悪霊による倦怠もある。

カウンセリングをしていたある人がひどい倦怠感があつて、起きることができないという。

そのあと、私が同じ症状になった。その人は治った。

私が、祈りあっている友人に話すと、そんな「倦怠感が染るなどという馬鹿な話はない」と鼻で笑った。

しかし、その後彼も同じ症状になり、私は治った。

神学生になったときに、私は霊的に誘惑が格段に厳しくなった。

教会の長老などは注意しないとやられる。悪魔は教会のトップの人を狙う。

長老の場合は、牧師を苦しめる誘惑に陥る。牧師を非難する霊、革命を起こす霊、権力奪取の霊などに注意すべきだ。

牧師の場合は、様々な霊的攻撃を受けるが、女性には注意すべきだ。悪魔はハニートラップにかけるために女性を送り込むことがある。クリスチャンになり立ての人の場合も、同じ理由で、異性に伝道するのはお勧めしない。

福音が働くところに、悪魔も働くからだ。

自分では普通だと思っけていても、知らないうちに入られていることがある。

そういった場合に、イエスの御名によって「縛る」とか「出て行け」というと、ざあーつと何か離れる感じがする。その場合背筋がぞくぞくすることが多い。

自分が固執しているものがある場合、それが様々な障害を起こすことがある。人間関係が

おかしくなったり、トラブルを巻き起こすことがある。

そういう場合は、神に祈ることである。「私に、あなたに対してまだ捧げていないものがありましたら教えてください」と。

示されたら「〇〇でしょうか」と尋ねる。それが正しいと平安が戻る。

捧げていないものは、われわれから平安を奪って、問題のタネになる。

献身していないもの、固執するもの、自分にとって幼いころからコンプレックスになっているもの。

こういうものは、悪霊の住みかになって、われわれを苦しめることがある。

われわれは、この地上では、所有できないのである。すべては神から預けられているものであるから、それを所有する場合には、いつでも取られてかまわないように、手を開いて所有すべきだ。

握るとダメになる。自分だけではなく、その所有しているものもダメになる。

モーセに率いられたイスラエル人は、天から降ってきたマナを蓄えると、腐り始めた。自分でこだわっているものがあれば、それは自分の内側で腐り始め、においをまき散らす。

悪霊がそれを餌にして住みついて、だんだんあなたを振り回すようになる。完全な奴隷になれば、自分の意志とまったく関係なく犯罪を犯すまでになる。

悪霊が望んでいることは、あなたの内側を全部くりぬいて、外側の皮だけにすることである。外面では人間だが、内部が全部乗っ取られている状態にしたいのだ。

世界の人口を 5 億人に減らす計画を立てて実行している人々は、自分の地位や財産と引き換えに悪魔の奴隷になり、内側を全部くりぬかれた人である。

585 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 12 日(木) 午前 0 時 59 分

タイトル: 腐れ縁はスパッと切って捨てるに限る

- > 神が人間を選別するように、神の子である我々クリスチャンも付き合う人間を選別する必要がありますね。
- >
- > 特に恩をあだで返す人間には即刻レッドカードを出して退場させなければなりません
(人間関係の棚卸)
- >
- > 前々から切ろうと思っていた人間が、いきなり恩をあだで返してきたので即刻レッドカードです。
- >
- > 下手に我慢をして付き合いを続けても、ろくでもない人間からは何も良い事は無く悪い事しか起こらない事を長い人生経験から嫌というほど知っています。
- >
- > その点で、恩をあだで返してくる人間はハッキリと判るので切りやすくありがたいくらいです (笑)
- >
- > 不思議な事には、腐れ縁を切った相手は外国に行ったり、あの世に行ったりして二度と会う事が無いのです。
- >
- > クリスチャンに仇なす者は神に仇なしているのだなあ、と実感します。
- >
- > ポイントは、電話であれ口頭であれハッキリと絶縁宣言をする事だと気が付きました。
- > やはり言葉には力が有るのです。
- >
- > 小生のような者でさえ棚卸をしているのですから、神の棚卸が着々と進んでいるのは確かでしょう。
- >
- > 神につくか、この世 (の神) につくか。

まったく同感です。

そういう人々は、最後にわれわれと出会うような気がします。

私は、最終段階にある集団や人物と会うことがあり、こちらにひどいことをして別れた後に、つぶれたり、亡くなったり、四分五裂したりとかが多いです。

クリスチャンが御言葉にしたがって対応することは、相手にとっては「リトマス試験紙」なのでしょう。

白黒はっきりする。

だから、審判も早い。

白黒はっきりした後も付き合おうと、本当にろくなことがない。

裁きに巻き込まれます。

腐れ縁は、スパッと切って捨てるに限ります。

586 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月12日(木) 午後4時51分

タイトル: ロン・ポールと再建主義

Michelle Goldberg が、デイリー・ビースト紙 2012年1月3日付において「大統領候補ロン・ポールのルーツはキリスト教再建主義である」と述べた。

<http://www.thedailybeast.com/articles/2012/01/02/ron-paul-s-christian-reconstructionist-roots.html>

大統領戦から脱落したバックマンは、フランシス・シェーファーの弟子と言われ、福音派の病的思想であるシオニズムを強力に主張し、オバマがイランに対して軟弱であるとして非難した。ロン・ポールは、これに対して、イスラエルへの支援を停止することを主張している。

ロン・ポールは、先月のアイオワ州のディベートにおいて、「イラン問題において真に危険なのは、アメリカの過剰反応である」と述べた。これに対して、バックマンは、「アメリカの安全保障にとって、もっとも危険な発言をした」とポール氏を非難した。

バックマンは、同性愛者婚に反対していたが、ロン・ポールは、異性間結婚だけを合法とする 2006年の憲法修正案に反対した。

ロン・ポールは、アイオワ戦の最終日に、かつてバックマンを支持していた多数の極右の福音派クリスチャンを味方につけたようである。

12月28日付のCNNの世論調査によると、ロン・ポールは、福音派の支持者の数においてリック・サントラムを追随している。バックマンの支持者にとって、第2の候補者は、ロン・ポールかリック・サントラムであるが、ロン・ポール支持者の第2候補はミシェル・バックマンしかいない。

熱心なバプテストであるロン・ポールは、自らの信仰的立場について詳しく語りたがらないが、米国でもっとも過激な神裁主義者からの強固な支持が集まっていることは事実である。彼のことを単なるリバタリアンとしか考えていない人は、この点を見落としている。

だから、ロン・ポールが、同性愛者の処刑を求める支持者を持つネブラスカ州の牧師フィル・ケイザーからの支援を求めたとしても驚くべきではない。

さらに、ポールのアイオワ州ディレクターであるマイク・ヒースが、かつて「同性愛に関する真実を求める米国人 (Americans for Truth About Homosexuality)」の理事長を務めていたとしても衝撃ではない。この団体は、南貧困法律センターによって憎悪集団と認定された。

ポールがアイオワで勝利するならば、実質的に、今日までキリスト教右派においても過激派とみられてきたファンダメンタリストの教派が勝利したことになる。

ポールの宗教右派からの支持について理解するには、神学について少し踏み込む必要がある。ほとんどのアメリカ福音派の人々は、プレ・ミレ・ディスペンセーションナリストである。「神は、イスラエル国について特別な計画を持っておられる。イスラエルは、世の終わり、キリストの再臨の際に中心的な役割を演じるだろう」と信じている。

福音派の中でも少数の人々は、改革神学もしくは契約神学と呼ばれる教えに従っている。これは、デースが述べたように「今日、教会こそが旧約聖書においてイスラエルが演じていた役割を演じていると教える傾向がある」。

換言すれば、クリスチャンは新しい選民である。契約神学者全員が反イスラエルであるとは限らないが、イスラエルに特別な宗教的意義を与えることをしない。強調すべきことであるが、契約神学者たちのリベラル度は、主流の福音派のクリスチャンのそれと同じか、

それよりも低い。

実際、彼らは福音派よりもはるかに右寄りである。ディスペンセーションナリストは、「キリストはすぐに再臨し、地上を聖書に基づいて支配されるだろう」と述べるが、契約神学者たちは、キリストの御国を建設するのは人間の仕事であり、御国を建設した後に再臨があると述べる傾向にある。

契約神学のもっとも急進的な派は、キリスト教再建主義と呼ばれる神学である。これは、R・J・ラッシュドゥーニーが創始した運動で、レビ記を法律化し、同性愛者・冒涇者・不貞の夫人、他の無数の罪人を処刑すべきだと述べる。[訳注：再建主義をまったく誤解している。]

概して、宗教右派の主だった人々は、再建運動に由来する考え方を実践してきたにもかかわらず、再建主義から退却した。

たとえば、1981年に、ラッシュドゥーニーの義理の息子であり、キリスト教再建主義の主要な理論家であるゲイリー・ノースは、「クリスチャンによる政治的リーダーシップの獲得を促進しなければならない。クリスチャンは、現在の党組織の中で政治的組織化と、既存の政治体制への浸透を開始しなければならない」と述べた。

これこそ、クリスチャン同盟のために共和党を掌握するためにラルフ・リードが実践したことである。しかし、1996年の著書においてリードは、キリスト教再建主義を「自由で民主的な社会におけるもっとも基本的な市民的自由を脅かす権威主義的な思想」と評した。

ロン・ポールは長い間、キリスト教再建主義者たちにとって本命の政治家であった。ゲイリー・ノースは、テキサス州連邦議会議員の第一期においてスタッフを務め、ポールのことを「自己を律することのできる大聖人」と呼んだ。2008年、憲法党の創立者で再建主義者のハワード・フィリップスは、ポールが、共和党大会の近くで開催したラリーにおいてメインスピーカーを務めた。

アイオワ州ペラの「贖罪者なるキリスト教会」牧師で、ポールの支持者であるブライアン・D・ノルダーは「ロン・ポールの有力支持者として私が知っている人々は、再建主義保守派である」と述べた。

ポールのリバタリアン主義は、神裁政治と真逆に見えるかもしれないが、連邦レベルで神裁政治を導入しようとする場合にのみ言えることである。概して、キリスト教再建主義者は、過激な地方分権論者であり、共同体は男性の宗教指導者によって統治されるべきであ

ると考える。[訳注：私はそのような意見を聞いたことがないし、そうは思わない。] 最高裁や連邦政府の権力から解放された地方政府が公的宗教を採用し、聖書法を施行できるとする。(つづく)

587 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月12日(木) 午後6時24分

タイトル: 神と政治1

1980年代に制作された、再建主義を特集した番組の翻訳です。

<http://www.youtube.com/watch?v=oRQelzVR6YM&feature=youtu.be>

588 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月12日(木) 午後9時11分

タイトル: われわれはサタンの時代を終わらせるために召し出された

- > クリスマンになったばかりの頃は、全く実感が無かったのです。
- > クリスマンを厚遇した人たちが神に祝福されて、冷遇した人達が退けられるという事実に。
- >
- > 当時はプレ・ミレの「自称クリスマン」でしたから神の祝福が無かったのでしょうか。
- >
- > 周りの教会員達を見ても祝福されている人は一人もいませんでした（自分を含めて）
- >
- > ところが、牧師の異常性（性格と行動）が酷くなって教会を脱退。
- >
- > 神様直結、介在物無しの信仰を保っていたらミレニウムホームページに出会い、ポスト・ミレに宗旨替え出来ました。
- >
- > 思えば、クリスマンになる際に大きな働きをした教会と牧師でしたが、それだけの役目だったのでしょう。
- > プレ・ミレの異常性についても経験出来ましたから。

>

> 牧師が異常になった事に感謝したいくらいです（出エジプト）

> 殆どの教会員達はそれに気づかず残っているみたいですから（当然プレ・ミレのまま）。

>

> 現在では、良好な関係を保っている組織や個人は発展し、逆の組織や個人は廃業したり左遷・リストラされたりとハッキリと現れてくるのでビックリです。

>

> 考えてみれば旧約時代の祝福がイスラエルを厚遇した人達に有ったように、新約時代の祝福がクリスチャン（ポスト・ミレ）を厚遇した人達に現れてくるのは当然と言えましょう。

>

> 日本においてキリスト教（プレ・ミレ教、敗北の神学）が奮わないのも、直接ポスト・ミレになる人達のための神のご計画なのだと思えてなりません。

>

まったくもって同感です。

私の場合は、まずポスト・ミレを言うと、牧師であれ、長老であれ、紳士淑女のみなさまが、逆上される。そして、自分を破壊していく。

こちらは何もしていないのに、一人で暴れ出してやってはならないことや言ってはいけないことをどんどんやり始める。

もはや裁きとしか言いようがありません。

サタンは、クリスチャンがポスト・ミレになることを非常に嫌っています。

そして、サタンの滅亡を祈ることをさらに嫌っています。

悪魔祓いのようにわれわれは、この地球からサタンを追い出すために祈ります。

すると、サタンは「わかった、わかった。今出ていくから、俺を苦しめないでくれ」と叫びます。

それまでは、プレ・ミレによって「再臨まで、サタンを追い出すことはできない」と信じ込ませてきたのです。

プレ・ミレのクリスチャンは、「そうか。今祈っても無駄だ。再臨を期待しよう」と祈らないから、サタンは妨害されない。

こうやって教えによって、まずクリスチャンを縛っておいて、それから、世界を戦争やテロで満たしていった。

われわれは、こういったサタンの時代を終わらせるために召し出されたのです。

589 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月12日(木) 午後11時07分

タイトル: 悪魔の数字11と46

阪神大震災 (117) 1995年1月17日午前5時46分

同時多発テ (911) 2001年9月11日午前8時46分

東日本大震災 (311) 2011年3月11日午後2時46分

「ロサンゼルス決戦」の宇宙人襲来 (411) 2011年4月11日午前4時46分

「ロサンゼルス決戦」の上演 (311) 2011年3月11日

11と46という数字は暗号だろう。

秘密に事をなしているが、どうしても世間に自分たちの力を誇示したいということか。

しかし、これが自らの破滅を招くことになろうとは考慮しなかったようだ。

なにせ、われわれは、このような陰謀があることを知り、祈るのだから。

<http://www.youtube.com/watch?v=p0PjWK4ulOI>

590 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月13日(金) 午後10時50分

タイトル: 偶然なはずはない

阪神大震災（117） 1995年1月17日午前5時46分
同時多発テロ（911） 2001年9月11日午前8時46分
東日本大震災（311） 2011年3月11日午後2時46分
映画「ロサンゼルス決戦」の宇宙人襲来日（411） 2011年4月11日午前4時46分
映画「ロサンゼルス決戦」の初上演日（311） 2011年3月11日

たまたま46がこれだけそろってのは奇跡以外の何物でもない。

分は、60あるので、たまたま46になる確率は、1/60。

近年発生した世界的事件である阪神大震災、同時多発テロ、東日本大震災がすべて46分に起こる確率は、

$60 \times 60 \times 60$ 分の1=216000分の1。

さらに、映画「ロサンゼルス決戦」の宇宙人の攻撃開始時間が偶然46分であることも考察に加えることができるとすれば（確率に詳しい方教えてください）、

$60 \times 60 \times 60 \times 60$ 分の1=12,960,000分の1。

これだけでもすごいが、4つとも日付の中に11が含まれている確率を合わせると、ものすごい数字になるだろう。

もうここまで来たら「意図的」としか言いようがない。

これら3つの事件と映画の日付は、「意図的・計画的に事件が進んだ」ということを誇示するために、46と11という数字を選んだのである。

591 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月14日(土) 午前3時20分

タイトル: 核実験による人工地震の証拠

NHKによると、米国が地下核実験で、マグニチュード6.8の地震を発生させた。

http://www.youtube.com/watch?feature=player_detailpage&v=z-L4VhqTJ-s#t=88s

592 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月14日(土) 午前8時35分

タイトル: 米国や韓国は日本人に伝道できない

再建主義を標榜する **Biblical Blueprint** の関連サイトから

「パールハーバーの大虐殺を引き起こした日本人が、その日本軍を『かつては憎んでいた』
アメリカ人宣教師のトラクトで救われた、ああ、主の恵みいつくしみ・・・」という、い
かにも・・・の記事：

<http://www.providentialhistoryfestival.com/216/gods-hand-in-history-pearl-harbor/>

再建主義陣営も一枚岩でないのはしかたないとしても、
それにしても、
この程度のオツムでは・・・

ひどいですね。幼稚すぎる。

今のイラクを見るとよくわかりますが、アメリカは、聖職者殺害、イラン兵の死体侮辱な
ど、相手を怒らせることをさんざんやっている。

様々な挑発によって戦争に持っていかようとしている。

米墨戦争でもベトナム戦争でも同じだった。

米国宣教師の「お涙ちょうだい」物語は、「人質事件で立てこもった犯人が示したちょっと
した同情に涙を流した被害者のそれ」でしかない。

日本にとって米国とは、侵略者以外の何物でもなかった。

だから、米国による伝道とは、侵略者の伝道であり、日本人が寛容だから成り立ってきた

もので（覚醒とともに成り立たなくなっているが）、それをイスラムの人々にやったら泥沼になる。

私は、日本の伝道は、この「侵略者による押し付け美談」のレベルから出なければならぬと思います。

神輿を担いでいることから分かるように、日本人はもともと契約の民だった。

陰陽道は表は九字だが、裏は十字です。

表は五芒星だが、裏は六芒星。

<http://intec-j.seesaa.net/category/1581612-1.html>

日本の正体とは「隠れユダヤ系キリスト教」であり、しかも、初代キリスト教の人々がやってきて創立した世界最古の歴史を持つ。

異邦人キリスト教は、ローマからヨーロッパ、米国で発展したが、こちらは、ユダヤ系キリスト教であり、本家本元です。

そういうものとして伝道する以外に、日本人にキリスト教は伝わらないでしょう。

私たちは、宣教をアメリカやまして韓国になど頼ってはならない。

民度が低い文化は高い文化に影響を与えることは不可能だからです。

戦争三昧の米国、反日韓国では、日本人に影響を与えることは無理です。

593 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月14日(土) 午前8時57分

タイトル: 完全にフリーメイソンにやられてきた戦後日本人クリスチャン

広島・長崎・沖縄の（あるいは出身の）牧師でさえ、「パールハーバーごめんなさい！」

って土下座して号泣するのがいますからね。

日本の対中国参戦は、共産主義者による暴挙と誘導によります。
石原莞爾という世界統一政府論者と尾崎秀実というマルキストによって政府はやりたくない戦争に引きずりこまれた。

パール・ハーバーは、フリーメイソンの山本五十六による強引な主張によって引き起こされた愚策であり、ミッドウェー作戦も山本による意図的な敗戦です。

パール・ハーバーは、明らかに米国側の希望するものであり、ボロボロの軍艦を並べておいたところを、奇襲するつもりもないのに、売国奴野村と来栖の遅刻によって奇襲ということになった。

しかも、事前に、米国は中国に軍事援助をしており、軍事顧問まで動員していた。それに、後で暴露されたが、パール・ハーバー以前に対日空襲を計画していた。

パール・ハーバーは奇襲ということになっているが、攻撃の 1 時間前に、ハワイ沖で米軍が日本軍の潜水艦を沈めている。つまり、米国側は軍事行動について察知していたということだ。

以上を見ても明らかに、あの戦争は、フリーメイソン・世界統一政府論者・共産主義者による謀略によって引き起こされたものであり、目的は、米国による日本侵略と、日本の世界政府への取り込みにあった。

米国が作ったばかみtainな話を信じて、日本原罪論を奉じ、米国崇拜という夢遊病に陥ってきたのが戦後の日本人クリスチャンです。

完全にフリーメイソンにやられてきた。

594 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 14 日(土) 午前 9 時 08 分

タイトル: 日本原罪論という夢から目覚めよ

ダニエルのとりなしの祈りの話にしても、本質すつとぼして「とにかく祈りましょう」

そうそう。あの「甲子園」にはじまって、リバイバル何とかのときは必ず「ごめんなさい」をやらされた（今も？）

偽りの劣等感・罪悪感、そしてさらに「イエロー・モンキーは“猿まね”しかできない」という催眠にもひっかかって、日本の教会はアメリカ・韓国の「コピペ」ばかりやってきた！！！！

つまり、日本人クリスチャンは、「自分でものを言う」ということをしてこなかった。社会の要請に応じて、妥当なものを提供してきた。

すなわち、「出世したかった」のです。

この場合、出世とは、米国宣教師に気に入られて、米国からの献金に与ることです。

聖書は何を言っているのか、という高みに立って、そこから現実に降りていくという方法ではなく、世論という高みを見上げて、地上からそこに這い上がろうというメソッドを取ってきた。

今の神学校、牧師、教会、みんな同じです。

要するに芸人と同じで「世間に受け入れられるか」という基準です。

もちろん、余計な摩擦は避けたほうがいいから、世の人々の気持ちを斟酌することも重要ですが、本筋は、「聖書を説く」ということです。

595 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月14日(土) 午前9時20分

タイトル: 米国や韓国は日本人に伝道できない (訂正)

イラク→イラン

フリーメイソンにとって、46 という数字は「(知識の) 光」を意味する。

知識を救い主としてあがめるグノーシスの連中が考えそうなことだ。

597 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 14 日(土) 午前 11 時 56 分

タイトル: 11 と 46 で象徴されるフリーメイソンの理念は中立ではない

11 と 46 という数字が、近年の一連の重大事件とかかわっている。

11 は 10 (十戒) +1=神の法の否定。

46 は「知識の光」を表す。

つまり、11 と 46 が組み合わせられると、

「神の法を否定して、ルシファーの光を選択する」というメッセージであろうか。

まさに、フリーメイソンが学校教育を通じて子供たちに教えてきたことだ。

「聖書を捨てよう。宗教的に中立な知識を獲得しよう」と。

しかし、宗教的に中立とは、「サタンに従う」と同義である。

権力は真空を嫌う。

神の主権を拒否したら、中立になるのではなく、サタンに支配されるのだ。

なぜならば、サタンは神の軍隊が撤退したとみると、そこを占領しにやってくるからである。

この世界は陣取り合戦をやっており、中立などありえない。

11 と 46 で象徴されるフリーメイソンの理念を絶対に無色透明などと考えないようにしよう。

598 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 15 日(日) 午前 6 時 16 分

タイトル: KJV はベーコンによって毀損されていたのか？

KJV の創世記 1:1-3 は以下の通り

In the beginning God created the heaven and the earth.
And the earth was without form, and void; and darkness was upon the face of the deep.
And the Spirit of God moved upon the face of the waters.
And God said, Let there be light: and there was light.

46 番目は Let there be light の light です。

ありがとうございます。

ちょっとショッキングなことですが、どうやら KJV (キング・ジェームズ訳) の編纂にフランシス・ベーコンが関与しているという説があります。

http://thelostsecretofwilliamshakespeare.com/downloads/BACON_AND_THE_ROSICRUCIAN-MASONIC_TREASURE_TRAIL.pdf

最近知ったのですが、フランシス・ベーコンは、フリーメイソンであり、中世から存在すると言われる秘密結社薔薇十字団とも関係が深い。

それで、ベーコンが KJV の編纂に際して文言の中にフリーメイソンのメッセージを織り込んでいるのではないかというのです。

創世記の最初から 46 番目に「光」が来る。これは、メイソンの中心概念です。つまり、ルシファーの光。グノーシスを先祖に持つ啓蒙主義の中心思想です。

ベーコンは、この「46=光」の象徴を用いて、詩篇 46 篇の中に自らのメッセージを隠したといわれます。なぜ詩篇かというと、

1. 詩篇の構造は、ベーコンが「スーパーメッセージ」を書き込むための理想的な石板であるから。

2. 46 という数値は、45 と 47 の間にある。これらの 3 つの数字を連続して並べると（つまり、詩篇 45~47 篇）、フリーメイソンが利用するピタゴラス、カイ、シンプルの各暗号を利用したコードを表示する上で優れた背景になる。

ピタゴラス、カイ、シンプルの各暗号については、

http://www.freemasons-freemasonry.com/freemasons_square_compasses.html を参照。

詩篇 45 篇の 45 は、1~9 のピタゴラス暗号においてシェークスピアという名前と対応する。

さらに、45 篇には節が 17 ある。

ピタゴラス表における数字 17 は、ベーコンという名前とマッチする。

なぜ自分の名前を KJV の中に忍ばせたかという、「それをあらゆる世代の人々に思い出してもらうため」である。

カイ暗号では、クリスチャン・ローゼンクロイツ（ヨーロッパ中世の伝説上の魔術師で、薔薇十字団の創設者と言われる）は、数字 406（つまり、46）と対応する。

詩篇 46 篇において、前から数えて 46 番目の言葉は **shake** である。後ろから数えて 47 番目（セラを含める。含めないと 46 番目）は **spear** である。2 つあわせて **Shakespear**（シェークスピア）である。

なぜ、シェークスピアなのか。

なぜ、ベーコンは、シェークスピアの名前を KJV の中に忍ばせたのか。

それは、彼自身がシェークスピアだったからではないか。

「ストラトフォーディアン（シェークスピアの戯曲が彼自身によって著されたと主張する人々）も、オックスフォーディアン（その戯曲がオックスフォードの伯爵 Edward de Vere の作であると主張する人々）も、ベーコンがシェークスピアの著作の真作性を判断する上で必要な基準をすべて満たしている人物であることを認めている」(Richard Allen Wagner, BACON AND THE ROSICRUCIAN-MASONIC TREASURE TRAIL, p. 114.)。

ベーコンは隠れ詩人であり、きわめて大きな文才に恵まれていたという (Ibid., p.114)。

KJV は、やはりルネサンスの影響を受け、啓蒙主義者によって毀損されていたのか。

エラスムスが編者であるという Textus Receptus (KJV の底本となったギリシャ語本文) も、彼によって毀損されている可能性があるかもしれない。

599 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 15 日(日) 午後 2 時 09 分

タイトル: 11 と 46 という数字はフリーメイソンのマークの数字表現か

(1)

グノーシスは、「知識によって救われる」という教えだが、この知識とは、「善悪の知識の木から取って食べることによる知識」である。

つまり、神に対する反逆の知識。

この知識による救いという教理を中心に組織化されたものがフリーメイソンである。

KJV で創世記の最初から 46 番目の言葉が light (光)。

だから、46 という数字は、「知識の光」という意味でフリーメイソンの象徴である。

(2)

11 と 46 という数字の組み合わせについて、次の考えも成り立つのではないか。

フリーメイソンの魔法陣は、9 つの柵目を縦から読んでも横から読んでもななめから読んで

も 15 になる。これは、陰陽師のそれと同じ。(同一のルーツ、つまり、カバラから出ているからか。)

この魔法陣の上にフリーメイソンのマークをかぶせると、11 と 23 の組み合わせが出てくる。

<http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/freemasonnumbertable.gif>

$23 \times 2 = 46$

つまり、11 と 46 は、フリーメイソンのマークの数字表現であるかもしれない。

600 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 15 日(日) 午後 2 時 48 分

タイトル: 悪魔は聖書を毀損したいのである

ウェストコットとホートの選んだ写本に基づく翻訳では、イエスの御名が数多く消されている。

これは、フリーメイソンのニュー・ワールド・オーダーが、イエスを中心とした新体制ではなく、ルシファーを中心としたものであるとの考えに導くためと思われる。

統一協会の教えは、「イエスは失敗者であった」というものだ。だから新しい世界をもう一度作り直す必要があると。そこで再臨のメシア、文鮮明が登場すると。

プレ・ミレも同じである。「初臨のキリストは失敗した。旧約の預言を成就できなかった。だから、再臨が必要だ」との教えだ。

ウェストコットとホート→統一協会→プレ・ミレ福音派

これは、すべて同じ源から発している。

それは、

グノーシス→フリーメイソン→啓蒙主義である。

つまり、「善悪の知識の木から取って食べることによって救われる」教である。

(2)

聖書に関する問題は、ウェストコットとホートだけではないかもしれない。

KJV がすでにベーコンを通じてフリーメイソンの仕掛けを組み込まれている恐れがある。

tomomahi 氏によると、同じ Textus Receptus を底本とする Geneva Bible では、創世記 46 番目の単語は God である。

God を light に変えるなどグノーシスのやりそうなことである。

神の代わりに「光をもたらす者 (ルシファー)」を崇拝せよというメッセージか。

(3)

仮に KJV がフリーメイソンの道具になっているとすれば、啓蒙主義側による攻撃はすでに KJV から始まっていたということになる。

そして、われわれは、KJV よりも、それより 51 年早く、ビザンチン写本→Textus Receptus に基づく Geneva Bible を英語翻訳聖書の基準にしなければならないということになるだろう。

Wikipedia によると、Geneva Bible は、英語訳聖書としては歴史的にもっとも重要な翻訳である。16 世紀のプロテスタント運動にとって主要な聖書であり、オリバー・クロムウェルやジョン・ミルトン、ジョン・ノックス、ジョン・バニヤンが使用した聖書である。

メイフラワー号でアメリカに持ち込まれた聖書の一つであり、多くの独立派の人々が読んだ。クロムウェルの軍隊が尊重した聖書であった。

(4)

なぜ 17 世紀に KJV が出来たのに、16 世紀にあった宗教改革の熱が冷めてしまったのかは、この KJV の問題に起因するのかもしれない。

悪魔側は、聖書をいじくりたいのである。

聖書をいじくれば、クリスチャンの信仰の土台そのものを破壊できる。

神の国の進展は、聖書を毀損することによって抑えることができると考えているのだろう。

KJV に隠された仕掛けについては、研究者が現れることを切望する。

601 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 15 日(日) 午後 7 時 11 分

タイトル: プレ・ミレを信じ続けることは、偽預言者の罪、占いの罪である

今のクリスチャンで熱心な人は、残念ながらプレ・ミレである。

ブログなどをやって、現実の問題と組み合わせて熱心に信仰を説いている人は、だいたい「この終末の時代に…」という。

せっかく熱心なのに残念なことだ。

今の時代を「終末の時代」と定義することによって、その宣教活動が全て無意味になっている。

なぜ無意味か？

われわれの基本的な使命は、「地を従えよ」であるから。

この地上を支配することがわれわれの中心的な使命であるから。

「まもなく再臨があります。再臨の前にはサタンが全世界を支配し、すべてのクリスチャンの業は破壊されます」と教えることによって、実質的にその伝道者は、「地を従えるな」と言っているのだ。

ジョン・タイターとかジュセリーノとか、いわゆる予言者と呼ばれる人々は、洗脳のために世界政府から送られてきた人々であろう。

人間は、未来について断定されると、思い込んで、自らその流れに沿って行動する生き物

である。

つまり、人間は予言の奴隷になりやすい。

サタンは、占いを通じて人を奴隷にしようとしている。

占いを信じることは、「何らかの力が神よりも強く支配している」と信じることと同義である。

だから、占いの信者は、サタンの陣営の属する。神の陣営に属する人々は、「神おひとりがわれわれの支配者であり、神おひとりだけがわれわれの未来を左右される」と信じる。

占いとは、偶像礼拝であり、クリスチャンは絶対に手を染めてはならない。

予言も同じである。

予言を信じることは、占いを信じることと同義である。

ジンクスを信じることは、ジンクスの奴隷である。

科学的根拠がないこと、たとえば、試合の日に髭を剃ると立て続けに負けたので、剃らないことにするとかは、その行為に縛られることである。

欧米では13という数字がジンクスになっているようだが、日本ではそうではない。日本では4である。「死」を連想させるからと。

神はこういったものを超越されている。

だから、われわれにはまったく影響を与えない。

プレ・ミレの未来図は、聖書にまったく記されていないものであるから、占いの罪である。

プレ・ミレの悲観的歴史観は、反キリストであり、プレ・ミレとポスト・ミレの知識があってもプレ・ミレを信じ続けることは、偽預言者の罪、占いの罪であり、私はクリスチャンとは認められない。

603 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月16日(月) 午前11時36分

タイトル: 2をかけて46にした理由 (ごみ取りました)

(Q)メイソンの魔法陣とマークを重ね合わせると、11と23がでてくるのはわかりますが、かける2で46にする理由は何ですか。

(A) フリーメイソンであったフランシス・ベーコンが、キング・ジェームズ訳聖書の編纂に関与し、その中にフリーメイソンのメッセージを織り込んだ可能性があります。

そこで、創世記1：1から数えて46番目が「光」となっている (もしくは、そうした)。

この46という数字に合わせるために倍数にしたのではないのでしょうか。

<http://www.youtube.com/watch?v=6JV1fT-eHd8&feature=related>

604 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月17日(火) 午前8時12分

タイトル: NHK「携帯でハングルを使うのがブーム」と報道

NHKが「日本の若者の間では、携帯でハングルの絵文字を使うのがブーム」と報道。

<http://www.youtube.com/watch?v=M8IRTL4Qaig&feature=related>

本当ですか。

あからさまな洗脳でしょう。

606 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月17日(火) 午後1時49分

タイトル: スイスのユダヤ人墓地にあるオペリスク (訂正)

http://www.youtube.com/watch?v=lk5egVZQ2AA&list=PL1AAFCA3F3C691792&context=C3e47ff8ADOEgsToPDskKg9r_tKqTZZk4h_SYdmFJT

スイスのユダヤ人の墓。

墓石は、オベリスク型が多い。中に鳥居に似たものが写っている。

オベリスクがユダヤ人の象徴になっているというのは驚きである。

なぜならば、オベリスクを意味する言葉マツェバーは、聖書において「偶像」という意味でもある (Strong, H5324) から。

ユダヤ人は、偶像礼拝の民になってしまったのだ。

オベリスクは、フリーメイソンの象徴でもあるから、フリーメイソンは偶像礼拝のユダヤ人の運動ということになる。

ワシントン DC にあるオベリスクは、高さ 166m。

$$1 + 6 + 6 = 13 \quad (*)$$

東京スカイツリーが、634m

$$6 + 3 + 4 = 13$$

偶然ではないだろう。マスコミがユダヤ人に握られている以上、情報を流す電波塔にユダヤ人の象徴があってもおかしくはない。

東京タワーは 333m。まさにフリーメイソンの数字。すぐそばにフリーメイソンの本部がある。

(*) FRB がユダヤ人に乗っ取られてから、1 ドル札に多くの 13 という数字が表れるようになった。

<http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/kokuren.htm>

607 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月18日(水) 午後3時10分

タイトル: 再び世界の中心になりつつある日本

板垣氏によると、イスラエルとイランの核戦争が一触即発の状態にあるという。そこで、イスラエルの富裕層が国外脱出を求めており、日本への移住を考えているという。日本への移住は米国の富裕層も希望しているので、世界の富裕層が日本に集まることになる。

これは、古代において日本が果たしてきた役割であった。古代において日本は蓬莱の地として桃源郷と考えられてきた。中世では黄金の国ジパングとして羨望の的であった。そして、現代になって再び日本が憧れの地、安息の地として脚光を浴びているということだ。

板垣氏によると、イスラエル人の中には、日本民族が「本家ユダヤ人」の子孫と考えている人が少なくないという。

数年前にイスラエル大使（エリ・コーヘン氏であろう）が徳島の剣山に登り、ユダヤの祭壇の名残を発見し大いに感激したという。

故エドモンド・ロスチャイルドは、ロンドンにおいて当時東邦生命社長だった太田清蔵氏と面談し、「イスラエル建国は誤りだった。安住の地をどこか他に求めなくてはならない」としみじみ語った。

本心がどこにあるかはわからないが、ロスチャイルド家が日本に関心を向けているのは、一族でバスをチャーターして剣山に登ったことから明らかである。

イスラエルを再度世界の中心にする試みは土台間違っている。

なぜならば、聖書は「神の神殿であるクリスチャンがいるところ、どこでも世界の中心である」と述べているからである。

われわれクリスチャンが世界の主役であり、中心であって、どこか特定の場所や地域が聖地とか世界の中心というわけではない。

宗教的に見ればこのことがいえるが、文明史的に見れば、世界の中心が日本に移動しているのは明らかである。

世界の文明の中心は一巡して日本に戻ってきたのではないだろうか。

608 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月18日(水) 午後3時23分

タイトル: 一神教だから戦争が起こる？

さらに、エドモンド・ロスチャイルドは、「世界は原理主義者同士の戦いになっているのは残念だ。多神教である日本がうらやましい」と語ったという。

これは、まったくおかしい話だ。

1.

一神教→戦争

多神教→平和

などという図式は、絶対に成り立たない。

日本も戦国時代などずっと内乱が続いていた。平和になったのは1600年からである。それも明治からは戦争につぐ戦争であった。

戦争で版図を拡大した古代ローマは多神教であった。

多神教のインディアン、アフリカ諸族は、絶えず戦争をしてきた。

2.

一神教に非をかぶせるのは、非常に巧妙な罠である。

イルミナティとロスチャイルド家が目指してきたのは、キリスト教の破壊である。

なぜならば、キリスト教はメシアはイエスであると主張するから。

ロスチャイルドは、ユダヤ人こそメシアだと考えている。

ユダヤ人が世界の救世主になり、世界を統一すること。

この目的のためにまい進してきた。

だから、ロスチャイルドお得意の「罪を犯して人になすりつける」を行ってきた。

このようなロスチャイルドの作戦の犠牲者となった日本人がなぜ今、同じ手法で一神教を貶めるのか。

絶対に彼らの手に乗ってはならない。

609 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月18日(水) 午後9時17分

タイトル: 欽定訳聖書はフリーメイソンの聖書だったのか?

tomomahi 様に紹介されたページを翻訳しました。下記参照してください。

ここで分かるのは、欽定訳聖書は、反宗教改革の性質を持っていたということです。

ジュネーブ聖書に載っていたカルヴァンの脚注を消したかった。その脚注を読んだ家臣が自分に対して反逆の心を持つことをジェームズ王1世は恐れたから。

ジェームズ王1世は、王権神授説を信じていたことで有名です。ということは、欽定訳聖書は王権神授説を擁護するための聖書であったということになる。

私は、その英語圏における信頼のゆえに、この聖書をあまりに高く評価しすぎていたと感じています。

さらに、欽定訳聖書の挿絵を掲載した下記リンクの図を見てください。

握手が、全部フリーメイソンのそれです。

翻訳者にフリーメイソンはいなかった、とか、ベーコンは挿絵に関与しただけで本文には関与しなかったとか反論もあるかもしれませんが、しかし、出版者がフリーメイソンを許容したという点は非常に重大なミスです。

もしかして、ジュネーブ聖書の創世記 1 章 1 節から 46 番目の言葉を God から light に変えたのもメイソンではなかったか。

そうすると、欽定訳聖書はフリーメイソンの聖書ということになってしまい、ウェストコットとホートのはるか以前からプロテスタントの聖書には悪魔の働きがあったということになってしまいます。

きわめて重大な問題です。

以下、

<http://www.brighthub.com/education/languages/articles/2409.aspx>

の翻訳。

=====

翻訳の影響：ジュネーブ聖書 vs 欽定訳聖書

この記事で、ジュネーブ聖書と欽定訳聖書の翻訳の違いについて見ていきたいと思う。この 2 つの聖書翻訳がどのように相違するか、そして、なぜ両者の間の相違が 1600 年代における政治的環境が生み出したものであるか理由が分かるであろう。

聖書の異なる翻訳

異なった翻訳の人気の高まるにつれて、それに対応する文化の推移も変化する。この記事では、ジュネーブ聖書と欽定訳聖書という異なる 2 つの英語訳聖書に焦点を当ててみたい。

ジュネーブ聖書

1560 年版ジュネーブ聖書：翻訳者は以下の通り：Walter Whittingham, Myles Coverdale,

Christopher Goodman, Anthony Gilby, Thomas Sampson, William Cole, Thomas Greshop, John Knox。脚注はジャン・カルヴァンによる。ジュネーブ聖書は、イギリスにおいてプロテスタントが迫害された時期にプロテスタントによって翻訳されたため、翻訳者は、スイス・ジュネーブに集まらざるをえず、そこにおいて、翻訳物の出版の手配が行われた。元訳は 1560 年にジュネーブ出版によって 1644 年までの間に 200 部印刷され、それをもとに 2 つの訳が生まれた。

他にもオランダ、スコットランド、アメリカ、イギリスでも出版され、1575 年に 1560 年版ジュネーブ聖書の出版に至った。1599 年に、改訂版が発表され、現在、1599 年版ジュネーブ聖書として知られている。その多くはウィリアム・ティンダルとマイルズ・カヴァーデイルの初期の翻訳に多くを依存していたが、ヘブル語の旧約聖書からの直接翻訳したはじめての英語聖書であった。完訳の入手が重要であったため、ジュネーブ聖書はプロテスタント、清教徒及びカルビン主義者が尊重する主要な聖書となった。

Illuminated Manuscripts www.cepuckett.com Medieval Illuminated Manuscripts, Maps & Antiquities for sale online Ads by Google The King James Bible

1604 年に、イギリス王と聖職者が集まりハンプトン王宮会議が開かれ、一つの決定が下された。聖職者には、コーパス・クリスティ大学長ジョン・レイノルズがいた。聖書の改訂英訳を作るべきだとの意見に参加者は一致した。ティンダルとジュネーブ聖書の両方を土台とする欽定訳聖書を制作するために 47 人の学者が翻訳を開始した。この新しい翻訳聖書の制作の目的は、1599 年版ジュネーブ聖書の利用の廃絶にあった。

1560 年版と 1599 年版のジュネーブ聖書全体に付けられていた脚注は、カトリック教会とすべての支配君主制の権威を疑問視する内容であった。この本文のせいでジェームズ 1 世の権威に対して臣下たちが疑問の念を抱く恐れがあるということが、王にとって問題であった。ジェームズ 1 世と英国国教会の宗教的及び政治的見解を代表する統一英訳聖書が必要であった。これこそが、新しい翻訳聖書の制作を後押しした要因であった。最初の欽定訳聖書は 1611 年に出版され、その後、多くの改訂を繰り返したが、今日標準的英訳聖書としての地位を保っている。

聖書の違い

1599 年版ジュネーブ聖書と 1611 年版欽定訳聖書の違いは明白である。欽定訳聖書は、学習用ガイドとして読者に人気のあった 1599 年版ジュネーブ聖書の脚注を撤廃した。さらに、

1560年版及び1599年版ジュネーブ聖書の旧約は直接ギリシャ語旧約聖書とヘブライ70人訳聖書から翻訳されたが、1611年版欽定訳聖書は、旧約聖書の従来の英訳聖書の編集であった。

プロテスタント宗教改革は、1517年にカトリック教会の改革運動として始まったが、教会と君主政体が支配していた国々においては、政治的反動が生じ、宗教的迫害が発生した。そのため、イギリスでは、ジェームズ王1世が欽定訳聖書の制作を委任した際に、1560年版及び1599年版ジュネーブ聖書の利用を許容する空気はまったく存在しなかった。ジェームズ王1世と英国国教会は、彼らが制作した聖書だけが利用されることを望んでいた。プロテスタントと清教徒は、迫害の地に留まりそこで生活するか、別の国に逃れて新しい生活を始めるかしかなかった。プロテスタント宗教改革支持者の中には、オランダに移住した者もいれば、大西洋を横断してアメリカ植民地に逃れる者もいた。「宗教改革」としても知られているプロテスタントの改革は、ヨーロッパにおいて1648年まで続き、ウェストファールン和平条約において終結した。

=====

610 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月18日(水) 午後9時22分

タイトル: フリーメイソンの握手が現れている欽定訳聖書の挿絵

<http://www.cuttingedge.org/news/k1002.cfm>

611 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月19日(木) 午前10時50分

タイトル: ベーコンはKJVの原稿をなぜ一年間保持したのか?

<http://www.cuttingedge.org/news/k1002.cfm>

によると、

1610年に欽定訳聖書(KJV)の制作委員会は、翻訳作業を負えて、原稿をジェームズ1世に手渡した。

ジェームズ 1 世は、それをフランシス・ベーコンに渡し、ベーコンはそれを約一年間保持し、1611 年に王に返した。王はそれをすぐに印刷に回した。

歴史家は、なぜジェームズ 1 世が原稿をフランシス・ベーコンに 1 年間渡す必要があると思ったのか、ベーコンは原稿に対して何をしたのか、について議論してきた。

挿絵を見る限り、ベーコンは、一年かけて 1 ページ 1 ページ、メイソンのシンボルを描いたということが分かる。

しかし、彼の影響は挿絵に留まったのだろうか、それとも、テキストにまで及んだのか。

次のページの作者はテキストに影響を与えたと述べている。

http://thelostsecretofwilliamshakespeare.com/downloads/BACON_AND_THE_ROSICRUCIAN-MASONIC_TREASURE_TRAIL.pdf

1 ページ 1 ページ念入りにメイソンのシンボルを書きくわえることに情熱を注いだからには、テキストにも改竄を施した可能性は十分にある。

KJV をフリーメイソンの聖書にしようとの意図がベーコンにあったことは明らかだ。

612 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 19 日(木) 午前 11 時 34 分

タイトル: に欽定訳聖書がピュアなままに保たれてきたと言えるか?

<http://www.cuttingedge.org/news/k1002.cfm>

の著者によると、神は欽定訳聖書のテキストをフリーメイソンや薔薇十字団から守ってくださった。

=====

このように、1611 年版の欽定訳聖書には、フリーメイソンと薔薇十字団の象徴的握手の図が描き込まれた。

これは、フランシス・ベーコンとジェームズ 1 世が共謀して、フリーメイソンと薔薇十字団の聖書を作ろうとしたことを示している。

同様に、ベーコンとジェームズ 1 世、ヘルメット騎士団の意図は、次のことにあった。すなわち、一般人に新しいエリザベス英語を広めるうえでシェークスピアの戯曲が演じた重要な役割に対して、この欽定訳聖書が敬意となること。

あるフリーメイソンのメンバーによると、ベーコンとヘルメット騎士団は、この新しい英語を人々の間で流行らせるにはどうしたらよいか考え、その結果 2 つのツールを用いるべきだと結論した。

そのツールとは、

1) 芸術と娯楽 -- シェークスピアの戯曲

2) 「人民の聖書」 -- 欽定訳聖書

しかし、ベーコンとジェームズ 1 世は、新しい聖書が当時の聖職者によって拒絶されたことにショックを受けた。

ピルグリムもピューリタンの指導者もすぐに欽定訳聖書を拒否した。なぜならば、そこにサタンの象徴が用いられているのにすぐに気づいたからだ。

躊躇なく使用するようにとの本部からの命令があったにもかかわらず、聖公会の司祭は、ジュネーブ聖書を捨てて、このサタンのシンボルに満ちた欽定訳聖書を使用することを拒絶し、反抗した。

1650 年ごろに、新たに印刷が開始されたが、これらのサタンのシンボルは取り除かれた。

すべてのコーディングも同様に除去された。

この時点で、欽定訳聖書はよくなった。それは、われわれが今日愛し、信頼している聖書と同じものである。

その後 100 年の間に徐々にエリザベス英語の優秀性と美しさのゆえに、欽定訳聖書はジュネーブ聖書に取って代われるようになった。

聖霊は、これらの薔薇十字団がテキストをいじらないように守ってくださった。聖霊は、

ベーコンとジェームズ 1 世が薔薇十字団の聖書を広めることをお許しにならなかった。このようにして当時の真のクリスチャンたちの思いと心において神が誠実であるということ信じ続けさせてくださった。

<http://www.cuttingedge.org/news/k1002.cfm>

=====

しかし、創世記 1:1 から 46 番目（46 はフリーメイソンの象徴）に light という言葉が来るように翻訳したという事実はどうなるのだろうか。

その他、詩篇 46 篇に様々な仕掛けがあることが判明している。

本当に欽定訳聖書がピュアなままに保たれてきたと言えるのだろうか。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 1 月 20 日(金) 午前 0 時 30 分

タイトル: 最優先しなければならないことは何か？

Facebook など昔の友人の現在の姿を見ると、心が動くものがある。

私は、神学生のとときに再建主義と出会い、この働きにささげる決意をした。既存の教会やクリスチャンは、私の活動を評価し、喜んでくれるものと思ったが、逆の反応が返ってきた。

福音派ではもはややっていけないとわかり、決別した。

それ以来、ずっと一人の戦いであった。妥協すれば、いろんな流れに乗ることができ、世間的な意味でこれほど苦労はしなかつたらう。

しかし、教えに関して自分の立場を変えることは絶対にできなかった。

同じ立場になった牧師も数人いたが、フルプレテリズムになったり、オーバン・アヴェニュー神学に走ったり、一緒にやっていくことはできなかった。

教えと人間関係、収入、その他を比較した場合、何を優先すべきかは明らかである。

神学的な立場を変えることはよほどのことである。

それを信じることによって、異端になってしまうような教えの人とは付き合うことはできない。

今日、この乱れ切った世の中において、人間関係や収入などを優先すれば、敵の側に寝返ることになる。

私は、いつでも一人になる覚悟がある。

神は、最初から勝利を予定されておられる。

われわれの立場が最終的に勝利する。

なぜならば、聖書的だからだ。聖書にのっとりた教えは最後に勝利する。

今われわれの周りを見て、神の御言葉と御支配が世界を埋め尽くすことなど夢想だにできない。

しかし、聖書ははっきりと、神の法は勝利し、世界を席卷すると教えている。

だから、必ず勝利するのだ。

歴史とは、作られるものではなく、すでに作られたものが現れているだけである。

神はすべてを決定された。その決定どおりに実現しているのである。

まるで映画のフィルムのような。

銀幕には、すでに撮影済みのものしか写らない。それと同じように、歴史も、すでに決定されたことしか起こらない。

神はすべてのことをあらかじめ予定され、決定されている。偶然は一つもない。

だから、われわれは必ず勝利する。

悪魔は必ず敗退し、底知れぬところに再び落ちていく。

この聖書の教えを捨てて、「これから世界は悪魔に支配され最後に破局がやってくる」などという教えを信じるわけにはいかない。

そのように教える牧師や教会とは別れるべきだ。

教えこそが最優先しなければならないことである。

614 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月20日(金) 午前1時11分

タイトル: すべては永遠の昔に決定されていた

「全部あらかじめ決定されている？そんなことがあるだろうか」という人がいるかもしれない。

しかし、聖書では、こう書かれている。

「神は私たちを救い、また、聖なる招きをもって召してくださいましたが、それは私たちの働きによるのではなく、ご自身の計画と恵みとによるのです。この恵みは、キリスト・イエスにおいて、私たちに永遠の昔に与えられたものであって」(2テモテ1・9)

われわれが救われたのは、「ご自身の計画と恵み」によってであり、この恵みは「永遠の昔に与えられた」ものである。

「永遠の昔に与えられた恵みによって救われた」！

ということは、神は、永遠の昔にわれわれを知っておられたということだ。いや、もっと厳密に言えば、永遠の昔にわれわれを生み出すことを計画されたということだ。

人間は、精子と卵子の受精によって新しい生命が生まれる。

われわれを永遠の昔に知っておられ、計画されたのであれば、どの精子とどの卵子を受精

させるかも永遠の昔に知っておられ、計画されたということだ。

ということは、われわれの父母が結婚することもすでに永遠の昔の決定であり、われわれの父母の父母の結婚も予定されたことであり、そのまた父母の結婚も予定されていた。つまり、全部ち密に作られたスケジュールがそのとおり寸分も違いなく成就してきたということだ。

われわれの先祖の夫婦が、ちょっとした違いで、予定していたのと違う精子と卵子が受精したならば、それだけで、われわれはもはや存在しない。神の計画は狂う。

われわれの先祖の夫婦の一方があるちょっとした社会的もしくは自然的出来事に巻き込まれて、その配偶者との出会いが実現しなければ、われわれも存在しない。

となると、結婚だけではなく、社会状況や自然状況なども計画通り成就しなければならない。

「永遠の昔に与えられた恵み」という言葉には、「神はすべてのことをあらかじめ決定された」という意味が含まれている。

この世界で起こることは、一つ一つ永遠の昔に決定されたことなのである。

615 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月20日(金) 午後5時28分

タイトル: 在日コリアンの本音

http://tsukurukai.webdeki-bbs.com/tsukurukai_topic_pr_142.html

韓国政府による内政干渉が堂々に行われている。

616 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月20日(金) 午後7時18分

タイトル: 聖書の神は言うことを聞かないから皆殺しにする神か？

聖書の神は、「俺の言うことを聞かぬ一ヤツは女子供も皆殺しだ！」とほんとに言いましたね。

それは誤解です。

カナン人は、言うことを聞かないから皆殺しにされたのではなく、モロク礼拝において子供を焼殺したり、獣姦したり、その他もろもろの邪悪な行いのゆえに、処刑されたのです。

あまりの墮落ゆえに、民族全体が生存を許されなかったのです。

その処刑にイスラエルが利用された。

理由もなく虐殺する神が、二千年間世界に影響を与えられるわけがない。

聖書に対する誤解は誤解ではなく、意図的な中傷であることが多いのです。

617 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月20日(金) 午後8時02分

タイトル: 幼子までなぜ聖絶されなければならないのか?

しかし、聖絶された中に幼子がいたはずです。幼子はそのような罪を犯さなかったでしょう。なぜ殺されたのですか。

民族全体を絶滅するほどに穢れた文化だったということです。後に入植するイスラエルがそれによって影響を受けないために、徹底して聖める必要があった。その証拠に、このような聖絶命令は、他の民族には下されていません。もし神が「俺の言うことを聞けないやつは、皆殺しだ」というような方ならば、周辺民族を絶滅する命令を出していたはずですよ。

じゃあ、「父の罪のゆえに子が殺されてはならない」という律法と矛盾しませんか。神は、罪のない幼子が殺されるように命令したのですから。

「父の罪のゆえに子が殺されてはならない」という律法は、通常の状態にある平時におけるイスラエルに与えられた同胞を扱う上での律法です。カナン人のような特殊なケースには適用されません。

あくまでも神は、ご自身の主権によって、「この民族を絶滅しない限り、地を聖めたことにならない」と判断されたのです。それくらい極端な罪を犯し、その罪の目盛が「絶滅という処罰」に値する程度まで満ちたということです。

人を取り扱う場合の通常の規則は「父の罪のゆえに子を殺してはならない」ということですが、カナン人の場合は例外だったということであって、「言うことを聞かない奴は、皆殺しだ」という理由からではありません。

618 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月21日(土) 午後2時32分

タイトル: 攻撃こそ最大の防御なり

専守防衛などで戦争は勝てない。

何でもそうだが、攻撃態勢でなければ勝負事は勝てない。

だから、向こうからやってくるのを待っていては必ず負ける。

今日の日本は、敵側の長年にわたる攻撃努力の成果である。

世界の諸国はみなスパイを派遣し、情報を集め、そして、自国の防衛だけではなく、覇権拡大を目指している。

日本にも多数のスパイが入り、活動している。

政治家やらマスコミやらを買収し、傀儡を作ってきた。

このような攻撃の努力があっはじめて今日のようにほぼ中枢を支配される状況に至ったわけだ。

日本側は、スパイ防止法も存在せず、スパイ天国と言われてきた。国民は、このままでもなんとかやっていけるのでは、と考えてきた。米国に押し付けられた憲法では「諸国民の公正と信義に信頼して」と言われているので、素直にそのようにしてきた。

つまり、馬鹿扱いされてきたわけだ。

歯を磨かなければ虫歯菌にやられるように、防衛をしなければやられる。

虫歯菌に信頼してどうするか。

この世界は、謀略に満ちている。

日本のキリスト教界は、「戦争反対」を叫んできた。

戦争反対はあたりまえだ。しかし、他国が謀略をしかけ、侵略の野望を持っている以上、戦争反対を叫んでいてもはじまらない。

いや、戦争反対運動はかえって、防衛努力を妨害する。

防衛は、「先手必勝」である。

攻撃されるのを待っているようでは必ず負ける。今の法律を改正しなければとんでもないことになる。

霊的世界においても同じである。

クリスチャンは、ディスペンセーションナリズムによって、「地を従えよ」という命令を無視してきた。

だから、クリスチャンになった後に何をしたらよいか教えられてこなかった。

「友人を教会に誘ってください」ぐらいだ。

「一人でも多くの人が携挙されて、この最終戦争に巻き込まれないようにしましょう」と。

全部受け身。

攻めがない。

攻めることがなければ、防衛すらできないので、今や、全世界でキリスト教はほとんど死滅した。

キリスト教としてやっているリバイバル集会などは、全部イルミナティのニューエイジ運動である。

敵に関する知識もなく、敵を攻撃する意欲もないために、結局、クリスチャンは自分と自分の家族、そして、教会、祖国を失ってきた。

クリスチャンは、「地を従えよ」の命令を成就すべく、積極的に領土を拡大しなければならない。

積極的な攻撃のメンタリティがなければ、防衛すらできないので、すべてを失うだろう。

生きるか死ぬか。

その激烈な戦いの中にいるのである。

われわれが福音の火を消したならば、われわれも、われわれの家族も祖国も殺される。

619 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月21日(土) 午後8時20分

タイトル: 英語は KJV とシェークスピアによってフリーメイソン化された

ジェームズ 1 世はスコットランド教会も「ピューリタン」たちも目の敵にしていたが、これが後年の Civil War に至る原因でもあった。

ジェームズ 1 世の治世には、次第に厳格なカルヴァン派が排除され easy-going なアルミニウス派神学の台頭を許した。

Geneva Bible の特徴の一つに、ローマ書 11 章の欄外注で「ユダヤ人の回復」を明確かつ強力に支持したことがあり、これがピューリタン神学さらに後世の宣教に大きな影響を与えた。

とすれば、ここから先は私の推測・仮説ですが：

ジェームズ 1 世とカトリック就中イエズス会、すなわちフリーメイソンはピューリタンたちとその信仰・神学を殲滅したかった

フリーメイソン/ユダヤにしてみればは当然「ユダヤ人の回心・回復」などとんでもない話

そこでアルミニウス神学をばらまくとともに「聖書」そのものも改める計画をたてた

Study Bible でもあった Geneva に変わるものとして豊富な欄外注をつけた KJV を作成して広布した

しかし、Pilgrim Fathers たちもイギリスの教会もどうして Geneva から KJV に変えたのでしょうか？

そのいきさつは Puritan Hope には記述がありません。

たしかに。

どうも KJV は、白を灰色にするためのものであったのではないかと思います。

今の改革派は、福音自由のようなマイルドカルヴァン主義になっている。

ピューリタンたちにしてみれば、それこそ「憎き King James」

「憎き King James」で彼の名を冠した KJV より、Geneva を使い続けるのが筋だと思うのですが・・・

アルミニアンの侵食で Mr.Gray 化をきたしたのでしょうか？

しかも、ベーコンらは、英語を変えようとした。

英語をエリザベス英語にしようとした。

シェークスピアと **KJV** により。

つまり、英語そのものもフリーメイソン化している。

「英文学の基本・基礎はシェークスピアと欽定訳聖書」は世界中の合い言葉ですからね。

「最も権威ある希英辞書」の **Liddell-Scott** も、コイナーの部分は **KJV** 丸写し、だそうですから

文学・哲学 **etc**、全て牛耳ることができる、いやできてしまった！？

そうなんでしょうね。

「教養人」丸ごとフリーメイソン化計画！

言葉から何から全部「啓蒙」された。

クリスチャンもノンクリスチャンも、ローマ書 11 章の「ユダヤ人の回復・回心」などとてもない、ということになる。

置換神学も、反ユダヤ・ユダヤ人差別も、ディスペンセーションナリズムも。

神「学」界も「啓蒙」されているから。

また「からくり」が一つ解き明かされた。

私の親の世代は、科学とか近代思想とかをそのまま鵜呑みにしている。

だから、「文化人類学では文化に優劣はないということになっている」と。

近代の果実をそのまま受け取る。

しかし、近代の果実とは、フリーメイソンの果実です。

そうですね。すぐ「・・・は今も進化を続けています」・・・「進歩しています」ならともかく。

それで「知識人・教養人」たちは「隠謀なんてとんでもない、ましてフリーメイソンがその隠謀を企む悪の秘密結社なんて、でまかせもいいところ」なんて本を次々書いたりする。

例：「フリーメイソン - - 「秘密」を抱えた謎の結社」（荒俣 宏）

テレビで活躍している人がフリーメイソンを悪く言うはずがありません。

フリーメイソンの表の姿はあくまでも慈善団体です。

ヤコブ・シフが慈善家であったように。

本屋で立ち読みしてびっくり、フリーメイソン絶賛ですよ。

そうでしょうね。

TV では、表の姿しか見れない。

しかし、「知識は救い」ですから。だんだん階級が上がると、本当の姿が見えてくる。

しかし、そうすると、アメリカの墮落も今にはじまったことではない、聖書を切り替えた段階で坂道を転がり始めていた、ということになりますね。

Pilgrim Fathers たちの中にもフリーメイソンが忍び込んでいたのでしょうかね、きっと。

デイリー・ノースが、ロードアイランド島がピルグリムの時代における啓蒙主義の島だったと言っています。

もし米国のピルグリムファーザーたちが KJV を受け入れていたら、そこからもうダメということでしょうね。

KJVonliest が、Pilgrim Fathers も Geneva から KJV に切り替えた、それは KJVga

KJV のほうが優れた(or 正しい)聖書だからだ、と言っていますがなぜなのでしょう。

何か大きな力がはたらいた、としか考えられません。

騙しが入ったのでしょうかね。

英語圏の人にとってシェークスピアが正しい英語の模範でしょうから。

KJV から ASV、NASB、NIV と

なるほど、「知識人・教養人」がまず騙された、と。

古語だから、日本における文語訳→口語訳・新改訳・新共同訳・・・と同じように KJV→ASV/NASB/NIV への移行も簡単だった、と。

In July 1929 the Foundation Stone of the Shakespeare Memorial Theatre at Stratford-upon-Avon was laid with full Masonic ritual by Lord Ampthill, pro-Grand Master of the United Grand Lodge of England, using an old Egyptian maul used at Sakhara four thousand years ago.

<http://www.sirbacon.org/Dawkinsfrmsnry.htm>

シェークスピアはフリーメイソンだったそうです。

シェークスピア＝ベーコンでなくても、ですね。

そうです。

ここらへん、ラッシュドワーニーは弱いですね。

モーツァルトもフリーメイソンだったのだし、欧米の文化・「教養」はフリーメイソンなしでは考えられないのでしょうね。

意識する・しないに関わらず。

ラッシュドワーニーは、「私はシェークスピアのかなり暗記した」と言っています。

合衆国憲法もクリスチャンのものだったと言っています。

それに対してゲイリー・ノースと、オットー・スコットが、あれは、メイソンだと言っています。

キリスト教 vs ヒューマニズム、の構図からさらに突き詰めていけばヒューマニズム→ルネサンス→フリーメイソン・・・となりそうですけれどね。

マーク・ラッシュドワーニーのエッセイで、「父は終生書物に囲まれて生きていた。私も母も膨大な蔵書の扱いに辟易したけれども・・・」というのがありました。

「知と教養」の落とし穴、なのでしょうか？

・・・だからラッシュドワーニーは置換神学から抜けられなかった？

・・・そしてオーバン・アヴェニューの「萌芽」も「行為義認」の影響を完全に払拭できなかったから？

というのは考えすぎでしょうか？

「膨大な書物に囲まれて・・・」は山本七平とだぶるところがありますね。

どうも、アメリカ無謬説のようなものがある。

「もともとよかった」みたいな。

元は良かったけれども、だんだん悪くなってきた、というニュアンスですか？

そうですね。

本当のところは、ピルグリムはよかったが、建国の父あたりがフリーメイソンだった、でしょう。

しかし、ラッシュドゥーニーは建国の父すら疑わない。

それは、アメリカ人のプライドなのでしょう。

今でも、ジェファーソンがイルミナティであったというと激怒する人々がいるので。

デイリー・ノースなどは、建国の父がフリーメイソンであったとばらして、再建主義者の中でもブーイングでした。

そうすると、**KJV** をかっいでメイソンが上陸して、ということなのでしょう。
フリーメイソン進駐軍

アメリカはすでにピルグリムのときに、一部汚染が始まっていたのでしょう。

KJV とシェークスピアを批判できなかった。

「本家本元本国」に対する負い目を捨てきれなかったのでしょうかね。いくら「新世界」といっても。

やはり、今と同じように、マイルドが好きな人がいるのでしょう。

僕らの主張に対して「過激だ」という人々。

そして悪貨が良貨を駆逐した、と。

本国イギリスでも、とっくの昔に「穏健で easy-going なアルミニアン神学が幅をきかしていた」(Puritan Hope) のですしね。

人間誰も安きに流れる、ということですね。

つまり、政治的迫害を避けたいのでしょう。

620 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月22日(日) 午前4時56分

タイトル: フランシス・ベーコンと欽定訳聖書、シェークスピア、アメリカ建国

(1)

Peter Dawkins 1997 FBRT によると、シェークスピアはフリーメイソンだった。

「もっとも重要なことだが、シェークスピアの戯曲と詩には、高位のメイソンしか知りえないメイソンの習慣や用語や教えに関する知識の証拠に満ちている。実際、シェークスピアの戯曲と詩の全体が、フリーメイソンのイニシエーションの思想と階級のいずれをも具現化している。これらは、メイソンの寓話と類似し、それを暗示する様々な寓話において表現されている」。

「1929年、ストラトフォード・アポン・エイヴォンのシェークスピア記念劇場において礎石が置かれた。儀式は完全にフリーメイソンの様式であり、イギリスの合同グランドロッジのプロ・グランドマスターであったロード・アンプシルが、4000年前にサハラで使用された古代エジプトの大槌を用いて執り行った。600人のメイソンたちが完全正装で出席した。なぜグランドロッジは、シェークスピアの記念と、戯曲の上演を重視しなければならないのだろうか」。

<http://www.sirbacon.org/Dawkinsfrmsnry.htm>

(2)

次のビデオ（英語）をご覧ください。非常に重要なことが語られている。

<http://www.youtube.com/watch?v=I2XqNv33DNE>

独立戦争時の5つの都市、ワシントン、ボルチモア、フィラデルフィア、ニューヨーク、ボストンは一直線に並んでおり、その先をずっとたどると、イギリスのストーンヘンジに行き着く（0:18:42から）。

これらを結んでいるのはパワーの帯（アルフレッド・ワトキンスが「レイライン」(Ley line)と命名）であり、その上には古代の様々な遺跡がある。

ワシントン DC は、第77子午線に沿って造られている。オカルト主義者にとってこのラインは、「神の経度」と呼ばれ、神聖であり、そこに旗を立てることは特別な意味があった（0:25:12から）。

ワシントン DC を作る際に測量のために派遣された人物は、ベーコンの結社のメンバーだった。

これらの5つの都市の配列、ワシントン DC が第77子午線上に作られたのは、初期アメリカの人々が古代の神秘学的な知識に乗っ取って国づくりをしようとしていたことの証拠である。

(3)

アメリカ建国の隠れた意味は、フランシス・ベーコンに関する知識がないとわからない。

16世紀にフランシス・ベーコンが薔薇十字団のトップに座った。

そして、新大陸にニュー・ワールド・オーダー（ニュー・アトランティス）を作れとの命令を部下に発した（0:29:20）。

ニューファンランドが発行した切手に「フランシス・ベーコン——植民地計画における導きのスピリット」と記されている（0:29:43）。

現在でも、薔薇十字団においてフランシス・ベーコンは、秘密を伝える半神的存在としてあがめられている（0:29:53）。彼の影響は今日のフリーメイソンにおいても絶大である。

(4)

以上、フランシス・ベーコンが果たした大きな影響を考えると、そして、シェークスピアがフリーメイソンであったということを考えるときに、次の説も俄然、説得力を増してくる。

「シェークスピアが戯曲を書いたのではなく、真作者は、フランシス・ベーコンと、ベーコンが雇った人々であった。ベーコンがこれらの戯曲を書いた目的は、英語の諸方言を統一するためであり、その究極的な目的は、フリーメイソンのニュー・ワールド・オーダーを米国を通じて開始するためであった」。

<http://www.youtube.com/watch?v=ZKaK6G3do6U>

シェークスピアと欽定訳聖書は、実は、バベルの塔建設のために「言葉を統一する」必要からだったのかもしれない。

621 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月23日(月) 午前6時54分

タイトル: われわれではなく、神がやったださるのだ！

最近は、呪いの祈りをしている。

呪いといっても、自分の気に食わない人間に対するものではなく、正義とか平和を乱す著しい悪党に対するものである。

具体的には、デイビッド・ロックフェラー、ヘンリー・キッシンジャー、ジョセフ・ナイ、アーミテージ、マイケル・グリーンらである。

テロや戦争を起こしてインサイダーによって株価や通貨を操作し、利ざやを稼ぐとんでもない連中である。

アメリカという国はこういう悪党どもによって乗っ取られた。

彼らは、確信犯であり、意図的である。自分たちのためなら、だれがどうなってもどうでもいいのである。

イラクの子供が死のうが、地震や津波で犠牲者が出ようがどうでもいいのである。

それくらい墮落し、徹底して悪魔に乗っ取られた人々なのだ。

もう一つは、われわれ神の国を建設しようとするクリスチャンに力と富が集まるように祈っている。

もうロスチャイルドとかロックフェラー、創価学会、統一協会などにお金や人材が集まる時代ではない。

これからはまともな人々が豊かになる時代だ。

いや、そういう時代にしなければならない。

実際のところは、善意や信仰のために行動するものすごい抵抗にあう。それは、人間からだけではなく、超自然的な抵抗がある。

信仰のために戦った人なら分かると思う。

これまでの悪魔の時代では、神の国のために頑張るとお金も人も逃げていった。

しかし、これからはそうではない。

個人的な祈りの中で、われわれに富と権力が手に入るように！と祈り、礼拝の中でも祈った。

すると、その中で次の御言葉が示された。

「あなたは、あなたがたの神、主が、これらふたりの王になさったすべてのことをその目で見た。主はあなたがたがこれから渡って行くすべての国々にも、同じようにされる。彼らを恐れてはならない。あなたがたのために戦われるのはあなたがたの神、主であるからだ。」(申命記 3・21-22)

敵を恐れてはならない！そうすれば、われわれに力がやってくる！われわれが戦うのではなく、神が戦われるのだから！

これが祈りに対する答えだと思った。

これまで世界を支配し、地獄と変えてきたイルミナティとフリーメイソンの連中を徹底的に引きずりおろし、世界から追い出そう！

われわれではなく、神がやってくださるのだ！

622 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月23日(月) 午後11時07分

タイトル: アメリカの本当の建国目的

これをご覧ください。

<http://www.youtube.com/watch?v=I2XqNv33DNE>

非常に興味深い。

どうやら、ベーコンが英語を統一したかったのは、NWOを米国において作り、米国を彼の秘密結社(フリーメイソン、薔薇十字団)の目的を達成するためであった。

なるほど、アメリカ建国そのものに目的があった、と。

そうですね。

「新世界」とは、アメリカではなくて、アメリカの強大な力（軍事・経済・文化・宗教）による「新世界秩序」の意味！

「自由」の定義が最初から違っている。「民主主義」も！

そうですね。

独立戦争時の 5 つの都市、ワシントン、ボルチモア、フィラデルフィア、ニューヨーク、ボストンは一直線に並んでおり、その先をずっとたどると、イギリスのストーンヘンジに行き着く（0:18:42 から）。

ワシントン DC は、第 77 子午線に沿っている。

オカルト主義者にとってこのラインは、神聖であり、そこに旗を立てることは特別な意味があった。

もう街づくりからすべて悪魔学に基づいている。

陰に日向に自分たちの秘儀を織り込んでおいた・・・「知識」のある者が見ればわかるように

そうですね。

それは自分たちの「力」の誇示でもあった・・・自分たちこそ世界を、歴史を支配しているのだ、いや、「創って」いるのだ、と。

全部バベルの塔のためでしょうね。

ここまでくると人間の知恵でも偶然でも説明できませんね。

超自然的な「知恵」と「力」がなければこんなことできるはずがない。

そうですね。

ワシントン DC を第 77 子午線上に設置した人は、フランシス・ベーコンの秘密結社のメンバーだった。

だから、ワシントン DC は、ニュー・ワールド・オーダーの首都として最初から選ばれていた。

ワシントン DC=ニューバビロン

そうすると、例えば日本でも「都市計画」なんてのは極めて怪しいですね。

The Guiding Spirit という言葉がでてきたけれども

でしょうね。悪魔学の知識がある人が見ればすぐに分かるような設計になっているのでしょうね。

まさに Spirit ですね。

「・・・のスピリットをうけついで」という言い回しがいつの頃からか「共通語」になっていますけれども・・・

これは大変だ！

悪霊の導きによって、仕掛けをしてきた。

聖霊の働きをしばめるような仕組みも作って。

超人的ですから。やることが。

たとえば、義務教育制度。

一見すると万人の福祉のため、実は、サタンによる洗脳。

「キリスト教」さえもうまく利用した、キリスト教の名のもとに「神不在」を構築した。

韓国のクリスチャンの体たらくを見ていると、キリスト教に力がないと思わざるをえない。

だって、あれは、キリスト教の外貌を保った別のものだから。

力がないのは当然。

そうですね。韓国シャーマニズム（聖霊派）と儒教（長老派）の看板をかけかえただけ。

アメリカ流「民主主義」は、実はメイソンが作り、秘密結社の「秩序」で制御されている。

・・・だからアメリカが「共産化」しても何の不思議もないのですね。

あちこちに **Cornerstone** を埋め込む儀式も、まことの隅の親石であるイエス・キリストに対するあからさまな反逆なのでしょうね。さらには「キリスト教」さえも自分たちが支配していることの表現なのかも。

そうでしょうね。

それから、「緑の党」の緑 **GREEN** のコンセプトの起源が分りました。

イルミナティのアトランティス伝説です。

http://wn.com/Atlantis_The_illuminati's_Biggest_Secret_2

くだらない物語ですが、イルミナティの幹部しか知らないものだそうです。

宇宙人と人間の交配してできた子供の一人がグリーン・サムという。

彼らの子孫が地球のバランスを保つ務めがあると。

なるほど、あの「ミドリ十字」が AIDS の人体実験を日本でやっても何の不思議もありませんね。

そして、あの会社の上層部は結局厚労省の天下り団体や他の製薬会社に潜り込んで今でも暗躍している。

そうです。

これらの子供がイルミナティ 13 血族。

つまり、イルミナティにとっての、創世記に代わる寓話。

ここに彼らの世界統治の正当性がある。

グリーンとか、緑というと、自然愛護的な清潔なイメージですが、実際はイルミナティの悪魔なのです。

フランクリンがモーセを気取っていた（自分をモーセになぞらえていた）なんてのは噴飯ものですね。

な一るほど、アメリカが「死の商人」と「世界の警察」を両立できるわけだ。

世界中の「事件」全部彼らのシナリオ。

全部自作自演。

このページにあるすべてのビデオを見る予定です。

なぜならば、イルミナティの連中が何を信じているか知らないとわからないことが多いので。

原爆落とすなんて、まともな精神では考えられない。

しかし、これも、イルミナティが何を考えているかわかれば謎が解ける。

おそらく全部悪魔学的な意味があるのでしょう。

それを世界の指導者は互いに知識を共有しており、われわれのわからないところで計画を推進している。

非常に熱心に。

そして冷酷に。

われわれ（民衆）は、その計画に組み込まれて、その計画遂行のためにそれこそ「適材適所」で働かされている、と。

とくにアメリカ人は、やりたくない戦争にいつも駆り出され、人殺しをさせられる。

日本の占領なんかも、このアトランティス伝説がわからないとだめでしょう。

たんに歴史学のようなものでは分からない世界です。

きわめて宗教的な動機でトップの人々は動いているということです。

しかも、成功してきた！

不思議です。

そうですね、見事に。

なぜ神がここまでシロアリの巣の拡大を許されたのか。

モロク礼拝をしていたカナン人は殺されました。

なぜイルミナティの連中はモロク礼拝をやって悪魔崇拝しているのに殺されないのか。

聖書に記載された（神がさばかれた）悪事を遥かに上回ることをしても栄誉栄華の限りを
尽くしているのですからね。

対して正当なクリスチャンは、とても彼らとまともに対峙できるだけの力がない・・・す
べて奪われてきた。

だから、おそらくこれは至福千年紀に至るための宮聖めではないかと。

私は、イルミナティの興隆が、竜の復活としか思えない。

古代の異教世界が出現している。

まるでキリストが生まれ、復活されなかったかのような。

この世界がキリストの世界とは思えないくらいの異教ぶりです。

しかし、そうするとこれまでの世界の歴史（古代エジプトから現代に至るまで）は「サタ
ンが縛られて、諸国の民をまどわさない」ではなかったことになりませんか？

紀元 70 年にサタンは縛られたのです。

それからずっと千年王国が進展してきた。

しかし、竜は再び復活しなければならないと書いてあります。

一時的に。

それをキリストは滅ぼされる。

復活したのは、アメリカ建国から、でしょうか？

そうですね。

そのためにベーコンが準備した。

Styx というロックバンドが、「サタンが底知れぬ穴から出てきた」とうたっています。

どうもそんな感じがしてならない。

そうか！「諸国の民を惑わす」ためにはそれだけの「力」が必要だから！
「超大国」をまず築き上げる必要があった！

そうですね。

16世紀にフランシス・ベーコンが薔薇十字団のトップに座った。

そして、新大陸にニュー・ワールド・オーダーを作れとの命令を発した。0:29:20

だから、アメリカは、秘密の帝国、ニュー・アトランティスだと。

0:29:43、当時のニューファンドランドが発行した切手に「フランシス・ベーコンは、植民地の計画における導きのスピリット」と記されている。

この番組の最後のところでカバラはその秘儀によって人間を「神のような存在」にまで引き上げようとする、というのがありましたが、要はサタンの「あなたがたが神のようにな

り」そのものなのですね。

ベーコンは「原罪」を追わせられエデンの園から追放された人間の「救済」を考えた、その手段はキリスト教の伝統的な教えでなく、秘教カバラであった、と。

サタンに見いだされ、サタンに全てを捧げた人間・・・哀れといえば哀れですがね。

The Guiding Spirit、すなわちサタン

そして今や人類は、それこそ「そのスピリットを受け継ぎ、次の世代に伝え」るために血と涙と汗をふりしぼって（ふりしぼらされて）いる！！

そうです。だから、救いには 2 種類しかない。キリストの贖いか、知識の実を食べて悪魔から力をもらうか。

Mr.Gray は、結局真っ黒になるのですね。

そうですね。

おそらく、ベニー・ヒンとかあそこらへんのやっていること、たとえば、ボディランゲージみたいなのに、こういった秘密結社の影響があると思います。

私の霊的な感性から言うと、メイソン流に見えます。

Holy Blood 云々というのがちょっと出ていましたけれども、ベニー・ヒンがあるとき、やけに「血」を強調していました。

そう、結局何かしらの「秘儀」を求める。

「霊的に引き上げられる」という言い回し、あるいは例の「五役者の回復」のように、妙なヒエラルキーがあって、その階級を上っていくと「賜物が付与される」というのも。

それって、もろにメイソンでしょう。

彼はレバノン人の血を引いているらしい。おそらくユダヤ系ではないかと。

ベニー・ヒンの次はメシアニック・ジューでいよいよカバラ上陸、だったのかもしれない。

してみると、マルコーシュの聖書もあぶないですね。思い切り危ない。

ビザンチンで権威づけされて、 KJV 日本版を作られたら・・・

そうですね。

悪魔は接近するでしょう。

結局、メイソンの影響から逃れた人しか翻訳できない。

日本が至聖所なら、いよいよ「海辺の砂のように聖徒の陣営を取り囲む」ことになりそうですね。

そうですね。

今もうすでに取り囲まれています。

私は毎日、イルミナティの悪魔を縛っています。

第三次世界大戦も、イラン・イスラエル戦争から始まる予定だし。

取り囲むどころか上陸していますしね。橋下が総理の座を狙っていて、国民もそれを期待している、なんて話もマスコミの下地づくりでしょうからね。

そうでしょうね。

イルミナティの前原首相構想はとん挫したみたいですが。

彼が首相になった絶対に日中戦争で核戦争やらかす。

いよいよ政界には「そして誰もいなくなった」状態で、河村やら橋下やらそれこそ「カリスマ」が出番を待っている。

マスコミはテレビもネットも総動員して国民の洗脳に躍起になっている。

祈らないといけないですね。

623 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月24日(火) 午前0時43分

タイトル: もっともハラハラする津波ビデオ

<http://www.youtube.com/watch?NR=1&v=5TbsbPtj62Y&feature=endscreen>

非常にショッキングです。

実際に自分の家に津波が迫っている様子が撮影されている。

624 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月24日(火) 午後7時35分

タイトル: ベーコン以前に帰る必要がある

インターネットのおかげで、いろんな知識が得られることはクリスチャンにとって幸いで

ある。

デイリー・ノースの著作からアメリカ建国の父がメイソンであるとは知っていたが、そのメイソンたちを背後で動かしていた人間にまでは思いが至らなかった。

フランシス・ベーコンである。

彼こそが、真のアメリカ建国の父である。

フランクリンは自らをモーセと呼び、メイソンのために米国を作った。しかし、時代は 100 年違えども、そのフランクリンの背後にいたのがベーコンなのである。

ワシントン DC は第 77 子午線と 5 大植民地都市を結んだ要の位置に作られている。5 大植民地都市を結ぶ直線は遠くイギリスのストーンヘンジに行き着く。

パワースポット中のパワースポットである。

アメリカとは、フリーメイソンのために作られたオカルト国家であるという認識がなければわれわれは間違う。

このような国のキリスト教というものがおかしくなったとしても不思議ではない。

1986 年にアメリカに滞在し、クリスチャン大学生を見て直感的に感じたのは「この国はクリスチャンの国ではなく、啓蒙主義の国だ」ということだった。

この感覚はその後もずっとあったし、今理由がわかった。

フランシス・ベーコンは「知識は力である」といった。

ベーコンを支配し、そして、後の建国の父たちを支配していたのは、「救い主なる知識様」である。

アメリカとは、知識を崇拝する国。

この知識とは、もちろん、「善悪の知識の木の実」である。

神とは独立して成立する知識。

つまり、サタンの知識。

サタンに頼り、サタンから知識を与えられて、地上を支配する道。

これが、初代フリーメイソンのグランドマスターと呼ばれるフランシス・ベーコンの道であった。

アメリカの正統派とは、悪魔教であってキリスト教ではない。

アメリカが、オペリスクやイシュタルの像（自由の女神）などフリーメイソンの象徴に満ちているのは、それがもともとフリーメイソンの国として造られたからだ。

日本も、戦後、マッカーサーというフリーメイソン 33 階級のグランドマスターによって「啓蒙」された国になってしまった。

現代英語は、欽定訳聖書とシェークスピアというベーコンの仕掛けが施された文書によってメイソンの言語になった。

メイソンの言語とは、バベルの塔の言語。

ベーコンは、英語をニュー・バベルの塔を中心として成立するニュー・バビロン、つまり、ニュー・ワールド・オーダーの統一言語として用意したのだ。

われわれは、真のクリスチャンとして、これらのバベルの塔文化から徹底して自らを聖めなければならない。

だからといって英語を使うなということではない。

新約聖書は、当時の世界語であったコイナーギリシャ語で書かれている。

もちろんギリシアは多神教である。

偶像文化だからすべて捨ててしまうということではなく、道具としてえり分ける知恵を持つ必要があるということだ。

しかし、聖書は、ベーコン以前に帰る必要があるだろう。

ジュネーブ聖書に再び光を当てなければならない。

625 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月25日(水) 午前4時52分

タイトル: 地を従えよとの命令に真剣になれば兆や京の単位のお金を扱うようになる

大宣教命令は、民族の弟子化を意味する。

単に3%程度がクリスチャンになって携挙されればいいという話ではない。

ディスペンセーションナリズムは、「救われる人は少ない。われわれの使命は、少数の人を各民族から集めることである」と解釈する。

このようなレベルのビジョンしかないから、献金が集まらないのだ。

イエスが言われたのは、「あらゆる国民を弟子とせよ」である。つまり、民族丸々変えなさい、ということ。

民族の中の一部を弟子とせよ、ということではない。

ビジョンが小さいと実現も小さい。

そのビジョンに見合ったお金しか手に入らない。

ユダヤ人と比較して、クリスチャンの収入が低いのは、そういったメンタリティだからだ。

ユダヤ人（ここでは、サバタイ・フランキスト派のユダヤ人のこと）は、世界支配を目指している。

クリスチャンは、目指していない。

ユダヤ人は、「クリスチャンは世界のことではなく、霊のことを考えればいい」と吹き込んだからだ。

「この世は不潔である。こんなもののために努力すべきではない。」と。

ディスペンセーションナリズムを通じてユダヤ人に騙されたクリスチャンは、「世界を変えられない。単に一部を集めるために伝道だけしていればいい」と考えるようになったから、神様も、世界を変えるだけのお金ではなく、単に個人伝道をして救いに導くためのお金しか与えられなかった。

われわれはこのレベルでは満足しない。

われわれは、「地を従えよ」との命令において、世界征服をゆだねられていると考える。

だから、神の命令に忠実であり、世界征服を目指すならば、神はそれに応じたお金を与えてくれるだろう。

つまり兆円、京円単位のお金を。

信仰の大きさによってわれわれは自分を限定してしまうのである。

626 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月26日(木) 午前2時27分

タイトル: 目を覚まして戦闘に参加せよ

われわれは、世界を統治するために生まれてきた。

神は、われわれにこのことを期待しておられる。

神は、地球の管理をわれわれ契約の民に任せることを望んでおられる。

だから、われわれは必ず統治できるのだ。

ディスペンセーションナリズムは、「そんなのは不可能だ。この世界は悪魔の世界だから」と

教えてきた。

そのため、クリスチャンが、統治者としての責任を放棄してきた。

その代わりとして支配者に君臨したのが、サタニストだった。

20 世紀における戦争や革命による膨大な数の犠牲者は、クリスチャンが統治から手を引いたためだ。

クリスチャンは、政治のエキスパートにならないといけない。

そのために、神学校は政治を語ることのできる牧師を要請しなければならない。

両親は、子供を統治者として訓練し、自己管理ができる子供に育てなければならない。

将来は、政治家や企業家などになることができるよう、教育を施すべきだ。

とにかく、われわれに与えられた任務は、世代を経るごとに契約の民が、国政を左右し、世界の政治も左右することである。

最終的には、聖書法に基づく国法によって国を支配し、世界を支配することである。

われわれは、このことに集中しなければならない。

これにおいて失敗するならば、われわれの生まれてきた意味がなくなる。

今や、キリスト教は、趣味の世界になってしまった。

それはもはや「生き方」ではない。「遊び」である。

これまではそんな遊びレベルの信仰でもやっていけた。

しかし、悪魔が本性を現し始めた今、それではだめなことが明らかになった。

戦いは、われわれが完全に地上を統治し、サタンの力を完全に封じ込めるまで続く。

目を覚まして戦闘に参加せよ。

627 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年1月26日(木) 午後0時50分

タイトル: 信じると本当にそのとおりになる

神学生のころ、貧乏していた。しかし、あまりそれにあまり引け目とかこだわりはなかった。信仰でなんとかなると思っていた。

教会の柏市の集会がオープンするというので記念会があった。

しかし、当時住んでいた上井草から柏までは行きの電車賃しかなかったが帰りの電車賃は与えられると思って出発した。

このことを誰にも言わなかったが、集会が終わるころ、ある信徒の方が近づいてきて献金をしてくれた。それで帰ることができた。

必ず実現すると信じると、本当にそのとおりになる経験を何度かした。

救われる人が与えられるように祈ると、毎日のように教会に人がやってきて次々と個人伝道で救われた。

1988年に教会で金曜フェローシップという集会を開いていた。聖書を勉強する会だ。そこにTさんとMさんがやってきた。同じアルバイト仲間だという。

Tさんがお話を聞きたいというので、伝道した。Tさんは、すでにクリスチャンになるつもりでいたから、促しに対して「はい」と答えた。

しかし、MさんはTさんに連れられてきていたのでそれほど願いはなかった。私が脅かす意図はなかったが「人間いつ死ぬかわかりません。明日、事故にあって死ぬかもしれません」と言った。

それでMさんも信仰を決心した。後で話を聞くと「あの一言が大きかった」と言われた。

TさんとMさんは2人で受洗した。

私は再建主義の問題でその教会を去り、Mさんはアメリカにわたった。

最近 facebook で写真を見かけた。アメリカ人のクリスチャン女性と結婚してお子さんが2人いる。

そのほかにも、次々と奇跡が起こった。

信じると本当にそのとおりになる。